夕刊 滿洲日報 十月廿二日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

減俸案は取り止む

在勤加俸も同樣世論に鑑み 濱口首相聲明書發表

【東京二十二日發至急報】減俸案については本日の閣議において正式撤回に決定し濱口首相は左の聲明書を發表した

十月十五日の閣議にて決定したる官吏の俸給、在勤加俸等の整理減額の件は世論の趨向に鑑みこれを取り止むることゝせり。

十月二十二日　内閣總理大臣　濱口雄幸

首相の名に於て

【東京廿二日發電】減俸撤回に關して閣僚中、最後……結果いよく二十二日の閣議において發表することゝなつたが……在勤加俸減額案も結局、撤回さるゝものと見られる

與黨には首相から諒解を求むる

段取りこなつて晃か

【東京二十二日發電】濱口首相は……らびに富田幹事長に正式報告諒解を求めることに決した、よつて與黨では今日午後の總務會にこれを兩氏より報告の上、政府の措置を是認することゝなつたが更に濱口首相は本日中に與黨幹部と黨出身閣僚の聯合會席上、重ねて諒解を求め、今後の對策を協議することゝなつた

減俸案撤回 閣議の模樣

頗る緊張裡に開會

【東京十二日發電】減俸案撤回を決定すべき二十二日の定例閣議は午前十時開會、濱口首相以下全閣僚出席、緊張裡に開議

濱口首相、政府は來年度豫算財源ならびに金解禁斷行準備節約緊縮の徹底を圖らんと十五日、閣議で俸給、在勤加俸の改訂を決定し聲明したがその結果は政府の豫期に反し司法官の反對を始め全社會に意外の衝動を與へた素より政府の所信は誠心誠意經濟國難を打開するにあつた然るに世論の趨向に鑑みこの際、減俸案の取り止めを行ふことを妥當と見らるゝに至つたとて各閣僚との協議經過を報告し別項の聲明書發表を決定し減俸案

蔣介石が購入せる武器抑留せらる

反政府側の策動か

【上海廿一日發電】蔣介石氏が某國より購入せる武器を滿載せる汽船三隻は南京に向け出發前、突如吳淞沖で第一艦隊司令陳季良氏によつて抑留された、南京側は大狼狽でこれが引渡を迫つてゐるが陳司令はこれに應じない陳司令の行動は反政府側の策動であるといはれてゐる

よりこれを密輸入なりとの理由を以てつた

蔣氏愈よ漢口へ

まづ先發隊を遡航さす

【南京廿一日發電】蔣介石氏は本二十一日午後漢口に向け出發に決し總司令部衞隊八百名、汽船廣大號で先發し軍官學校學生混成旅團一千名、陸海空軍總司令部職員全部を威號で午後三時發、上流に向

西北軍主力南下

愈よ許州郊外に迫る

【漢口廿一日發電】二十一日當地に達した蔣介石氏よりの電報によれば鄭州を占領した西北軍は主力を平漢線に集中し直ちに南下を開始し十九日、新鄭を占領し二十日許州郊外に迫つた許州にある徐源泉、陳益三軍および步兵一團これに對峙し目下、防戰に努め居り砲聲殷々たる砲聲、許州城内に響き居ると

形勢惡化

國境の露支對峙

【滿洲里廿二日發電】露國航空隊は時々支那軍に機關銃を浴びせつゝ連日偵察飛行をなしつゝあり支那官憲の在北滿露人壓迫に激昂せる露國軍はいよく廿五日支那を猛擊する作戰成り形勢は極度に惡化しつゝあり

節約案緩和拒否

豫算編成不可能なりと

【東京廿二日發電】既定經費節約に關する大藏省案につき各省は苛酷に過ぎるものとして緩和策を講ぜんとしてゐるが大藏省では一億四千萬圓は最少限度で節約額をこれより減少するは豫算編成を不可能ならしむるので

一、各省割當節約額は絕對減額せぬ

一、大藏省案による節約困難なときは他の費目に振替へても右額を捻出せしむること

とし緩和策を拒否のはずである

大權干犯也

憲法第十條を楯に

と政友會では騷ぐも 結局は有耶無耶

【東京廿二日發電】政友會は官吏減俸問題に關し憲法第十條には「天皇は行政各部の官制及文武官の俸給を定め及文武官を任免す」とあり乃ち官吏の俸給を勝手に決定するとは天皇の大權事項に屬し勅裁なくして天下に聲明することは明かに大權干犯であり若し聲明前に內奏してゐるとすれば勅裁を經たるものを撤回するに至つた國務大臣としての輔弼の責任は斷じて免れぬと敦圍いてゐるに對して民政黨では減俸問題は未だ何ら內奏した事實なく、また閣議において聲明書を出したものゝ只これが方針を決定しただけで未定稿未着手のものに過ぎぬ卽ち勅裁を經て公布したといふが如きものにあらざる以上、何も表立つて責任を取る程のものでない、また大權干犯などの問題は絕對に起らぬと稱し與論を楯に一蹴する方針である、政友會としても恐らく倒閣運動など起す勇氣なかるべく結局、議會の問題として或は不信任案の一理由に加へて爭ふくらゐが關の山でそ

在勤加俸に今後手を觸れぬ

一般減俸撤回に鑑み

【東京廿二日發電】殖民地在勤加俸につき拓務省は文化施設の發達せる地方と然らざる地方とを各別に考慮し適度の減額を行はんと豫て調査を行つてゐたが政府の一般官吏減俸案撤回に鑑み調査を中止し今後手を觸れざることに決定した

安達內相

【東京廿二日發電】安達內相は政府の急電に接し二十一日午後八時歸京し直に濱口首相を訪問し減俸案撤回に決した經過を約一時間に亙つて聽取した上、今後の措置を協議し更に井上藏相を麻布三河臺の自邸に訪ひ同樣意見の交換を行つた

を屑く邇り今後の方針につき種々協議を重ねて正午散會した

洞ケ峠の閻錫山

二重政策で灰色的中立（上）

宋哲元、孫良誠、石敬亭らいはゆる西北叛將討伐の通電は雨後の筍の如く出る。西北と氣脈を通じてゐるらしいと睨まれてゐる連中もわれ遲れじと宋哲元らを不倶戴天の仇敵の如く惡しざまに罵つた討伐通電を出してゐる。しかし、これはお定まりの電報戰で不思議とするに足りないが、西北軍と同體なるべき閻錫山派の將領がチヨイく討伐通電に名を連ねてゐるのは些か奇異の感がする。太原や天津や北平の黨部の討馮通電には山西派の署名れが出てゐるのである

閻錫山の治下である北平においては二十日に馮派討伐の民衆大會を開いたり、天津では鹿鍾麟、劉郁芬などを逮捕すると騷いでゐる。南京では閻の代辯者が馮玉祥は山西で閻錫山のために監禁されてゐると聲明してゐる。こういふ表面だけを見ると閻錫山は如何にも中央擁護、西北反對の態度のやうであるが事實は全然その裏に出てゐることはいふまでもない◇

これらの閻錫山派の擧動は閻の二重政策から出てゐるのである。西北軍と中央とは宣戰狀態に入つてゐるが閻錫山は今までのところ矢張り中央政府の治下にあるのであるからいよく表面的に蔣介石討伐に乘出すまでは兎も角も叛逆者である西北軍を支援するやうな行動は遠慮しなければならない、それぱかりでなく閻は今、中央と西北側との調停者の地位に祭り上げられてゐるのである。簡單にいへば今日の閻錫山は反蔣と中立の二重政策を使つてゐるのである。各地の黨部は南京から派遣されたものが過半であるから、これが中央黨部の命令で反西北の宣言や通電を出すどなれば閻派の黨部の委員を兼ねてゐるものは署名を拒む譯には行かない。黨部が討馮民衆運動を主催するのに干涉することも出來ない。しかし閻のみで西北軍反對の表示をしてゐるものは見當らぬのである。馮玉祥に對する政府の逮捕令は取消されてゐないし西北將領が旗あげしてゐるときにも馮を監禁してゐるといはざるを得ない、しかし事實は閻馮は日夕往來して蔣介石たたき潰しの大事を謀議してゐるのである。新聞政策にしても閻錫山は西北軍の反蔣通電を太原から仲繼放送してゐる一面には反蔣介石的ニユースを嚴重檢査差止めてゐるのである（北平特派員）

司法官の行動不當でない

小原次官語る

【東京廿一日發電】東京區、地方兩檢事局首腦部は減俸案撤回の喜びと共に反對運動の責任を感じ辭意を漏らす人もあると傳へられてゐるが、小原司法次官は之れにつき

今回の司法官の行動は陳情に過ぎず官吏として不當の行爲を執つたものではないから何人も責任を問はるべき筋合はない

と云つてゐる

の結果は解散によつて信を國民に問ふばかりであると見くびつてゐる

拓相から

各植民地に通牒

【東京二十二日發電】松田拓相は閣議にて正式に俸給および在勤俸減額案撤回に決した旨、直に電報を以て各植民地長官に通牒した

獻金があれば國庫に收納す

と各閣僚も贊成

【東京廿二日發電】本日の定例閣議後、撤回に伴ふ政治的責任問題につき各閣僚間に雜話的に意見の交換行はれたが減俸は未だその方針を決したのみで俸給令の改正着手に至つてゐない從つて今回、政府部內の申合せを申合せ替へにしたに止まるのである、たゞさきに聲明書を發表せるは之を撤回するに遺憾を感ずるも之も責任問題を起すべきものでないといふことに申合せ更に減俸案を撤回せる以上各大臣は一層、各省に緊縮節約を徹底せしむるを望むと濱口首相より注意あり次いで井上藏相より國債償還にあてゝ呉れと國民から獻金して來るもの多きにつき太政官令の獻納金禁止令はあるとも特定の用途を指定して願ひ出でたるもので弊害のないものは之を國庫に

減俸案撤回の結果

八百萬圓の捻出

教育費割當額の減少か

【東京廿二日發電】井上藏相は廿一日午後五時より小川、河田兩次官、藤井主計局長を招致し官吏減俸案撤回による八百萬圓の財源缺陷の善後策を協議し七時半、散會したが、この際、新なる財源を他に求めることをせず義務教育費總額一千萬圓を五百萬圓に減額し更にあと三百萬圓を各省新規要求七千萬圓中より削減することによつてバランスを得んとするものゝ如く二十二日の閣議で井上藏相より各閣僚に諒解を求むると

收納するは不穩當と思はぬと述べ各閣僚とも異議なく贊成正午散會した

大風一過の狀態

大連の各役所平常通り

官吏減俸、加俸削減問題は大連官場にも表面は兎もかく內部的には可なりの波紋を起し民政署の如きは各課員一同が穩に陳情したり市の各小學校長が秘かに談合したり內したが、けふ減俸案撤回確定の日の各役所の空氣はヤレくといふ氣分の裡に平常の如く事務をとつてゐるものゝ如くであつた

滿蒙の野に骸を曝す意氣で仙石總裁

◇—十三年ぶりの滿洲へ赴任

盛んな見送りで離京

【國府津特電二十二日發】政黨に超越し、財閥に超越し、黨閥に超越し、たゞ國家あるを知るのみと稱せられる總裁、山本前滿鐵總裁が安んじて一切の政策を引繼いだ總裁、在野黨から現內閣の好争人事行政と贊成の烙印をうたれた總裁、俸給の增額、能率の增進、生産の增加、物價の低落といふ

四大論法 の新總裁滿鐵總裁に共鳴する總裁、時恰も官吏減俸問題で世間がやかましくなるやノコく濱口首相を訪ふて議論の一騷ぎ全局の石の浮沈を見て名手の下した一石にピタリと全局の崩れをふせぎ止めたる總裁、現に二國の總理が師傅の禮をもつてまつ老總裁その仙石老總裁が初めて任地、大連へ——十三年ぶりの滿洲へ——鹿島立つ日の二十一日午後九時二十分、東京驛は政界、財界の名士の見送りでゴツタ返した、若槻原外相、江木鐵相、小泉遞相、俵商相町田農相の閣僚をはじめ鈴木內閣書記官長、川崎法制局長官、中島首相秘書官その他各政務官をはじめとし伊澤多喜男、大津淳一郎、三木武吉氏ら貴衆兩院議員の面々大藏新太郎氏らの實業界の巨頭、吉田驛長がこれら數百の見送りの

人の渦を 掻き分けて病後とも覺えぬ足どりつやゝかな老總裁を一等寢臺車に導けば定刻より數分おくれて列車は靜かに滑り出る寢臺車に行儀よく納まつた總裁は

京都で一泊するが、西園寺さんに會ふか、どうか行つて見なきや分らん、約束してあるでもなし、會はないとなれば、それ切りぢやての—、さきのことは、さきのことぢや、そのときになつて見なきや分らん、またそのときになつて見なきや分らんことを今からいつても仕方のないことぢやと一流の論法でニヤリとして口を鎖ぶ、顏色は艶つたか粉ちやかな病氣前とてもソウ達者といふ譯でない」と兎にかく何にでもピンと一ト理窟はあらうといふ元氣「御出發前はいろく忙おしかつたやうで」と減俸騷ぎを持つて行けば「フン、つまらんとぢや」と

ただ一句

連日の疲れを癒し臺に横たへる總裁をあとにして秘書役鍋島嘉門氏が引取つて語る

總裁はいはゆる滿蒙の野に骸を曝らすの意氣で赴任さるゝのです、主治醫は大丈夫だといふし御覽の通り元氣ですけれど、元氣に委せて體を虐使されると萬一のことがあると困るので、宴會とか旅行とか成るべく餘り老總裁を煩はしたくないと思つてゐる、なにしろ現內閣にとつてはなくてならぬ大切な人でありかつ今度は病後の身を挺して國家に對する

最後の御奉公 の抱負と決心とをもつて出かけられるのだから、その邊を諒つて總裁の志を遂げさせたいものです、總裁は大げさなことは大嫌ひで公私生活は努めて質素、萬事のやり方は頗る簡素で今度も隨行は私ひとりです

なほ入江東京滿鐵支社長は大阪への用件あり、齋間木谷海軍中將は滿鐵本社への用件あり同行した

關東廳辭令（廿一日附）

陸軍航空兵中佐正六位勳四等　若竹又男

任關東廳航空官　敍高等官四等三級俸下賜　遞信局勤務を命ず

クレマンソー翁

奇蹟的に見直す

【パリ廿一日發電】今朝來、奇蹟的に命を取戻したクレマンソー氏は午後は元氣で床につかず椅子によつてゐる昨日は肺部の鬱血から心臟麻痺に陷る危險あつたが目下症狀良好、快方に向ふようであるが併し醫師の談によれば手術後の經過は二日後にならねば如何とも判明し得ぬと

されてゐるが醫師の發表によれば經過は順調で三週間くらゐで退院することが出來るであらうと

ポ氏經過良好

【パリー廿一日發電】手術後のポアンカレー氏は鄭しき經過に滿ま

社告

太平洋問題調查會第三回は愈々明二十三日より京都において本會が開催される今回は特に滿洲問題を討論するといふ勿論、該會は重なる學問研究會の調査會なるも本社は千田編輯員を特派し、報道の萬全を期せんとす茲に社告を以て讀者諸君に報告す

昭和四年十月廿二日

滿洲日報社

大觀小觀

惡いと思つたら、何のこだわりもなくあつさり撤回する。月の盈虧のやうに。◇

大風一過、これなら何の被害もない。◇

が政界には、大權干犯の、藏相責任のと、相當にやかましいが、濱口內閣の人氣は、未だ去らざるもの〻如し。◇

そこで野黨側の政府攻擊の一項目にはならうが、全擧民の不信任とはならぬやうだ。◇

併し、日本經濟界の病根が、いづくにあるかは一般に、深甚に感銘された次第。◇

何とかせねばならず、それだけでも、井上藏相の態率は効果あつた。◇

仙石滿鐵總裁、骸を滿蒙の野に曝すの意氣で、病後の老軀を挺して來任。

天氣豫報

廿三日　南の風晴れ一時曇り

日出 六、一〇　日沒 五、〇六

滿潮 午前 〇、三五　午後 〇、五〇

干潮 午前 七、二五　午後 六、五五

人事

關東廳遞信書記　阿部辰巳　依願免本官

▲鼎所文二氏（日本航空常務）二十二日各所歷訪挨拶

▲若竹又男氏（航空兵中佐）二十一日附を以て關東廳航空官に任命さる

▲埼玉縣商工課主催旅行團一行九名　二十二日出帆のばいかる丸にて離連

▲上毛新聞社主催鮮滿視察團一行七名　同上

▲神奈川縣川崎市小學校長團一行四名　同上

▲佐賀市商工會議所　一行十一名　同上

▲山陽新聞社主催鮮滿視察團一行二十三名　同上

▲日本旅行協會視察團一行十四名　同上

▲京都市泉醬油組合一行九名　同上

▲林文龍氏（張學良氏秘書）家族同伴同上上京

▲高久肇氏（滿鐵上海事務所員）太平洋問題調查會議出席の爲め同上

▲イー・エツチ・フリツチ氏（米國鐵道協會書記長）同上

▲エヴアンス氏（滿鐵囑託）同上

▲平尾喜三郎氏（レート化粧品店主）同船にて離連

▲佐々木國藏氏（內外棉花重役）同上

▲原田光次郎氏（前豆信社長）同上

▲藤間勘四郎氏（舞踊師匠）同上

▲金光三代太郎氏（金光教師）同上

▲坪上貞二氏外二名（外務省對支文化事業調查會幹事）二十二日入港の濟通丸にて天津より來連

▲彌生高女修學旅行團一行十五名茶谷教諭に引率され同上歸連

▲ゼイ・レイドン・スチユワード氏（燕京大學々長）同上來連

華やかな

タクシー應用の女釣りが流行

油斷ならぬ宵闇のドライヴ スピード時代來る

シユナイダー杯爭奪に三百五十哩ブッ飛ばした英國飛行家の物凄いスピードもさる事ながら、速度に對する近代人の神經が鋭く舗石道を疾驅するタクシーの上に反映して居ることは否まれない、試みに大連街頭に立つて見給へ、新しいところでクライスラーの流行を汲むプリモース、デソートを初めジユラント、新フオード、ビユウイツク、エセツクス等々……が馬車を尻目にかけ人力車を默殺して自動車華やかな時代を畫いてゐるではないか?

× ×

「市内十六哩」お上のキツい御法度がともすればこの近代人心理を打壞してしまふ、だがこいつは仕方ない、今大連街上を東奔西走する車は合して五百六十餘、昨年に比較して二百臺の増加を示して、カフエーの親父が運轉手を希望し巡査の古手がタクシーの主人公におさまるといふ、まあザッとこんな趨勢を辿つてゐるのである

× ×

旅大道路、金州街道がドライヴアーにとつてこよないドライヴロードであることは一般が既に認めるところであるが、最近この道路においてタクシー應用の女釣りが流行してゐるといふからタクシーもまた油斷が出來ぬ、宵闇更けて赤い酒、青い氣焔についウカ〳〵と若い男性の口車に乘り「車を呼んでくれ、ネ君旅大道路をブッ飛ばそうや」なんてカフエーの娘さん車に乘つたら最後、小平島邊りで下車「車は要らないから歸つてくれ」とポツンと二人が人里離れたところに殘されるそれから………(私は知らない)

× ×

出船入船の賑やかさ……ある外人は埠頭に立つてその壯觀ぶりに一驚を喫をし市内に落ちついてから「ナンだい、大した事も無い」と簡單に片附けたといふ、最近の大連タクシー界のゴシツプを紹介すれば、三百六十九號といふ自動車がもし街上で見つかつたら車内を覗く事である、周玉美といふ芳紀正に十九歳のモダーン支那娘がナヨ〳〵と嬌態をつくりながら運轉してゐるからだ……今一つ、このごろ乳母車のお母さん位な車が只一臺チヨコ〳〵走つてゐるのを見受ける、これは英國のオースチン會社製のオースチン八馬力、ガソリン一罐で百四十哩は大丈夫といふ代物、スピードは大してないが一臺千五百五十圓とタ一文負けられない、これに美しい女運轉手でも雇つてタクシー業をやつたら三人二十錢位でも樂々と儲かるそうである

× ×

大連タクシー界はレブユー、ざつとこんなものである

又復、他山驛前で巡査射殺さる

逮捕せんと格闘中 賊は拳銃を奪つて逃走す

【大石橋特電二十一日發】廿一日午後六時半ごろ大石橋警察署管内他山驛前支那雜貨商永興隆方に四人組の拳銃強盗押入り家人を片ッ端から縛しあげ脅迫中、隙を窺つて同店々員が急を他山派出所に報じたので、折柄同所に詰めてゐた澤藤巡査は單身現場に急行交戰したが力及ばず賊の亂射する彈丸に頭部二ケ所、腹部、胸部および右の手甲に各一ケ所の貫通銃創をうけて即死、賊は同巡査の所持せるモーゼル拳銃一挺を奪ひ逃走した目下犯人嚴探中である、なほこの悲報を傳へ聞いた大石橋居留民は同巡査の殉職を悼み二十二日十一時三分着列車で遺骸の大石橋に到着するのを寂しく出迎えた

帝展二回開催案出づ

【東京二十二日發電】帝展行詰りの評は既に各方面に唱へられてゐるが去る十九日の會員總會に帝展の二回開催案が提出された、右は最近の出品數過夥なると新人およびアマチユアの傑作が常に審査に當り不遇の地位に置かれてゐる缺を矯めんとするもので、二回案によれば毎秋二回開會し一回は日本畫、工藝、一回は洋畫、彫塑と分け各會々期を三週間にしようといふにある

ギル少年殺しの福永近く死刑に

米大審院、再審を拒否

【ワシントン廿一日發電】ハワイのギル少年殺し犯人福永の再審の申請は本日米大審院で拒否されたこれがため福永は近く死刑を執行さるゝ事となつた

米大統領夫妻デトロイト着

エジソン工藝學校開設で

【デトロイト二十一日發電】電燈五十年記念のため當地に自動車王フオード氏がエジソン工藝學校を開設するにつき技術者出身のフーヴアー大統領は夫人と共に當地に來着した

神明高女生

北平を見學

【北平廿二日發電】神明高女北支見學團一行は二十一日北平到着宮城、北海、東安市場、天壇等見學扶桑館に一泊、今日は朝來市中の見學をなした、中支の戰雲をよそに北平附近は平和な秋の陽照り續き一行の元氣いやが上に昂る、明日は萬里の長城を見學の豫定

邦人二名を射殺し一萬圓を奪ひ逃走

七人組の馬賊、特産商に押入り ゆふべ范家屯の慘劇

【長春特電二十二日發】廿一日午後六時半ごろ范家屯鐵道北大通り六番地特産商西村商店へ七人組の馬賊團押入り、ブローニング拳銃にて主人西村萬吉(五〇)を脅迫のうへその場に射殺し、更に同家に居合せた店員野間尾吉(二〇)をも射殺し金庫および机の抽斗を開いて現金一萬圓(邦貨)を奪ひ七時ごろ西方に向ひ逃走した、急報により同地警官派出所および守備隊より全員を繰出し追跡中であるが、長春警察署よりも田上司法主任以下警官二十五名サイドカーその他にて應援のため急行した

泣き込んだ鮮人重大犯人か

朝鮮獨立黨上海假政府の手先となつて働く

廿二日午前十時ごろ水上署に歸鄕の旅費を惠んでくれと泣きついて來た一鮮人があつたが、右は京城市外、李鐘如(二七)といひ二十二日弘濟丸にて芝罘より來連したもので、今まで上海、南京と南支各地を放浪し朝鮮獨立黨上海假政府の主要人物等と頻繁に往來し彼等の手先となり文書の往復、銃器の密輸等に從事せること判明、高等係にて目下嚴重取調中なるも可成重大な犯罪ある見込である

彌生高女生

けふ無事歸連

彌生高女修學旅行團一行十五名は茶谷教諭に引率され天津、北平方面旅行中であつたが、一同大元氣で二十二日入港の濟通丸にて歸連埠頭には澄田校長ほか職友父兄の出迎へがあつた

『緊縮ストーヴ』の買出しに

冬迫つて露天市場素晴しく賑ふ

泥棒市場のきのふけふ、秋は日一日と寒さをます冬來るの豫感に脅かされる人々の、消費節約で諸事緊縮時代とあつて大抵は中古格安のストーヴで間に合はせようと暖房具店の前は大へんな賑やかさだその足元につけ込んだニーヤ達の方でも季節ものゝ強みで他のがらくたの様にストーヴばかりは却々おいそれとはまけず、押しの強いお神さん連が泥棒市場の呼吸をのみ込んだつもりで途方もなく値切ると、顔を外向けるか罵倒を浴びせるといふ鼻息、それでも結局は新しいものを買ふよりは半値若しくは三分の一位の値で相當のものが買はれるので、どのストーヴ屋も昨今朝から晩まで押すな〳〵の景氣である

活辯の大暴れ

大連岩代町三七活動常設館二階居住浪速館辯士相良鐵(二一)は廿日午後十二時ごろ同僚の竹井昌二郎と共に信濃町九三ブラジルカフエーに到り二十一日午前二時まで飲み明かしたが、勘定に際し金不足のため貸與かたを申込んだところ拒絶されて立腹し「貸與等覺えて居れ」と捨臺詞を殘し女給二名を連れ金を取りに出かけ手ぶらでブラジルカフエーに引き返したところ既に就寢してゐるので「金を取りに遣つて置きながら戸を閉めてゐるのは不都合だ」と怒鳴り表硝子戸を破壞し驚いて飛び出した帳場清水兵吾を毆打し屋内に侵入せんとするのに漸く取り押へ大連署へ突き出した

僞せ飛行技師が

酒と女の大盡あそび 著述家も無錢遊興で訴へらる

大連浪速町五四ナニワホテル止宿高橋政美こと高橋直道(二四)は陸軍飛行技師と詐稱しこの一日から八日まで數回に亘り大連美濃町七九待合すみれに登樓し酒よ女よと大盡遊びをなし二百四十九圓九十六錢の散財をしたが再三の請求に對し支拂を爲さず、また溫泉塞一さつま溫泉止宿二川春夫(二六)は著作家と稱し同様一日より八日まで待合すみれに登樓し豪遊を極め二百四十八圓五十九錢の遊興を極めたが之れまた種々の口實に言を左右にして一文の支拂を爲さず廿二日すみれより何れも無錢遊興者として大連署へ告訴された

野田巡査全快

殉職した吉田巡査部長と共に去月三十日夜千代田廣場に於て潛伏警戒中兇賊のため重傷を負ふた大連署巡査野田茂氏は其後大連醫院に入院治療中のところ漸く全快二十二日より出勤、同日午前松枝警部補同道同事件に多大の同情を寄せられた市中各方面へお禮廻りした

加藤夫人忌明

昌華工株式會社庶務課長加藤友治氏の夫人忌明御禮として大連市社會課に百圓その他に八百六十圓を寄附した

大連署管内派出所代表會議

大連警察署では二十二日午前十時より振武館構内に於て管內派出所代表會議を開き高山署長の訓示に次いで

一、所轄管内に於て非常警戒を有効ならしむる爲め從來の方法に改善を要すると認むる件あらば其具體的意見

二、各其管内に於て取締上最も困難を生じ居る件あらば其事實

以上二件に對する諮問あり午後一時閉會した

總下船の支那人水夫

二十二日入港の長順丸にて神戸水上署より支那人船員一行十一名が送還されて來たが、大連水上署に於て取調べたところ、右は元大連汽船所屬黒龍丸乘組船員で去る十日補與に於て彼等の水夫長劉培因(三八)が約四百圓の借金を殘し下船逃亡せるため新に王德岳を水夫長に雇入れたが、王は前水夫長の借金四百圓を水夫等一同に振りあて支拂はさんとしたので彼等は肯ぜず神戸に於て一同總下船せるものと判明、水上署でも一應の取調べ後各自自由行動をとる事に決し解散した

風呂田刑事

巡査部長に昇進

廿一日午前十時五分大連醫院において死去した小崗子署刑事風呂田三氏は廿一日附をもつて巡査部長に昇進した、なほ葬儀は廿五日ごろ鄕里より家族の來連をまつて行ふ筈であると

コスト機

無事上海着

【上海二十一日發電】フランス飛行機コスト機は本日午後四時二十五分虹橋飛行場に無事着陸しフランス總領事等の盛な歡迎を受けた

勞農「國土號」

桑港の歡迎

【サンフランシスコ廿一日發電】訪米の勞農の國土號に對し本日サンフランシスコの歡迎會が開かれたが、會は米露國交未同復のため打解けた氣分にならず、主人側も正式歡迎演說を忌避し白けた空氣の裡に會を終つた、なほロシア機は二十二日當地發シカゴに向ふと

飛んだ主筆

府外ノ日本主筆とか學生海外見學團理事とかの名刺を振り蒔いてゐる東京府下駒澤町野澤四二岡本正一(三七)は去る九月二十八日以來大連浪速町五四ナニワホテルに止宿したが女中の態度が氣に喰はぬとか一泊四圓は高過ぎるとか種々難癖をつけ二十一日までの宿料百二十一圓を支拂はず同夜他へ出發せんとしたので、ホテルからの告訴により二十二日午前零時大連署へ詐欺被疑者として連行留置された

大きさで來い

ドイツで作つた百七十人乘り 悠々大空を翔け廻る

【アルテンライム二十一日發電】ドイツ特大型飛行艇ドルニエ式デイオーエツキス號は本日の試驗飛行で乘客乘組員合せて百六十九名と外に五歲の男の子一名を乘せ一時間に亙つて飛行し高度は百乃至二百メートルであつた、同機の總重量は五十二トンで、本日同機は百八十キロを飛翔したが五百キロの航續力を有すと

平安異香 (147)

葉多默太郎作　中一彌畫

髑髏の革袋(一二)

侍女の相模がふいと顏をそむけた時に、源入郎は卒然心に觸れたものがあつて我ながらはつとなつた。

此奴だ、此奴だ――と思つたのである。

顏をそむけて立つた立姿が、昨夜稻妻の瞬間に見た被衣の女の姿にそつくりだ。

此奴だ此奴だ。此奴淨海入道の諜者だ。勸修寺師輔の日夜の動靜を探つて淨海入道に內報してゐるのだが、おそらく侍女頭として使つてゐるお關の方もそれを知らないのだらう、此奴――と思つてゐると、

「誰か」

と、簾の中のお關の方の聲だつた。

「誰かそこな男をこれへ出しや」

「は」

と、庭に蹲つてゐた從者が入手の向ふの女面の小太郎を引立てゝ來た。

見ると鐵鎖だ。猛獸のやうに鐵鎖に附いた環を左手に嵌めこんでゐる。ひどいやり方だがんじがらめにしない所に、お關の方の大量を見せようとする處置があり、鐵鎖を用ゐる所に、動物扱ひをしようとするのだ。

女面の小太郎は、然しお關の方以上の自尊心をもつて傲然と空を仰いでゐた。お關の方を見るでなく、源入郎に目を向けるでなく例の無表情な冷たい面を空に向けてゐる。

小太郎は藥地まで遁れてゐたものを、春光の身を案じて再びとつて返した時に、池に潛んでゐたお關の方の從僕に足をとつて引摺りこまれ、五人十人にかゝられて捕れたのだつた。

「源入郎」

とお關の方の聲。

「そこな男に、見知りはあるか。何といふのぢや名は?」

「女面の小太郎と申すものでござります」

源入郎は苦りきつてゐる。

「おう、さうであつたか、女面の小太郎、いかさま女人のやうな顏をしてゐる、つんとすまして、物を言はぬ、憎い奴ぢや」

柱に凭つて緣に坐つた侍女の相模が、それに續いて、

「これがもし、御身の配下に捕れたものなら、さしづめ禁獄、死罪の〆を見られるものでないのぢやが、お慈悲深い御方樣のお手にかゝつたのがこの奴の果報ぢや。命乞ひをすれば許してやらうと仰有つたのぢやが、この奴、首領夢之助の傲慢不遜を倣うてか、あの通りつんとすまして物を言はぬ、頭も下げぬ、無禮な奴ぢや。源入郎殿、御身の力でこの奴の口を裂き命乞ひを言はせ、御方樣の前に頭を下げさせてはどうであらう。御方樣はそれで御滿足遊ばす――捕つて仰へることは出來なんだ御身にも、これはいと易いことであらうな、司馬陵さま」

といつて笑ふと、お關の方も聲を合せて嘲笑ふ。

が、源入郎は、何をつまらない皮肉を言やがる――と、とりあはず、

「とにかく一應御下げ渡しを願ひまする」

いふと、烈しいお關の方の聲だつた。

「うかつ――うかつなことといふ源入郎。それほどに欲しくば何故捕らぬ。盜人を抑へるのが役のそちがよう捕らいで、妾の捕つたものをくれいといふ、ようもそのやうな事が言へたものぢや。恥を知るがよい」

「チェッ、面白くもない。腰拔け捕吏に思ひ上り女のいさかひ、止してくれ」

石のやうに默つてゐた女面の小太郎が、突然口を裂いて吐き出すやうに言つた。

と、それが却つて小氣味よかつたかして、お關の方は簾越しに小太郎を見下して、

「小太郎とやら、さあ妾に許しを乞ふがよい。縛めをといていなしてやらう」

が、小太郎は飽くまでも強情だつた。

「フン、お前ッちに賴むまでもない。こんな鐵鎖、斷たうと思へば何時でも斷てたんだ」

「こざかしい――今こゝで斷つてお見せ」

「ようく見てやがれ」

云ひさま、片膝立ちになつて拔いた右手の太刀、ずばりと斬り下すと紅に染まつた左の手が、鎖を附けたまゝ、手首から斬れて砂に轉がつた。

女流浪曲家の日本菊子嬢

廿三日より開演

女流浪曲の人氣者京山好奴改め日本菊子孃は大阪國光席滿鮮巡業部第一回の選拔を承り來連する事になつた同孃は劍俠傳を以つて女流浪曲陣「一と銘打たれた位ゐで、勝氣な性格と男性的な藝術、豐富な聲量は變轉極まりない妙節と相俟つて必ずや好浪家連を唸らす事であらう、又一行は新進の花形連揃ひであるから定めし盛況を呈する事であらう、一行は二十三日を初日に遊樂館で開演する樣である。

劇主なる讀物と演者は次の如くである

御國の花(日本菊江)野狐三次(日本菊王丸)小栗判官(高砂須磨子)?の裁判(羽衣和歌子)玉菊燈籠(佳の江八百子)不孝の天罰(京山喜奴)親子試合(御園玉菊孃)義士の快擧(八幡照子)伊達黑白論、英き日の國定忠次(日本菊子)

紫竹會を聽く

遲れて「縮緬慶」から聽く、番組には書いてないが矢張り六紫さんの立三味線が相變らず腕の冴えを見せて居るし立唄のお鯉も先づ無難と云つて置こう桃太郎の喉は感心出來ない、少々飲み過ぎの後と云ふ感じの喉だ、流れの千代次の喉も單におとなしい癖の無い唄ひ方を買つて遣らう、何しろ望月師匠の大皮に總體が喰はれて仕舞ふたのは致し方が無い、實際望月師匠の大皮は好く拔けた音で場內に冴え渡るのが氣持ちが好い。

次ぎの「秩父の長者」は此れ又六紫さんの一人舞臺ワキや流れの唄ひ手と餘りに段違ひがひど過ぎるのでイヤな感じが起る。

次ぎの出し物の「今樣望月」でもだが六紫さんの小皮と望月師匠の太皷許りがハシャイで居るので他のがみんな喰はれて一向に耳に這入らない、云はゞ六紫さん自身が餘り踊りで花を持ち過ぎて居る傾向が多分に見え透く程見える、六紫さんの踊道に就いては既に定評のある事である、一つ抱へ妓の連中達に今少し花を持たせて遣つたら如何なものだらう、左も無くば一層の事「秩父の長者」の如きは六紫さんの獨り唄ひで遣り通して貰ひ度い。

紫竹會と云ふのはアリヤ六紫さんの腕自慢のお披露會さ唄でお座れ三味でご座れ鳴物でご座れ行く處として可ならざるは無しと云ふ處を見て貰ふ爲めの會さ、して見りや金一圓也の入場料は先樣から貰ひ度いもんだとは休憩中に或る鬪士の囁きであつたのもマンざら皮肉とのみ聽き逃しも出來ないと思つた「秩父の長者」で「わが家いでよたんらるら」の邊りはその後の文句の「秩父の山はえ」の節廻しよりも寧ろ困難な場所だから此の邊は全部六紫さんの受持で遣つて貰ひ度かつた、お鯉や八千代は丸で引立て役の格ぢや聊か可哀想と思つた。

望月師匠の鳴り物も矢張り大皮が一番のお得意らしく受け取れた「望月」での太皷は餘り香ばしく無かつた後の常盤の鼓と俄獅子は聽き逃したのが殘念であつた(樂の字)

映畫界東西

日活の井上金太郎監督は十二日正式に日活を退社し、十三日松竹下加茂撮影所に入社したが、目下「白野辨十郎」撮影中の月形龍之助の次回作品を監督する豫定であると

◇

トーキー主演の脚本選定中であつたリリアン、ギッシュはモルナーの舞臺當り劇「白鳥」を第一回の作品に決定し十月十五日撮影を開始した

◇

類人猿役者ブルモンタナにも春が來て、メリーブールソンマテューといふ芳紀二十三の美人と結婚する事になつた

◇

片岡千惠藏は正岡蓉、東山三吉の兩氏と共に未だ試みられた事のない街頭雜誌「幕」を創刊、巷間に進出することになつた

◇

東亞の米澤監督で着手した「泣いて與るな」に小唄を歌ふ場面があるが、同社では此の小唄をレコードに吹き込み、全國のカフェーに數千枚を頒布して大宣傳を開始した。

◇

全世界のファンの驚を他所目に敢然と結婚してアッと驚かしたフオックス社のジャネット、ゲーナー孃は愛しの夫君リイドル、ベツク氏と九月十一日出帆でハワイに新婚旅行と洒落込んだ。

喋く話

年末が近づいて來て正月興行の準備にもさうさう取かゝる時分ではあるが▲來年の正月には連鎖商店映畫館、協和會館、大日活青年會館それに現在の常設館を加へて十本か十一本になりさうである▲見に行く方にして見れば多ければ多い程張合があるが▲興行者は相力コブを入れずばなるまい▲記念商會の守永氏と提携して居た藤田氏が守永氏と別れて今度は獨立で大いに活躍するとの事で▲其の皮切りのジャングルは近日「大學行進曲」と一しよに協和會館で上映される

第三種郵便物認可

滿洲日報

主婦之友 十一月號 毛絲編物號

▲基礎編廿四種を圖解で説明した編方……（これだけの基礎編を御覧になればどんなに手のこんだ毛絲編でも自由自在に編むことができます。）

▲赤ちやん用の可愛い新型各種を發表……（赤ちやんの多着は温かで伸縮自在の毛絲編物に限ります。此の中からお選び願ひます。）

▲女兒用のステキな新型各種を發表……（成長盛りのお嬢さん方には毛絲編物が何よりです。）

▲男兒用の新型ばかりを澤山發表……（坊ちやん方にも多くは毛絲編物をお編み下さい。）

▲女學生用の上品な新型各種發表……（上品でハイカラで、誰にも編める新型を澤山發表しました。）

▲若婦人向のモダン型各種發表……（流行の新型ばかり、ぜひ一つお編み下さいませ。）

▲紳士用の新型をいろ〳〵發表……（恰好がよくポカ〳〵温い毛絲編物は、紳士方の間に大流行。）

▲老人向の防寒毛絲編物發表……（毛絲編物程老人の喜ぶものはありません。ぜひ編んでお上げ下さい。）

驚くほど進歩した流行の毛絲編物七十種

型は悉く最新流行型!!!編方は全部簡單な基礎編!!!

緊縮生活は先づ婚禮から!!!

婚禮改善に就ての座談會

▲僅か六十圓で出來上つた花嫁の立派な衣裳（安達内相夫人の最近の實驗）

▲七十五圓でスツカリ出來た洋裝花嫁支度（東郷昌武氏の令嬢の婚禮の實驗）

▲三百圓もする丸帯を十三圓で拵へた花嫁衣裳（秋阪屋で最近あつた某家の實驗）

▲經濟で却つて歡迎される茶菓だけの婚禮披露（拵ふ方も招ばれる方も大助かり）

一人でも多くの人に物入りの時代かつぶれると云はれてゐます。それほど婚禮は無駄金の使はれるもの。十一月號の大讀物たる座談會は、今日の時勢に適したもので、實驗の發表會のやうなものです。右のものはホンの一例です。出席者は安達内相夫人、愛國婦人會長本野子爵母堂、生活改善同盟の東郷昌武氏、社會教育局長下村壽一氏、田中芳子夫人、マリール・キズ夫人、岡村廣太郎諸氏

一旦死んで蘇生した婦人の體驗

死は苦痛であつたか？ 死は恐ろしかつたか？

（死の瞬間はどんなものか誰でも一度は此の關門を通らねばならぬだけに是非知つておきたいものです。餘らしい經驗多數發表。）

騙されて結婚した婦人の告白

油斷のならぬ此頃の男子の求婚ぶりを見よ

（色魔にだまされた女給の結婚哀話、金を目當に結まされた若き未亡人の婚悲劇、他人ごとではないぜひお讀み置き下さい。）

有利な新副業

アンゴラ兎の飼方

食用とも毛皮とも異り極上物の材料となる毛は、安全で確實有利な副業です。子供にも婦人にも出來る作業で飼ひ方を詳しく「主婦之友」に發表しました。

▲女中の使ひ方秘訣百ケ條（女中を何時も愉快に働かせる秘訣で若奥様方には何よりの心得です）

▲臍の形で運命を知る秘法（彫刻の大家朝倉文夫氏が何千人といふ裸體のモデルから發見の秘法）

▲デンマーク式の國民寮 伊豆興農學園訪問記（田を耕す前に人心を耕せ。農村教育の新しい光りは興農學園に在り）

▲不景氣時代に繁昌する新内職（時勢に適した内職ならば不景氣など恐るゝに足らぬ。内職の好手引）

▲腦溢血を治した養生法の秘訣（發病後僅か五ケ月で殆と治つた留岡幸助氏の實驗で同病者の好參考）

▲十年の病床生活から心機一轉して全治の體驗（不治を歎いて自殺を覺悟した川島園子女史が奇蹟的に治つた經驗談）

日本邦坊
西漫文 美人國漫畫探訪記（人氣者の邦坊と人氣女優水谷八重子の奇抜な問答發表）

上篇 火刑（三上於菟吉）
長篇小説 夫婦百面相（佐々木邦）
小説 石上欣哉 原せい子と高田雅夫（舞踊界の人氣者原せい子と高田雅夫の死を悼して其夫婦の物語）

探偵小説 青い眼の女（保篠龍緒）
事實哀話 私の懺悔（小林孝子）

◆豚肉一式の名物料理
▲德富先生の婦人訓話…▲病人の喜ぶ料理の作方…
▲西川博士の肺病療法…▲名士家庭のお惣菜料理…
▲神經衰弱の新しい療法…▲俵商相家の台所拜見記…

◆二分間化粧の美顏法
▲船員の家計の打明話…▲壁紙利用の室内裝飾法…
▲十一月の運勢の豫言…▲花嫁の新案の帶の結方…
▲中流住宅の煖房設備…▲儀式用令嬢の帶の結方…

傳記小說 奧村五百子（小野賢一郎）

半襟一掛の費を節せよ』と、血を吐くやうな熱誠で叫んだ女性があつた。その女性こそ、百五十萬の女性の團體たる愛國婦人會の生みの母、女傑奧村五百子女史であつた。女史逝いて早くも廿餘年。緊縮節約の叫ばるゝ今日、もう一度『奧村五百子』を、私共の心裡に甦らせる必要はあるまいか。南洲翁等と共に活躍した女史の處女時代より盡きぬ興味の物語は始まる。

定價は平常と同じで 五拾錢　半年三圓廿錢 一年六圓廿錢

東京神田駿河台 主婦之友社 振替東京一八〇番

東京出版協會會員發行 新刊重版 圖書案內

新刊 藤田進一郎著 **一記者の頭** 四六判布裝三八〇頁 定價一圓八十錢 送料十八錢 東京日本橋區呉服町 振替東京二三七五番 大阪屋號
一文人氣性の風變り一外四十數題。東京の頭より設き來る一文一題皆其道を傾けて荷くも一語一句もおろそかにせず。殊にこれに彩りに垢拔けした文筆の品秋のり、皮肉あり、諷刺あり、多分の內容を思はせるに足る。書簡文澄明たる〳〵近來の快閱筆集である。

重版 理學博士 丘淺次郎 外廿壹氏共著 **日本動物圖鑑** 四六判背革裝二五〇〇頁 定價十五圓 送料四十五錢 東京・京橋 振替東京七五〇番 株式會社 北隆館
鳥・獸・魚・貝・蟲・凡ゆる動物を網めて總數實に四千壹百種一種毎に鮮明な圖版に添へて科名・學名・和名は勿論、懇切な解説をつけてある。斯學界錚々權威者の共著にかゝり動物採集研究家の唯一無二の好指針。（內容見本進呈）

新刊 德本正俊著 **校合 雨月物語詳釋** 四六判特製三一〇頁 定價一圓八十錢 送料十錢 東京市神田區通神保町三 振替東京五九六五 芳文堂書店
本書は雨月物語初版といはれる美濃紙大型三冊の和本を原本とし、更に安永版五冊の考異を附し、これに明快懇切な注釋を附し、更に現代語譯を加へ、卷頭には詳細なる評傳をつけたるものにして一般讀書者並に國文學者の好參考書として白眉なり

重版 文學士 入澤宗壽著 **現代教育思想概說** 菊判布裝二七二頁 定價一圓五十錢 送料八錢 東京神田區北神保町 振替東京二一六九一番 山海堂出版部
本書は現代に於ける教育思想教育方法、教育施設につき總括的知識を得て日常の仕事に參照せんとする者及び教育學を學ばんとする者の爲めに教育の哲學的、心理的、社會的研究の綱要を概說したるものにして現に教職にある士の絕好參考書である

新刊 厚母清一著 **原清 佛文解釋法** 四六判布裝二四六頁 定價二圓五十錢 送料十八錢 東京市神田區今川小路 振替東京八四二四番 金刺芳流堂
佛文の構造を正しく見究めるために文章構成の根據と用語の方法を平易に組織的に明示して解釋の要點を教ふるのである。主要なる熟語慣用句は漏さず蒐め一々詳解し之を含む例や練習問題を揭げ註解と譯文を附し必要語句の辭典的索引も添ふ。

重版 高田德佐著 **物理學計算法講義** 菊判横組總布裝二四〇頁 定價二圓五十錢 送料十二錢 東京神田區表神保町 振替東京四四二三番 中興館
受驗界の新權威 ▼學年別にして、あらゆる場合の問題を集め、解法の着眼點を示し、ヒントを與へてある。▼講義が深切で、實力が附くので好評を博して居る。教科書の新顧問

新刊 小田切信夫著 **國歌君が代講話** 菊判横組總布裝二〇五十頁 定價二圓 送料十八錢 東京市芝區松本町四四 振替東京一五八〇番 合資會社 共益商社書店
君が代一篇に關する二荒伯爵曰く「題名は國歌君が代講話」だが實は一大論文である。主張は正しく熱烈に引證は廣くて確かである。その努力苦心や實に驚くに餘りある。予は今日の教育界音樂界に斯の如き事を國民の一員として一納に滿悦に堪へぬ

重版 共立女子職業學校 主任 生島秀子著 **實用圖解 編物指針** 前編・後編 菊判洋裝定價各四圓各四五〇頁 送料各十八錢 東京市京橋區銀座一丁目 振替口座東京二一一九番 日本圖書株式會社
本書は最も良き編物の指導書として各方面から好評を頂き居ります。收載の三十二百有餘種、圖まで實に數百餘個を挿入して至りつくせりであります。圖案も各凸版寫眞版で成るべく多く揭げの資料に供へてあります。（內容見本進呈）

重版 共立女子職業學校長 鳩山春子女史序 元共立女子職業學校 足助いと子著 **あみもの** 定價 前編後編各二圓八十錢 送料各十錢 東京市京橋區新富町 振替東京七九三四 松邑三松堂
◆皆さまそろ〳〵アミモノのシーズンになりました。◆前編は基礎編みを主として、種々なる應用あみを揭げ◆後編には更に一層複雜なる各方面の應用編みを編書中心で誰れにでも一讀直ぐに出來るやうに說明してあります。

重版 芳賀・杉谷共著 前田晁補 **增補改訂 作文講話及文範** 四六判洋裝一一〇〇頁 定價三圓 送料二十七錢 東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房
明治大正を通じての名著で本書は數十版を重ねたる本書は更に昭和の新時代に順應せしむるため、前田氏の增補によりて面目を一新し、眞に文章道の權威たるにいたつた。新版忽ち重版又重版

重版 東京帝國大學 教育學研究室編 **教育思潮研究** 第三卷第二輯 菊判洋裝五七六頁 定價二圓二十錢 送料十八錢 東京市京橋區南傳馬町二 振替口座東京二八〇九 目黑書店
新設の迎送に忙しい吾が教育界に斷然異彩を放つて全國の教育家の絕對の信用を得て居る本誌も第一卷に二輯を發刊しました。本輯は春山・林・吉田・小西氏その他外一流の教育家の或は教育に不斷の研究の乞論文を滿載してあります。必讀を御

重版 喜田貞吉 東京高師教授 共著 **增補 新英和熟語辭典** 新型三六判總革裝一二〇〇餘頁 定價三圓八十錢 送料二十錢 東京・京橋・神保町 振替東京五〇一番 富山房
傑出せる五大特色
一、語數の多きこと
二、辭句の類集配置に特別の注意を拂つたこと
三、蒐集の範圍の廣汎なこと
四、外來語の豐富なこと
五、體裁の優美と携帶の至便なこと

重版 中島孤島著 **西遊記** 新型菊判四八四頁 新定價二圓八十錢 送料二十七錢 東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房
猿猴、猪魔、妖怪、火難、水難、あらゆる障害災厄と戰つて支那の都から天竺まで往復した旅ものがたり。悟猴悟空の活躍——はじめから終りまで樂しく愉快である。家庭文庫の一冊。

最新刊
帝國之前へ 大谷光瑞著 實價六十三錢送料四錢
肺病新道 北山啓助著 實價二圓二十錢送料十錢
燈を消すな 大泉黑石著 實價一圓八十九錢送料八錢
藝術と產階級 藏原惟人著 實價二圓廿六錢送料六錢
詩と言葉 タゴール 吉田絃二郎譯 實價一圓七十八錢送料六錢
江戶賣笑記 宮川曼魚著 實價一圓九十九錢送料八錢
四季の料理 婦人之友社著 實價一圓五十錢送料六錢
茶道 高橋龍雄著 實價三圓九十九錢送料十二錢
モダンス研究 玉置眞吉著 實價一圓五十七錢送料八錢
光雲懷古談 高村光雲著 實價三圓六十七錢送料十三錢
黃龍船 米田華舡著 實價一圓五十七錢送料十錢
海援隊始末 平尾道雄著 實價一圓五十七錢送料十錢
麻雀競技の戰法と戰略 清水佩集著 實價一圓五錢送料六錢
滿洲問題とは何ぞや 阿比留乾二著 實價三十一錢送料二錢
井上藏相の正體 野依秀一著 實價三十一錢送料四錢
職員錄 關東廳 實價二圓十錢送料十錢
芝居は誂向き 鈴木善太郎著 實價二圓十錢送料十三錢

大連市大山通 滿書堂書籍部 電話五一九〇・六八二番 振替大連一〇八三番

最新刊
球根花卉の作り方 安東盛著 實價二十六錢送料二錢
メリヤス製造法 米田英夫著 實價二圓四十六錢送料廿錢
消費經濟 朝日新聞社著 實價十錢送料四錢
職員錄 關東廳編 實價一圓五十錢送料八錢
燈を消すな 大泉黑石著 實價一圓八十九錢送料十錢
毎日年鑑 大阪毎日新聞社 東京日日新聞社 實價一圓五錢送料十四錢
朝日年鑑 朝日新聞社編 實價八十四錢送料十二錢
時事年鑑 時事新報社編 實價二圓六十二錢送料廿七錢
東京行進曲 菊池寬著 實價一圓五十七錢送料十二錢
玉の撞き方 東山呂川著 實價一圓廿六錢送料十錢
創生 宮田孝松著
血は麗らかに躍る 新納元夫著 實價四十二錢送料六錢
金解禁 井上準之助著 實價二圓四十一錢送料八錢
米國の滿洲 新渡戶稻造著 實價八十四錢送料六錢
滿洲題研究 新渡戶稻造著 實價一圓五錢送料六錢
支那語入門 江口良吉著 實價一圓五十錢送料六錢
萬有書全集 岡野丹羽 共著 實價五圓四錢送料廿錢
燈を消すな 大泉黑石著 實價一圓八十九錢送料十錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

義務教育費問題 實行に向つて邁進
明年度豫算見積を變更し

【東京廿二日發電】二十二日の定例閣議は減俸案撤回に決議した後義務教育費國庫負擔増額問題につき議したが小橋文相は一千萬圓増額を實行せねばならぬと主張し他の閣僚も政府および與黨の國民に對する公約もあり減俸問題と無關係と說明してゐることでもあり是非實行すべしといふに意見一致し大藏省において明年度豫算見積り變更を行ひ可及的速かに義務教育費増額問題の實行を解決することに決定した

司法官の態度には 怠業氣分など認めぬ
處分など考へぬと渡邊法相談

【東京廿二日發電】本日の定例閣議にて渡邊法相は減俸問題發生以來、司法官に反對運動起り怠業など起りたるやう傳へられるも司法官の態度には怠業等のことはなく總て合法的にその趣旨を上司まで提出せるに止まりその間何ら不穩と認むべきものはない依つて司法官の反對運動に對する處分は自分としてはしない積りであると述べ各閣僚もこれを諒とした

減俸案撤回伏奏
一兩日中に參內し

【東京廿二日發電】濱口首相は一兩日中に參內、一般政情につき御下問に奉答し減俸案撤回の經過を伏奏する筈である

辯解はせぬ 問題は豫算編成
井上藏相談

【東京廿二日發電】本日の閣議後井上藏相は語る
何も辯解はせぬ、あつさり止めただけで今更、あの計畫でどうのこうのといはふとは思はぬ閣議の席でも一言も議論なく聲明の字句につき意見あつたのみである、減俸案中止により財源關係に大きな狂ひが出來るが差し迫つた明年度豫算編成に當り既定經費節約案を全般的にやり直すは時日がないので既定經費節約の大きい事項のみについて重ねて考慮し新規要求にもより以上の削減をせねばならぬと述べて各閣僚の諒解を求めたところ何れもこれを諒として呉れた義務教育費問題につきては別に質問もなかつたが既定經費節約と新規事項削減を行つて見て、どれだけの財源が浮んで來るかを見た上でなければならぬ

民政黨總務會 減俸案撤回是認
申合二項を首相に進言

【東京二十二日發電】民政黨の定例總務會は二十二日午後二時本部に開會減俸問題につき富田幹事長藤澤總務より詳細經過を述べ、本日の閣議終了後藤澤、富田、牧山等の諸氏は濱口首相に招致され正式諒解を求められた旨を報告あり次で諸氏より各方面の情報を交換し減俸問題につき協議の結果、政府が減俸案の取り止めをなせるは非常な英斷で總務會は之れを是認するも結局左の申合せをなし四時散會した

一、義務教育費國庫負擔金増額の件は減俸案取り止めに關係なく明年度豫算に必ず計上すべきを政府に交渉する事

二、政府は今後重要問題につきては必ず與黨幹部と事前に協議する樣藤澤總務富田幹事長より政府に進言する事

依つて兩氏は右申し合せに基き直ちに官邸に濱口首相を訪ひ右の旨を進言し善後策につき協議した

豫算閣議遲れる
八百萬圓の穴埋めと 教育費増額一千萬圓決行で

【東京廿二日發電】減俸案撤回により明年度豫算財源八百萬圓の不足を來たした上へ義務教育費増額一千萬圓をも實行するに決したので大藏省はこれが財源發見につき苦境に陷つたが結局、各省の整理節約を更に行ひ既定經費の整理節約をなす外なく主計局は直ちにこれが考究に移つたがこのため豫算閣議は豫定より遲延して來月十日頃まで延期の已むなきに至つた

一ケ月以內に 哈爾賓占領の提議
勞露執行委員會で可決
極東軍司令官に命令下る

【倫敦二十二日發電】モーニングポスト紙リガ通信員よりの情報に依れば、最近共產黨中央執行委員會幹事長スターリン氏司會の下に行はれた會議で東支線及び哈爾賓を一ケ月以內に占領すべしとの提議を可決し、勞農政府極東軍司令官ブルーヘル將軍に命令が發せられたと

減俸案撤回と 樞府側の觀測

【東京廿二日發電】濱口首相の減俸案撤回聲明につき樞府方面では政府は十五日の閣議で明瞭に決定して置きながら問題となるや未定稿として宣傳してゐたが總て嘘であるといふことが分つたこの上は立憲政治に鑑みその責任を明かにする要がある取り消したから宜いといふ譯には行かぬ若それでよければ今後政府の閣議決定事項につき國民が反對すれば政府が責任を以て遂行するものであるかどうかを疑ふこととなるといふにある

減俸案撤回に就て
政府の非常な決心は 最早當にならぬ
森政友會幹事長談

【東京二十二日發電】政友會森幹事長の談
現內閣は始め脫兎の如く終りは處女の如く減俸案を扱つた、國運打開、經濟の根本的立て直しを標榜し死を以て當ると迄云つた政府の行爲として之れで濟むかどうか、尠くとも

一、濱口內閣の常套語たる非常な決心で臨むと云ふ樣な主張は最早や當てにならぬ

二、政府が良く云ふ範を國民に示す事は之れからも出來る、即ち僚政務官が俸給を國庫に返還して範を垂れたらどうか

三、世論の趨に據つたと云ふ事は實は現政府は世論の實際を見る明がなかつた事を示す、而も世論と云ふが安達內相の話では地方農村中には官吏の俸給減額を希望してゐる事は明かである、從つて撤回の理由は官吏の反對的團結にあつた爲である

四、井上藏相は物價低落を理由とすと辯じたが遂に政府の官吏に其の嘘であつた事を教へられた

國政の大機に在る濱口內閣は今少し眞面目に眞劍に考慮する必要がある

政府攻擊の 反響は不明
松岡均平男談

【東京廿二日發電】公正會松岡均平男の談
政府の責任論は當然反對黨側から起らうが、然し其の攻擊が國民に果して受けるかどうかは判らぬ

他日 問題たらん
前田利定子談

【東京廿二日發電】貴族院研究會前田利定子談
撤回聲明に「世論の趨嚮に鑑み」とあるが政府は觀測を過つたこの點は他日問題となるであらう

よい新例
湯淺倉平氏談

【東京二十二日發電】同成會湯淺［illegible］
政府が公明率直に撤回したのは良い新例である、既に非を認めて政府が撤回した以上餘り追窮する樣な事はあるまい

米國全權 ボーラー氏は 拒絕せんか

【ワシントン廿一日發電】米國務長官スチムソン氏は上院外交委員長ボーラー氏に對しロンドン軍縮會議委員たらんことを勸說した併しボ氏は彼れがこの會議に參列するため追つて會議の結果を檢討する上にその判斷の獨立を束縛されるかも知れぬことを虞て、これを拒辭したと發表した

關東廳官吏は 漸く一安心
減俸令取消の電報て

關東廳では去る十五日拓務大臣よりの減俸令に關する電報通牒があつたので直に之に關する調査等を遂げるし一方所屬官吏一同は大恐慌を覺えてゐたが、二十二日に到り拓相及び太田長官より右案は同日の閣議に於て撤回となりたる旨正式に前通牒取消しの電報があつた官吏連は檢事團其他の反對運動政府の撤回說等に心中大なる期待を注ぎつゝも尙心配してゐたが右の通牒で全く安堵の胸をなで下した

英首相

【モントリオール廿一日發電】英首相マクドナルド氏一行はアメリカより歸國の途次、本日、モントリオールに到着した、氏は當地滯在中にマツク、ギル大學の名譽學位を受けることゝなつてゐる

佛伊豫備交涉
既に開始さる

【パリ二十一日發電】フランス政府は潛水艦問題に關しその態度を近く英國政府に通牒すべしとこの間、佛、伊兩國は既に豫備交涉を開始した

馮軍許州を占領
政府軍と唐生智軍との 聯絡は完全に遮斷さる

【漢口廿二日發電急至報】京漢線許州は馮軍のため占領され政府軍と唐生智軍の聯絡は完全に遮斷された

此一週間內に 兩軍は正面衝突か
戰機漸く熟し來る

確なる筋の觀測に依れば蔣馮の正面衝突はこゝ一週日內に鄭州、信陽線に於て開始さるべく、馮玉祥氏は二十日より已に總攻擊を始めたるに對し蔣介石氏も二十五日より愈々總攻擊をなすべく全軍に命令、目下着々戰端開始の準備中であり、愈々戰機熟せる感あり、從つて此の一戰は反蔣運動の運命を決定し又目下去就不明の張發奎、呂煥炎其他の色彩も判然たらしむることゝなるのであるが、今各軍の陣容を示せば左の通りである

◆蔣介石軍　鄭州の西方鞏縣より許昌、郾城の線に亘り唐生智の第五路及び揚虎の第十軍部（六ケ師及騎兵一旅）及鄭州に第七師あり、信陽、南陽附近の線には中央軍の三個師西北方に對し守備し居れり

◆馮玉祥軍　は孫良誠の率ゆる約七個師を以て隴海線の方向より鞏縣を攻擊せんとし、宋哲元の率ゆる約九個師は南陽、信陽及湖北省に攻擊前進中

◆其他灰色軍　方振武軍は安徽省附近にて流離分散の狀態張發奎軍は湖南西南方より廣西省に入り廣西派と連絡しつゝあり、廣東に於ける呂煥炎軍は在廣東の中央軍に寢返つたが態度曖昧、北方では韓復榘軍の二ケ師は黃河南岸より北岸に移り中央擁護を表明しゐるも疑し、劉珍年軍の二ケ師は昌德郡部附近にあり、陳調元、石友三の軍隊も中央擁護を表明し目下山東南部及安徽附近にあるも態度曖昧

鞏縣滎陽間で 小衝突

【鄭州二十二日發電】政府軍の前線は鞏縣、滎陽間にあり前月來小衝突あるも主力の衝突に至らず、目下鄭州は唐生智指揮の第五路軍五ケ師團で堅め內部の變化なき限り安全である、今朝政府軍の飛行機は孫良誠軍洛陽の本營に爆彈を投下した

蔣と馮との對峙も 結局は金が問題
金の切れ目が火蓋の切れ目

支那の內亂といへば餘り珍しくもない。だが今度のは蔣介石氏と馮玉祥氏と二大軍閥が對峙してゐるのである。その戰蹟如何は直ちに支那の政局に一大變化を惹起する。この變化は無論日本を始め關係各國に大なる影響を及ぼす。從つて、珍しくはないが默過漫然視するわけには行かない。

所で、蔣馮の對峙とはいふものゝ、實は宋哲元、石敬亭、孫良誠ら馮玉祥系の將領が反蔣の旗擧げをなし、交戰を始めてゐるので、馮玉祥氏その人は表面には立つてゐないのである。だから、前記の馮系將領連が今月十日附で第二次の反蔣通電を發した際、馮玉祥氏は「たとひ政府の措置に不當の點があつても、遽に武力に訴へるのはよくない、國事は靜かに國民の公決に俟つべきものだ」といふ意味の返電も出させたくらゐである。

併し馮玉祥氏は表面に立たなくても、裏面には充分立ち得る。否現に立つてゐるものと解する方が正しからう。蔣と馮とはもと／＼犬猿の間柄であつて、閻錫山氏の居中調停がなかつたら、とつくに一合戰をやつて勝敗を決してゐる筈なのである。

馮系將領連が反蔣の旗擧げをするに至つた動機は何であるか。これにも表裏二面がある。表面の方は第二次の反蔣通電に明瞭に示されてゐる。これによれば（一）蔣介石氏は政府を私し、獨裁專制を行つてゐる（二）腹心の徒と財閥を要路に置き、財政を私してゐる（三）軍隊の將卒に十數ケ月間も給料を支拂はず、民は飢餓に苦しみ居るにも拘らず、蔣介石氏とその左右は豪奢を極め、三年間に四億二千萬元の公債を募集しながら、その使途を明らかにせず、剩つさへ機密費として蔣介石氏は毎月百萬元を消費してゐる（四）革命後功勞者の絕滅を圖り、己は帝王の如く振舞つてゐるなどといふのである。これらが孰も事實であるか否か、擧兵の理由だといふものは何とでもコヂつけ得るものであるから、深く穿鑿するにも及ぶまい寧ろ考へて觀なければならぬのは裏面の動機にある。何となれば、この動機次第によつて双方の對峙が一時的のものかどうかがほゞ推測され得るからである。

では、その裏面の動機は何處にあるかといふに、手ツ取り早くいへば、金にある。前記反蔣通電の（三）の冒頭にある「將卒に十數ケ月間も給料を支拂はず」といふのが事の起りなのである。自ら生產的に働いてゐない軍人は衣食の資を與へられなくては暮して行けない。轉つて貰へればこそ蔣ふものゝ命令に服し、戰線に出て砲彈の的にもなる。轉つて貰へなければお仕舞である。緣は切れるのである。

尤も蔣介石氏とても中央政府の首席として、兵馬の最高權を掌ね有してゐる以上、すべての軍隊に給料を支拂はないのではあるまい。財政難から無論充分のことは出來てゐないに違ひないが、自己の直系や、關係の深い、心服してゐる軍隊には厚くし、然らざるものゝ殊に自分が最も不安を感じてゐる馮玉祥系のものなどには自然薄くなる、たまには拂つてやらないこともあるのであらう。これはかねて馮玉祥氏が蔣介石氏に對し部下軍隊の裁兵費として二千餘萬元を要求し蔣氏がこれを承認してゐるにも拘らず、實際これに應じて給した額は僅か七十萬元に過ぎず馮氏は止むなく、その不足分を自分で工面し遣り繰せねばならぬ立場にあることを察しても想像し得るところであらう。

蔣介石氏とても反旗を飜へす奴が方々に現れ、それらが一體となつて襲うて來た日にはやり切れないから、融通の出來るほど持つてゐるのなら、此際多少とも金を出して反旗をおろさせるぐらゐのことはやるであらう。併し實際ないのなら、ない袖は振れない。反旗は武力でたゝき拂へてしまへといふことになる。

蔣介石氏がこの際金を工面し得れば、問題は案外簡單に解決するであらうが、今日まで蔣介石氏のために久しく御用をつとめた浙江財閥も、最近反蔣運動が盛んになつて蔣介石氏の地位がぐらつき出すと觀てゐるから、自然その他の財閥の財布のひもを締めにかゝつてゐる——金が出ない、戰爭になる。勝つたものが幸ひ全國を風靡するほどの勢力を占めれば、財閥は又そろ／＼財布のひもを緩める。而して當分國內の平和が續くといふ順序であらう。

國民外交協會が 國貨公司の
設立に努め出征軍慰勞

【奉天特電二十二日發】奉天國民外交協會では廿一日、會員を招集し左の如く決議した

一、出征軍を慰勞するため寄附金三萬元以上を募集し馬五百頭、鑵詰一萬箇を購入し十一月一日まで滿洲里に輸送すること

二、國貨公司設立のため東北四省で一株百元、五十元、二十元、十元、五元の五種の株式により資本を募集中であるが更に商務會をして日本および外國商人が東北省において如何なる商品販路を擴張してゐるか、その方法につき調査せしめ百貨製造工場および各地に國貨公司設立に努めること

奉天側代表 太平洋會議へ

京都において開かれる太平洋問題調査會に出席する東三省側の代表中華キリスト教青年會總主事閻寶航氏一行八名はいよ／＼廿三日午後三時半發の安奉線急行にて京都に向ふことゝなつた

閻氏を賴り 和戰兩樣の準備
武漢に兵を進むるも

【北平廿二日發電】閻錫山氏の機關紙所報によれば中央政府は西北軍に對し和戰兩樣の策をとるに決し一面、蔣介石氏が十ケ師の兵を率ゐて湖北、河南兩省より討伐軍を進めると共に他面、閻氏の和柔策を容れ飽くも和平の望みあらば直に停戰して解決方を閻氏に一任せんとし專ら閻氏の斡旋を待つものゝ如く見られると、併し一般情勢は閻氏の和平發議が果して單純なる停戰和平に止まるや否やその間、重大目標を有すべしと觀測されてゐる

奉天代表王樹翰

奉天側代表として赴南中の王樹翰氏は十九日歸寧した

濠內閣
總辭職し新內閣は勞働黨が

【オースタリ、カンベラ二十一日發電】產業仲裁法修正の件で破れたブリユース內閣は總辭職し勞働黨首領スカリン氏が新內閣を組織することゝなつた

二百五十萬噸の 北滿貨物盡く南へ
大部分は冬期三ケ月間に殺到
長春驛では轉手古舞

【長春特電二十二日發】露支紛爭の結果北滿貨物は盡く南行し多期の繁忙期が近づくに連れて長春驛經由の連絡貨物は日一日と增加し二十一日には三百十八車といふ最高數量を示し連絡ホームは苦力八百人を以て作業してゐるが本年は**東行杜絕と**いふ特殊の事情があるので北滿の貨物二百五十萬噸約一萬車が盡く長春驛に仕向けられ其の大部分は十一、十二一月の三月間に殺到するので長春驛では總動員の準備をしてゐるが廿一日森田驛長は趙東鐵聯絡驛長と會見し聯絡事務上の打合せをなした、滿鐵の多期繁忙期に於ける對策を聽くに滿鐵は全力を長春驛に注ぎ作業苦力の千五百人を用意し南行し來る貨物を直ちに積卸す準備をしてゐるが、萬一露支問題の進展に連れて北滿貨物が**一時に殺到**し輸送しきれない場合は新田野球グラウンドトラツクに臨時引込線を數設し此處に野積する計畫で、是に備へる爲枕木十萬本アンペラ二十萬枚を用意するに決した

白系避難民
ハイラルに殺到

【ハルビン廿二日發電】三河地方に於ける赤農パルチザンのために被害を蒙つた白系農民は既にハイラルに五百名以上避難して來てゐる、毎日多數の團體が家財道具を捨て着のみ着のまゝで逃げて來る光景は慘澹たるもので、米國副領事リリエンストロム氏の報告によつても其の半面が窺はれるが、結氷期までには約一萬五千の避難者が殺到するであらうとみられてゐる

參謀總長の勇退と 陸軍部內の異動
後任は菱刈大將か

【東京二十二日發電】鈴木參謀總長は來る十二月の異動期に勇退の模樣であるが、その後任は教育總監武藤大將となり教育總監の後任には金谷範三、井上幾太郎、鈴木孝雄、菱刈隆四大將が噂に上つてゐるが金谷大將はこれを欲せず井上、鈴木兩大將は特科出身につき菱刈大將の就任を見るべしとされてゐる、而して臺灣軍司令官の後任には松井第十六師團長、十六師團長の後任には坂部砲兵監が擬せられてゐる

天津から上海への 陸路交通は杜絕
坪上氏ら一行引返す

去る四日、青島へ向つた外務省對支事業調査會坪上貞二氏ほか二名一行は廿二日入港の濟通丸にて天津より突然、引返して來たが坪上氏は語る
天津から漢口まで出やうと思ひましたが目下動亂で京漢線は不通となり天津以南は切符を賣りませんので止むなく引返した譯で明日出帆の榊丸で海路上海へ行きます內田嘉吉氏らの貴族院議員一行も私共の次の列車で上海迄行く筈でしたが右の次第のため昨日、大連を出た長平丸に天津より乘込み上海に行くさうです京津地方の人心は平穩で戰爭なんかには不關焉です併し鄭州が馮軍のために陷り反蔣軍の勝利と觀て居りますから既に鄭州が陷落した以上形勢は反蔣軍に利あるものとなるでせう

佐藤公使
打合せに歸朝

【東京廿二日發電】ロンドン會議に事務總長格にて出席する佐藤尚武氏は事務打合せのため近くジユネーヴ發シベリア經由東京に歸着することになつた

樺太疑獄の 大檢擧
近く着手か

【東京二十二日發電】樺太山林疑獄事件につき地元の犯罪捜査を行つてゐた樺太廳警察部土屋司法主任は、確證を握つたもの〻如く二十一日入京捜査の結果を縣長官に報告した、縣長官は二十二日午後二時半松田拓相を拓務省に訪ひ大塚警保局長の來省を求めて約一時間に亘り密議を凝らしたが、此の結果［illegible］元樺太廳高官を始め關係者の大檢擧に着手する模樣である

中島秘書官を 政友會が告發
拳銃發射事件

【東京廿二日發電】政友會官權濫用調査特別委員會は廿二日午後開會されたが、濱口首相秘書官代議士中島彌團次氏の首相官邸に於ける拳銃發射事件は綱紀紊亂の甚だしきものとして、同黨代議士立川太郎氏の名を以て直に東京地方裁判所に告發した

小倉子爵逝去

【東京廿二日發電】陸軍大佐貴族院議員子爵小倉英季氏は豫て病氣療養中のところ廿二日午前六時五十分大久保の自邸にて逝去した

燕京大學々長

北平にある燕京大學々長ゼイ、エツチ、スチユワード氏は京都における太平洋問題調査會に出席のため二十二日入港の濟通丸にて天津より來連した、數日滯連のうへ內地に向ふと

專門學校檢定試驗

關東廳の第八回專門學校入學者檢定試驗は左記の通り旅順、大連、奉天の三地に於て施行さるゝことゝなつたが、受驗者は來月十日まで規則に依る願書を提出すべしと尙開始時刻は毎日午前十時からとなつてゐる
△十一月廿五日英、修△廿六日歷、化△廿七日國、漢、博△廿八日數△廿九日物、圖△卅日地體）以上男子）△廿五日國、修△廿六日歷、家△廿七日裁△廿八日數△廿九日理、地△三十日體（以上女子）

武道會の定期試驗

大日本武德會本部の定期試驗は弓道十一月十、十一日、劍道、柔道十三、十四日京都武德殿に於て執行の筈であるが希望者は弓道七日其他十日迄受驗の請求をすべしと

はるびん丸

二十三日入港のはるびん丸は午前九時半大連港外着の豫定

人事

▲山西恒郎氏（撫順炭坑所長）二十二日二十二時三十分着の列車にて奉天より來連ヤマトホテル
▲中川增藏氏（吉長鐵道滿鐵派遣員）同上

安樂椅子

支那では昔から菊を愛し陶淵明その他、菊を詠んだ詩を作り四君子の隨一として繪にも描かれてゐるが、鉢植として室內に飾ることを主とした結局か、花を愛して葉を顧みず蘂の莖に接ぐので、どうも佳い花も咲かぬ▲そこにたると日本の花卉は屋外を主として栽培し、野趣を尊ぶところから、黃菊白菊いづれにしても東籬採菊に適する▲わが大連でも十數年來盛んに菊の栽培が流行し、大天狗、中天狗、小天狗まであつて我おとらじと苦心する▲支那人もそれを眞似て蘂ならぬ菊苗からの菊を作り、實生の栽培さへ行はれ、中央公園や大廣場、菊の展覽まで出來て並べられるが、時に多ごもりに入らんとする大連人士には、なくてならぬ晩秋初多の行事であり、同じ東洋趣味でも支那人と野趣を求むることにおいて異るところに、また日本人の趣味性が發揮されるといふものだ

特產

定期後場（銀建）

▲大豆（強調、單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　七十二車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三萬一千枚

▲豆油（出來不申）

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三十九車

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六八三〇	六八四〇

大豆（裸物）出來高 十車
普通大豆（出來不申）
豆粕 一二九〇 一三〇〇
出來高 一萬九千枚
豆油（出來不申）
高粱 出來不申
包米（出來不申）

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（近期 四十七萬圓、遠期 七十五萬圓）

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金 二萬圓、銀對洋 一萬圓）

商品

後場

麻袋（保合）
銘柄 約定期 値段 枚數
鐵筋 延一月末 [illegible] 一萬枚
綿糸布、麥粉 出來不申

神戶特產（廿二日）

銘柄	値段
大豆現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
滿洲小麥先物	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
新株	[illegible]	[illegible]
品取	不申	[illegible]
中先	不申	[illegible]
信託	不申	[illegible]
新東	不申	[illegible]
東電	不申	[illegible]

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
五日	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	[illegible]	[illegible]
新株	[illegible]	[illegible]
大紡	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日船	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]

支那の現實　どん栗の內戰抗爭に

理想はなかなかに實現せず、却つて空想に陷るなきを保し得ぬのは、人間社會の實情である。蔣介石が南京政權の首領として、南北を統一し、新舊軍閥を駕御して行ければ、それに越したことなく、支那の實情が、近代的國家に更生し得ぬにしても、とにかく國家といふものに纏め得るであらうが、問屋はオイそれと卸さず、さすがの蔣介石も、昨今では、その運命を時日の問題とされるやうになつたのは、支那のために殘念であるのみでなく、折角、國民政府と、條約の改訂にと思つてゐる日本としては、隣邦であるだけに、一入の遺憾を威ずる。

◇

よし蔣介石が沒落しても、國民政府は、依然として棟梁を替へ、中央政府としての仕事をやつて行けるやうなら、すこしも問題はないが、個人と國家の機關とが、分離し得ぬやうな支那の實情にありては、馮や閻や、また奉天軍閥の人々が、よし地方的であつても、政權を把握し、その首領として頑張ることに利害の關心を持つことは當然とすべく、新舊軍閥の封建的個人勢力時代から、機關を以て統制するといふやうな新時代には未だ入らざることを示してゐるのである、この支那の實情に對し、日本人などにも、希望と觀測とを混淆するもの多く、蔣介石の東南軍閥を買ひかぶるものが多いのであ。蔣には個人として、相當に傑出するところあらんも、機關組織の力が、それをヂヤスチファイして行くだけに支那の實情が進んでゐぬから、人氣が蔣を去るや南京政權も、一朝にして沒落するやうなこともなしと限らぬ。

◇

支那の首都が、今日、もとの北京であつたならば、恐らく蔣介石は、すでに沒落して居つたであらうと思はれる。袁世凱をはじめ、支那政局の中心にあつて、久しくその地位を保維することは困難である。國民黨の人々は、ここに考へ及んだのか、それとも偶然か、とにかく首都を南京に移した。上海はあつても、安福派の策士のやうな連中は、容易に天津を離るゝことが出來ず、それに上海は、貿易港として尨大なるだけに、未だ策士の巢窟とならず、この分なら蔣介石の南京政權も、相當の壽命を興へしめられた。併し、支那の國運といふものは、領土の大、人口の衆なるだけに、南京を中心として統制し得るや覺束なく、最近にては北京を國都になどの回顧思想も發生し來つた。この氣運に向つて、蔣介石は果して、南京政權を支持し得やうか。

◇

この元旦に開いた編遣會議、理窟はともかく、各新舊軍閥の軍隊は私兵であり、衣食住の機關であり、方便でもあるのだから、裁兵も空言に終り、中央の命令など、名あつて實の伴はず、地方の地盤を固持して苛斂誅求するに、何の不思議もないのである。明哲ならずとも保身に長け、自己軍閥の埒內だけは絕對不可侵、何らの治外權力をも認めぬ。張學良など、蔣介石に對し、大體において妥協的態度に出で居りたりしといへど、一たび奉天軍閥の根蔕を危くするものあらんか、猛然として排他的の姿勢に出づる。その場合、そこに道理もなく、道義もない。馮玉祥と閻錫山と、外遊を餘儀なくせられんとしたが、時はすべてのものを支配し、その後、局面は一變した、閻は馮を支持しつゝ中央擁護を標榜し、さすがの蔣も、閻の眞意を知りつゝも、それを抑へるだけの實力なく、形勢は日一日と蔣に不利、大廈の倒く、浙江財閥の金力を以てしてもといふことになつた。

◇

支那の軍閥は要領がよく、大勢に順應すべく、いろいろの旗を準備してゐる、その軍閥保維が、結局は明哲の行動ともいふことが出來るのであらう。とにかく大軍閥といへば、何萬、何十萬の團體生活である。これら多數者の生命を保持して行かねばならぬのであるから、頭目を表看板に舁ぎ上げ、以て團體生活の表識とせねばならぬ。馮系といひ、蔣系といふも、歸するところは軍閥生存の便法であり、場合によつては馮系たり、また蔣系に寢返り、裏切ること、にがにがしきが如きも、彼らとしては必要に迫られたる當然のことであらねばならぬ。この當然事を察せず、蔣介石を買ひかぶつたりまたは南京政權が、南北を統一し支那をして近代的國家に更生建設すべしと做すが如く豫測するものあらば、それこそ葫蘆によつて樣を畫くものといはねばならぬ。果して然らば、支那の時局、今後、いかに展開するか、蔣介石の運命何となるか、その邊のこと、豫め斷定を難しとすると同時に、南京の國民政府が、結局は統御すべしとも限らず、悉くは支那の實情に照して觀測すべく、日本の維新などを引例して形づくるは早計に失すといはねばならず、ムツソリニも出でず、レニンも現はれず、ましてワシントンのやうな人間も飛び出さず、どん栗同士の新舊大小の軍閥が、ここもと內戰抗爭に、劫火を燃すことと觀測するより外あるまい。それが支那の現實であり、五千年以來の實情なのではあるまいか。

唐軍の態度　愈よ疑問視さる

反蔣各軍頻りに動き　近く徐州方面で開戰

【北平發】河南省開封にありて唐生智氏と共にその去就を最も注視されてゐた韓復榘軍は十五日より東南に向つて移動を開始したがこれは孫良誠氏と諒解成り南下し來る孫軍に對し路を開けるものと觀られ、更に其後の唐生智氏の行動は馮系との連絡の疑ひ濃厚となりつゝある、一方河南の魏益三、劉春榮兩軍は何成濬氏の指揮下に入つたとはいへ元來奉天派の軍隊であり白崇禧の舊西集團軍とも關係ありし爲め其の向背は著るしく疑問視されるに至つたが、右に對し反蔣派の宋哲元軍は目下武漢方面に向つて進擊しつゝあり孫良誠軍も徐州に向つて動きつゝあるので近く兩方面に於て相當の激戰が豫想されてゐる

我が海軍全權委員の初會合

ロンドン海軍會議に派遣さるべき帝國全權事務所は首相官邸に設置されたので十八日午後二時から全權委員の初顏合を催し事務的準備の打合を行つた、寫眞は前列右から吉田外務次官、山川端夫、財部海相、濱口首相、若槻全權、左近司海軍中將、後列から堀田歐米局長、堀海軍々務局長、鈴木書記官長、川崎法制局長官

南征雜錄（14）

難波勝治

モビル（承前）

二日間のモビル滯在中一番愉快に感じたのは、同市の郊外に日本人が三家族住居し、その何れもが相當の事業成績を擧げて居る事である。而して右の三家族はクライトンの澤田幸作君と其共同者井村佐平君、及びセメス在住の清野主君とである、クライトンはモビル市を距る西方八哩、海拔二百呎以上の高地だが、セメスはそれから更に七哩餘を離れて居る、四月五日午前九時、私は大野船長、小林事務長等四名の船員と共に上陸し商船會社の代理店、郵便局などを歷訪した後、船內賣込業者の店員に案內されて澤田君經營の植木園を參觀する事となつた、午前十一時過ぎから主人に導かれて園內のグリーン、ハウスや、今を盛りと咲き包ふツ、ジなど一覽したが、最も多く仕立てゝあるのは常綠の針葉樹、織出先きは重にニユーヨーク、ボストン地方にまで及んで居るさうであるが、澤田君は大阪府の人で、明治三十八年渡米、加州を振出しにテキサス州で二年間米作に從事したが、成績が思はしくないのでルイジアナに轉じ、目下ゼネバに於ける邦人米作者として有名な新井君の許に身を寄せ、約百萬本のオレンヂ栽培を試みたがこれ又失敗した、それは一朝寒氣襲來して植樹全部が枯死した爲めで、再び土地を代へてクライトンに現在の植木業を開始したのであつた、總面積六十英町、數名の白人を使役して少からぬ利益を收めて居るが、入植當時一英町七十五弗で買入れた土地は、今や二百五十弗乃至三百弗、若し豫定の道路改良が實現されて電車が通ふやうになれば騰に五百弗位には騰貴するだらうといふ、家族は夫人の外に二男一女を有し、瀟洒たる家屋內に請ぜられて饗餐の饗を受けたが、食後共同者の井村君も來り合せて快談した、同君の出身地は石川縣、日米社長の我孫子久太郎君より一年後れて渡米したが、爾來風霜四十有四年、前に述べたニユウオリンズの北方ゼネバに居住する新井君や、米國仕込みの興行師として知られた檻弓人翁等と時代を同じうする大先達である、家族は夫人との間に五子を有し、當地に轉住してからでも既に二十年に及ぶさうである、村とはいひでうクライトンは人家落々たる僻地で、小學校まで約四哩、通學兒童は每朝專用自動車に送迎されるのである、この經費は一切郡の支出に係るが、二哩以內の距離は總て徒步通學の規則だといふ、自動車といへば農園使用の白人勞働者も皆手持の自動車がよひ、而もそれは主人公のより立派だと澤田君は笑つて話した、都市を離れた田舍住ひは聊か不便だが、太平洋岸のやうに排斥氣分もなければ土地も自由に買ひ入れ得る、飼養のホルスタイン種二頭、每日十ガロンの牛乳は三分一を飼養者に與へ殘りを兩家族で十分宛飮用するのだが、幼兒の養育にはサワア、ミルクが好成績であるなど、米國の田園生活は何處までものびのびして居る、併し澤田君の談によれば在米の日本人は兎角成功を急ぎ猶太伊太利人のやうに隱忍持久の堅實味に缺けて居るさうだが、之は私も到る處で耳にした國人の反省點である、時間の都合でセメスの清野主君を訪問する事は出來なかつたが、聞けば京都大學教授たる清野謙次博士の令兄に當り、約七八十英町の土地を所有して同じく植木農業を經營して居るさうである

張學良氏から各省に訓電

西北問題は嚴正中立　邊防の警備を嚴にせよ

【奉天發】張學良氏は吉林、黑龍江、熱河各省政府主席及び哈爾賓張景惠氏第一軍長王樹常氏第二軍長胡毓坤氏その他東北各軍政機關宛十九日左記訓電を發した

十九日國民政府首席蔣介石氏より馮玉祥氏親征に關し軍政部長譚延闓氏に國民政府代理主首席を委任し且つ十八日より津浦線の乘客取扱を禁止せる旨の通電に接したが、東北省は西北問題に關しては暫時嚴正中立を以て形勢を傍觀することにした又露支問題に關しては露國が誠意を以て交涉に應ぜむる限り飽迄初志を貫徹する方針である邊防の警備を嚴にして西北問題の隙に乘ぜられない樣に注意を乞ふ

南京政府の國境出動軍慰問

【奉天發】露支紛爭發生以來中央政府は數回に亘り軍費と軍隊慰勞金とを奉天に送達して來たが今回又復邊防軍慰勞專使として軍政部次長陳儀氏が來り張學良氏と會見をなし軍隊慰勞金十二萬元を攜帶し廿日隨員と共に北上の途に着いた

學良氏は絕對中立

林文龍氏かたる

二十二日出帆のばいかる丸にて張學良氏秘書林文龍氏が家族同伴、日本內地に向つたが氏は流暢な日本語にて語る

二、三ヶ月、東京に滯在しそれから家族は東京に殘して私とひとり歐米に約一ヶ年の豫定で巡遊します、蔣、馮關係が如何に紛糾しやうとも學良氏は豫て聲明せる如く絕對中立を嚴守しますが、要は和平確立の大目的のためです

破竹の勢ひで馮軍の進出

先鋒隊が敵陣を奪取して　鐵甲車隊が續擊する

【天津發】西北軍が十日の國慶日を期して行動を開始し極めて迅速に二日經たぬ內に洛陽を奪取してゐるが、元來第五路軍の唐生智軍の實力は約一個師位で到底西北軍の敵では無いのみならず西北軍は非常に訓練された統制ある軍隊で常に左手に拳銃を握り右手に白刃を揮つて先鋒隊を務め戰鬪力强く先鋒が敵陣を奪取すると直ぐ鐵甲車隊が續行するので何んな堅壘でも擊破せないものはなく況んや其軍隊は過去數ヶ月間旱災饑饉の地方に餘儀なくされた連中で給與は不足し日に艱難を感じて居る餓狼の如き連中である故其中原進出の威勢は非常な勢ひで到底防止する事は出來ないと見られてゐる

陸氏近く歸寧

【ハルビン發】グランドホテル滯在中であつた南京政府鐵道部代表陸夢熊氏一行は十九日午後ポクラ方面視察のため出發したが、大體の調査はこれで終るので政府に總てを報告し今後の指示を仰ぎ一應歸寧する意嚮である

段氏の擁立を天津で策謀

蔣氏の失脚を豫想し　安福派の暗中飛躍

【天津發】目下天津方面に於ては蔣介石氏の失脚は目睫の間に迫れるものとして蔣氏失脚後の中國の政情に就き各種の豫想が行はれてゐるが、單獨で時局の收拾に當る人は先づ無しと觀られて居り、揚子江以北の地盤は今回の反蔣運動の黑幕たる馮氏、並に中立と稱し明らかに消極的反蔣態度を執れる閻錫山氏等の手に歸して軍事的解決を見ると共に、政治的方面は段祺瑞氏之が解決に當るべしとして安福派の王揖唐、姚震氏等の多數の策士は盛に段氏擁立の暗中飛躍を續けてゐると

第三次通電

內容は六ケ條

【奉天發】先に反蔣通電を發した宋哲元氏以下の各將領は十六日附を以て第三次反蔣通電を發したがその內容は六ケ條より成り南京政府の改造蔣介石氏の下野等が主たるものであると

東鐵の公文書

露支兩文採用

【ハルビン發】東鐵管理局に於ては公文書一切を露支兩文に改めるため各課主任研究の結果明年度一月一日から實施することに決定したと

吉田野田兩巡査遭難義捐金寄附

〇弔慰金
▲大洋五十圓張敬堯▲金十五圓大連大正尋常小學校職員一同▲金十圓張宇根▲金十圓朝日ギブス商會▲金六圓二十錢日の出町滿鐵母の仕事會有志▲金三圓みなと屋菓子舖▲金五圓山野新吉▲金二圓五十錢宛前田邦子、前田東洋治▲金二圓並松節二▲金一圓村上稔
日計一百七圓二十錢（內大洋五十圓）
累計一千五百二十圓四十五錢（內大洋五十圓）

〇見舞金
▲金五圓大連驛
日計金五圓
累計金一百二十四圓
總累計金五千二百九十一圓三十七（內大洋五十五圓）

〇兩警官義捐金
金十三圓五十錢朝日小學校職員一同▲金十圓泰東日報社▲金四圓五十三錢朝日小學校（五年一組、四年一組、四年三組、一年四組）兒童有志
日計金二十八圓三錢
累計金三千六百七十四圓九十五錢（內大洋五圓）

〇弔慰金
▲金七十一圓六十四錢
日計金七十一圓六十四錢
累計金一千五百九十二圓九錢（內大洋五十圓）
總累計金五千三百九十一圓四錢（內大洋五十五圓）

慢性胃腸病に苦しむ人よ
是非ともアイフを服用せられよ

平素胃腸の虚弱なる人は秋口は最も注意を要す、夏季の暑さのために知らず〱に氷ビールサイダー等の飲み過ぎ又は夜分の寝冷や不養生のために胃腸を甚しく損傷せしめ重症に陥り身體がげつそり衰弱する事がある。殊に慢性胃腸病の人は長い間胃腸の故障を捨て置きたるため其の機能をすつかり損傷せしめ内部には疵やたゞれを生じ

● いつも胃弱にて食慾進まず胸先つかへ胸やけし消化不良にて嘔つき胃痛み
● 下痢又は軟便にて便には粘液とて鼻汁の如きものを混じ裏急後重を起し
● 胃擴張にて腹はり痛み放屁多く出でゴロ〱ブツ〱鳴り心持悪しく
● 内壁に疵を生ぜるため滋養物を食するも身に付ず身體衰弱し神經過敏となり
● 榮養吸收不良にて元氣衰へ力なく顔色悪しく身體虚弱となり疲勞を覺え
● 體質虚弱にて殊に胃腸障害のため肺尖を犯し輕度の發熱を來し夜眠られず
● 腸加答兒にて一寸の飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み
● 重症にて大便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核腸潰瘍等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ

アイフは胃腸病に對し最も親切に調劑せる良藥にして主藥は加答兒の原因たる腸胃内壁の爛れて居る部分に附着して炎症を鎮め粘膜を强壯にし粘液の分泌を減じ大腸に於ては硫化水素と化合して硫化蒼鉛となり胃腸の弛緩を引しめ蠕動を制し下痢を止め痛みを鎮靜する特効がある。故に胃腸病者は此のアイフを内服すれば胃腸を健全にし食慾を進め血色を良し榮養の吸收を佳良にし體重を著しく増加し服用後目に見えて健康を回復し隨分の重症でも必ず大効果を得べし

藥價
一 普通アイフ四日分七十五錢、八日分一圓五十錢、十七日分三圓、四十五日分七圓
一 重症用特製アイフ十一日分五圓、廿三日分十圓、卅六日分十五圓、八十日分三十圓

本舗へ御注文の方は藥價を郵便爲替又は振替大阪三四五番へ拂込あれ着金次第送藥す

大阪東區淸水谷西之町三六五番地
發賣本舗 順和公司
振替大阪三四五番 電話東 五〇〇 五〇二 五〇三

大連市山縣通一丁目振替大連三七六五
大連支店 順和公司

コドモページ

童話 樂園の破壞者（下）

近藤義長

「バッツ……」と云ふ銃の響きと共に「しまつた！」とその人は叫びました。パッと羽が散りましたねらひは少しはずれたのですが、羽をかすめられた鳩は飛ぶことも、どうすることも出來ないのです。小さくはゞたきをすると其處にうづくまつてしまひました。

此の時遊びから歸つて來た多くの鳩はこの樣を見ると何とも云へない驚きと、恐ろしさにたゞガヤガヤとそのあたりを飛び廻るのみでした、とどうでせう。今空氣銃の音と共に驚いて逃げた一羽の鳩は『危いから〳〵』と皆のとめるのも聞かずに又歸つて來てその負傷してゐる鳩の傍にうづくまつてしまひました。

傍に集つて來た人は口々に云ひました。

「ありや兄弟鳩だ、きつと兄弟の負傷したのを看護に來たのだ」

「本當に可愛い鳥だ」

然し今度こそとねらひをさだめてゐるその人には何にも聞えなかつたのです。

「バッツー」

彈は又それてしまひました。けれど今度は二羽共ぴたりと身體を付けて銃の音にも身動きもしません。更に彈をつめてねらひを付けたその時、どうしたのでせうか、その人は急に銃を下に置いてしまひました。そしてぢつとその二羽の鳩を見つめながら云ふのでした。

「あゝ可愛さうな事をした。罪もない鳩をなぐさみのために打ち殺すといふことは全くよくないことだつた」

さう云つて、その人は足許の鳩を拾ひ上げると運ぶ足も重さうに歸つて行きました。

その邊はち切れた羽で一杯でした。

斯うして此の騒ぎも、鳩達にとつての恐ろしさも一日で濟みました。それはその持つて生れて來た愛と云ふ心の爲めです。その愛の前には何者も頭を上げることが出來ません。

屋上の樂園は又もとに返りました。そして鳩達は再び愉快に幸福にその日〳〵を送ることが出來るやうになりました。（おはり）

冬の理科 體溫と發熱の話（一）

夏でも冬でも體溫は常に一定です

星ケ浦や夏家河子で海水浴をしてゐたのもつい此の間のやうに思つてゐる中にもうストーブのそばがしたはしい時節になりました。これからは日一日と寒くなりますがそれと同時に風をひいたり扁桃腺を痛めたりする機會が多くなります。皆さんは風や扁桃腺のために熱を出したことがあるでせう。熱は必ずしも風や扁桃腺のためばかりでなくいろ〳〵の原因で出ることがあります。そして

熱の出る場合はきつと身體のどこかに病氣のある證據なのです。だから熱が出たならば一時も早くお醫者さんに見て貰はなければなりません。熱のでたのをうつちやつて置いて取りかへしのつかないやうになつた場合がいくらもあります。

そこで今日は理科學習の一つとして發熱のお話をいたしませう。水の中にすんでゐるお魚や蛙などは冷血動物と言つてきまつた體溫がありませんが、

犬だとか猫だとか馬だとか人間などのやうな溫血動物は皆一定の體溫があります。ですから燒けつくやうな眞夏の時候でも氷にとざされる冬の眞中でも體溫には少しも變りはありません。これらの溫血動物がどうして周圍の溫度に關係なく一定の體溫を保つてゐるかといふと、それは身體に熱の調節機關があるからです。即ち冬の寒い時には身體の表面からドン〳〵熱を奪はれてゆくからからだの中で盛んに熱を起し失つた熱を補つて

體溫の下らぬやうにします、それから反對に暑い時は皮膚の表面から盛に汗を出して熱を發散させます。このやうにして一定に保たれてゐる人間の體溫はどの位あるでせう。そこで先づ一本の體溫器を取つて腋の下にはさんで見ます。體溫器が平形ならば十分乃至十五分間、プリズム形なら三四分經つてから取り出して見ると水銀が前に見たよりもずつと昇つてゐます。その高さは大人ならば三十六度五分から三十六度八分位、

子供はそれよりいく分高いのが普通です、つまり之が常溫で、之より高くても低くてもよくないのです。

體溫は朝と夕方とでは少し違ひます。それは朝から夕方までに身體を動かしたり食事をしたりするために熱が出るからで、朝よりも夕方の方が五分ばかり高くなるのです。若し體溫が三十七度以下であつても朝夕の差が一度近くもあればどこかに病氣のある證據です。

ニドメノ大チャンノタンケン（125）

ハルミチ作 ジラウ畫

オヂサンハ シキリニ コヤニ「ソウラ カミナリガ ナリダシタゾ」 オヂサンハ タコヲモッテ セハイツタリ デタリシテ ソラ ヲナガメテヰマシタガ ヤガテ ソラハ ミルミルウチニ マックロニナッテ ゴロゴロト カミナリガ ナリマシタ。

オヂサンハ コオドリシナガラ コヤニ カケコムト マヘニ コシラヘテオイタ オホキナ タコヲトリダシマシタ。

オヂサンハ タコヲモッテ ソスイテイノツナイデアル カイガンニ ハシリマシタ。大チャンモ ブルモ ダラスモ オヂサンノ アトニツイテ ハシリマシタ。

うで玉子

大廣場小學校二年 柴田正一

うで玉子は のんきだな
コツンとひどく ぶつけても
こぼれてしまはんで へいきだよ

うで玉子は きれいだな
きみと白みが べつべつに
ポコンときれいになれます

うで玉子は おいしいな
運動會や 遠足に
みんながたくさんもつて來る

大連奬學會主催の兒童音樂會 菊花薫る明治節當日 滿鐵協和會館て

大連奬學會社會部では來る十一月三日（明治節當日）午後一時より滿鐵協和會館に於て第七回兒童音樂會を開催することゝなつたが當日は一般の入場隨意但し內整理の意味でプログラム代として一人二十錢を申受ることになつてゐると、當日のプログラムは大體次の如く決定した

【第一部】

合唱 イ、我國旗、ロ、虫なく野邊 沙河口校 高一女
齊唱 イ、娘々祭、ロ、計りごと 嶺前校 五年女
齊唱 イ、おもちやのマーチ、ロ、春雨 沙河口公 四年男
遊戲 イ、月夜の兎、ロ、龍宮踊 常盤校 一年女
齊唱 イ、ろばのすゞ、ロ、お月さま 南山麓校 四年女
獨唱 イ、お嫁入り、ロ、白い小鳥 伏見臺公 五年女
遊戲 イ、キユーピーさん、ロ、兎のダンス 春日校 一年女
齊唱 イ、搖籃踊、ロ、すゞめ踊り 土佐町公 初三四女
遊戲 イ、四十雀、ロ、夢のりす 聖德校 一年女
獨唱 山づたひ、齊唱、萬里長城 西崗子公 高二男
二部合唱 氣まぐれ時計、齊唱、合歡の花 朝日校 六年女
齊唱 イ、夢買ひ、ロ、めだかと蛙 大廣場校 一年女
合唱 殖生の宿 早苗高一

【第二部】

齊唱 イ、瞎星、ロ、ばつた 日本橋校 六年女
遊戲 イ、兒の讀本、ロ、動物園
二部合唱 白菊、齊唱、秋虫で 沙河口校 二年女
獨唱 イ、咲いた櫻、ロ、夕の鐘 伏見臺公 高二女
齊唱 イ、てる〳〵坊主、ロ、雀の子 常盤 六年女
遊戲 イ、金魚のお嫁入り、ロ、チユーリツプ 大正校 一年男
齊唱 イ、沙漠の彼方、ロ、合羣 朝日 一年女
遊戲 イ、木舟泥舟、ロ、かうもり 沙河口公 高二男
齊唱 イ、チユーリツプ兵隊、ロ、土舟木舟 伏見臺校 一年女
遊戲 イ、雨蛙、ロ、キユーピーダンス 松林校 二年女
二部合唱 樂しきみ園、齊唱、小鈴の音 南山麓 一年女
三部合唱 イ、霜の朝、ロ、天女の舞 大廣場校 六年女 大正校 五六男女

國際ジャンボリー寫眞だより（その五）

大連少年團主事 阿左見生

評判のスコッチ音樂隊

男でありながら女のスカートをつけパイパーを抱えたスコッチの音樂隊は大評判でした。何百人といふ樂手がピーピーと一種異樣な音をだしながら行進する樣は實に何とも言へぬ勇ましさでした

兒童の作品

體育を重んぜよ

松林小學校六年 伊藤鎭

現在我が國を立派な國にするためには國民がいくら學問があつてもいくら愛國心が強くとも身體がよわければ立派な國民とはいはれないと校長先生がおつしやつた事がある。そうだ、我が八千萬の國民が皆體育に力をつくし、そして益々學問にはげんだらどんな立派な強い國になるだらうか。おそらく世界各國におとらない國になるだらう。あゝ校長先生のおつしやつたあの一言を國民がまもつてくれたら、きつとりつぱな國になるだらう。僕も八千萬の國民の一人として、あの一言を長く〳〵守り、我が日本帝國が益々立派な國になるやうに心がけやう。

酒は國を亡す

松林小學校六年 月成靖

日本人にはどういふものか御酒の好きな人が多い。此頃は何でも簡約々々といふが、日本人が酒をガブ〳〵のんでゐる中は日本を豐な國とすることは到底出來ないと思ふ。又其の酒が體の爲になるのならとにかく、お酒は體に大變に害になる。其れを飲むと言ふのは日本人がだん〳〵國をほろぼして行くと同じである。これを考へればほんとうに飲めないはずである。又日本人が其れを實行出來ないのは意志が弱いからだ。此れから日本をさゝへる青年達は意志の弱い大人のまねをせず日本を禁酒國にして日本を幸福な國としなければならぬ。

新刊教育書紹介

▲螢雪（十月號）十錢大連語學校螢雪會

多數の盲人達を充分治療してやる
料金は一文も取らずに
恩賜慈惠園と大連醫院が協力

暗黑から光明の世界へ――湯崗子來州内の日支盲人に對して行つた恩賜慈惠園の盲人無料診料は、各地に於て全く非常なる歡迎を受け豫期以上の大成功を收めた、即ち右診療の結果は手術を以て直に開眼する者十九名、其他相當の治療をすれば開眼の見込たしかなる者三十八名、都合五十七名といふ多數の盲人を救ひ得ることが判つたが、慈惠園では是等開眼可能の不遇者をたゞ一回の診療だけでその儘に放つて置くのは氣の毒であり、又折角の企てを不徹底に終らしては遺憾でもあるといふので今回大連病院と協力し入院料及旅費を慈惠園が、手術料は病院が負擔して當事者には一文の負擔もさせぬ所謂無料治療を行ふこととなり、本月末から金州管内を皮切りに順次入院治療を開始することゝなつたが、今回の恩典に浴して開眼する盲人數は左の通りである

△旅順一五名△大連九名△金州十六名△普蘭店一一名△貔子窩六名

赤ちやんの審査會二日目
百四十五名集まる
成績は來月三日に發表

社會館に於ける赤ン坊審査會第二日目は午後一時より審査委員永原りん、川島しげる、今井廣介、梅森實の四氏立會で集つた赤ちやん百四十五名、孰れも自慢のお母さん附添ひで一人々々丁寧に審査し午後四時終了した、第一審査は明日迄あり、内第一審合格者より二十四日に第二審査を行ひ、十一月三日に成績發表賞品授與がある

殉職警官
部長に昇進
功勞章を附與

二十一日夜殉職した大石橋警察署巡査故澤幡鷹之助氏(三一)は即日巡査部長に昇任され、同時に功勞記章を附與、功勞加俸二十圓を交附された

葬儀は
廿四日執行

殉職した故關東廳巡査部長澤幡鷹之助氏の葬儀は廿四日大石橋に於て執行さるゝが、關東廳よりは中谷警務局長臨席の上弔辭を述べ、又太田長官以下の香典を贈ることゝなつた

ゴルフ競技
湯崗子溫泉のリンク開き

湯崗子溫泉會社では先般來外人客吸收の一方策として約三萬坪のゴルフリンク(六コース)の新設工事であつたが、最近いよく竣成したので來る廿七日これが開場式をかねて大連、奉天、鞍山、撫順、安東、長春等各地の選手を招待して競技會を開き優勝カップの爭奪戰を行ふ筈であると

難破戎克船を救助

二十二日午前二時入港の大連汽船龍平丸は前日午後八時三十分北隍城島西北西十二浬の沖合を航行中難破漂流の克戎船を發見、船中に殘つてゐた冷鵬、冷福の二名を救助せる旨同船船長より海務局に屆出た

不時着水の海軍機救助さる
福井縣和田村沖合を漂流中
搭乘者三名とも無事

【福井二十二日發電】二十一日午後七時二十分ごろ福井縣大飯郡和田村海岸一浬の沖合に水上飛行機が漂流してゐるのを附近の漁民が發見、直ちに救助に向ひ搭乘者三名とも應急手當の結果無事なるを得た、右飛行機は海軍小演習參加中の特別航空隊第百三十七號水上機で根據地舞鶴を出發舞鶴に飛來中なるも多分ボイラー内の水が不足したのを氣着かず灼熱した爲に

慶大再勝
對明大二回戰

【東京二十二日發電】慶明野球第二回戰は二十二日午後二時半より神宮球場に池田淺沼兩審判の下に慶應の先攻で開戰、左の如く二對零で明大再敗四時四十分閉戰した

バツテリー明大、鬼塚、手塚　慶大、宮武、川瀨

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
先攻慶大	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
明大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

したが、暴風と暗夜のため進路を過り機體に故障を生じ不時着水したもので搭乘者は立見中尉ほか二名である

變つた夫婦
一年半も無言の生活
遂に細君から離婚の訴へ

【シカゴ郵信】當地ラ・サル街の某會社の支配人エフ・ベツカー君は妻から離婚と手當請求の訴訟を受け變な場面をさらけ出された、妻君の申立てによるとベツカー君はとてもむつつりやの氣むづかしやらしい、一年半前の五月妻君が他の者と口をきいたか何かに氣を惡し以來家に歸つてもさつさと自分の部屋に行つて明くる朝仕事に出る迄は

一歩も 外に出ずベツトだつて別にして自分で御飯の仕度をするといふ有樣、十八ケ月の永い間口一つきいた事もないといふ徹底振り、彼女もいろく御機嫌をとり口だけでもきかさうとつとめたがいつかな頑としてきかばこそいつもこれをはねつけた、そしてこの間妻君には一日一弗しか與へずそれで衣食を購へといふのであつた、なほ彼女の陳述によるとベツカーの財産は十萬弗程で月收五百弗以上だと、何にしてもかうした情ない態度は

自分を 家から出さうといふ心根からで妻はもう堪へられませんどうか離婚を願ひますと、裁判長もこれには同情して彼女の離婚を許し早速ベツカーの財産差押へを命じ離婚手當を强制的に與へることにした

今明日中に人見孃來連
高見孃と競走のため
豫定を變更して

奉天と京城での競技會で百米と六十米で見事に世界の新記錄を生み出した超人、人見絹枝孃は奉天の大會で自分が日頃望んでゐた高見靜子孃の走り振りを親く見る事が出來なかつた事を非常に殘念がり殊に來年は女子選手が歐洲に遠征をするので一人でも立派な女子選手の生れる事を望んでゐたので、奉天から内地に陸路歸國に就く豫定を變更し他の内地選手と別れて大連に高見選手と譚家屯の運動場で一緒に走り、自らコーチもし其の走り振りもゆつくり見廿五日出帆の船で神宮競技に出場のため東京に遠征をする高見孃と共に海路歸國をする事にしたいとの意を神明高女片岡教諭に漏らしたが、多分今明日中に來連をするであらう尚同孃來連の節は多分神明高女で生徒に一場の講演をなす筈で、猶生高女の希望があれば多分同校にても講演をする事になるであらうと

埠頭の輸入倉庫
今月末には完成する

滿鐵が甲埠頭に造りあげた宏大な輸入倉庫は殆ど竣工し豫定より一ケ月早く本月末完成の見込で目下高岡組では五百人の從業員を督勵し晝夜兼行最後の仕上を急いでゐる、長さ百九十六メートル幅三十八メートル、建坪七千四百四十八平方メートルおよび四階までの總延坪二萬六千三百十二平方メートルあり、完成の曉は一年中の輸入貨物は全部これに收容出來るといふのだから凄勢なものだ【寫眞は完成近き輸入倉庫】

ボイラー破裂し九名重輕傷を受く
長春の支那風呂屋で

【長春特電二十二日發】二十二日午後零時二十分頃長春日本橋通りと東三條通りとの角支那風呂金紅池方に於いてボイラー破裂し、天井を突拔け階上の床屋の床半分及び壁を吹飛ばし機關取扱人三名、理髮師二名、理髮中の客二名は建物と共に投げ出され瀕死の重傷を負ひ他の客二名は輕傷を負つた、尚被害者は孰れも支那人にて重傷者は生命覺束なしと、原因目下調査中なるも多分ボイラー内の水が不足したのを氣着かず灼熱した爲に火爐の上部が熔け蒸氣が火爐を通つて吹出せる爲ならんと

西部大連の停電騷ぎ
昨夜二時間も

二十二日午後五時三十八分より七時二十五分に至る約二時間聖德街沙河口、星ケ浦一帶に亘り停電し折からの夕食時に西部大連は眞暗闇となり大騷ぎとなつたが、原因は日本橋下を通る沙河口神社裏變電所よりの電線に故障が生じた爲同變電所の變壓器オイル、スキツチがパンクせるに由り、是がため動力不足となり電車も市内一圓も三、四分停電し、電車は沙河口系統は十分間、敷島町系統四分間夫々停電した

切羽詰つた女の淺墓
大瀧タキが詐欺を働く迄

五、六年前滿鐵社員辻倉某に夫の眼を掠め他より三百圓の融通を受けて又貸したが間もなく辻倉某は馘首された爲めこの三百圓を踏み倒された、一方債權者よりは火の樣に返濟を迫られ夫には話すことも出來ず切羽詰つた末、或る呉服屋より多額の反物を詐取し之れを二百五十圓で入質した事があつたが、告訴により夫より詰問され死を決して老虎灘海岸を彷徨ひ通行人に發見され目的を遂しなかつた、今回も右借金の遣り繰りに窮し女心の淺墓から詐欺を働く氣になつたものであると

女詐欺師として大連署に留置取調べを受けてゐる市内乃木町三ノ一ノ一大瀧タキ(三〇)が詐欺を働くまでにはコンナ經緯が秘められてゐる

羅州丸來る
航路標識巡廻船

航路標識巡廻船羅州丸は燈臺交替家族食料品その他を積載、二十一日午後四時四十分大連に回航して來た

非衞生な市場

千代田町公設市場横では利に敏い支那小商人が非衞生極まる鳥魚肉や蔬菜類を荷車や擔荷で持運んで客を呼び、臭いになると腐れかゝつた材料を天麩羅やいり上げにして賣出してゐる、それで警官が

待されたが癪で年增の醜態
へゞれけに醉拂ひきのふ檢察局で

二十二日午後三時ごろ嚴めしい大連檢察局に怒鳴り込んで優男の高井檢察官に武者振りついた四十がらみの女將があつた、この女は市内春日町二五飲食店福壽亭女將一宮タマと云ひ、春日町三〇賀商田村タケヨが夫死亡後同町平和タクシー帳場森某と情事ありと吹聽して名譽毀損で告訴された同町四九津山源吉に關し證人として主任池内檢察官より呼び出されたもので午前八時に出頭したが、同檢察官が公判立ち會ひの爲めに正午まで待たされ

晝食後 再び出頭したが、同檢察官が大連署星司法主任と共に小崗子署風呂田巡査部長の奇禍に會つた金州街道へ檢證に出張した爲め又も待つて吳れと待ちぼけを喰はされた腹立ち紛れに酒をあふつて二度出頭し泥醉のうへ檢察局に躍り込み「人を何時まで待たすんだ、朝八時に來いと云ふから八時に來れば正午に來い、正午に來ればまた待つてゐろと云ふ、何時まで待てば好いんだ。女だと思つて馬鹿にするな」と啖呵を切り形相變へて高井檢察官に武者振り付いたので、公判廷に立つては鬼をもひしぐ檢察官も流石に顏色を失し

逃げ腰 になるのを居合せた二宮巡査が必死になつて制止したので漸く納まつたが、今度は廊下の長椅子に寢そべり返つてグーく高鼾、間もなく歸つて來た池内檢察官、この狀態を見て「こりやいけん」と苦い顏してなだめすかして漸く歸してやつた

秋季全滿弓術大會

時日　十月廿七日(日曜)自午前九時至十時半受附

場所　中央公園武德會弓術道場

方法　尺二的六射、七五三的四射遠的四射

主催　大日本武德會大連支所

後援　滿洲日報社

立退きを命ずると蜘蛛の子を散らす樣に退散するが間もなく新市場を現出するので之が取締に手古摺つてゐると

風呂田刑事殺しトラツク判明す
金州金驛タクシーの車

既報＝去る廿日午後三時ごろ南關嶺より歸署の途にあつた風呂田刑事の操縦するオートバイに接觸顚覆せしめ遂に死に至らしめたトラツクについては小崗子署で市内及び金州各署に手配して捜査中のところ、金州警務課において該トラツクは高嵩林と稱する運轉手が操縦する金驛タクシーのトラツクであること判明したので、同警務課では直ちに高嵩林を引致して取調べたところ高は最初極力これを否認して居つたが、廿一日夜遂に同トラツクであつたことを白狀したので同課では引續き取調べ中である、同トラツクは大連より材木を滿載して全速力にて歸金の途中カーヴにおいて風呂田刑事の操縦するサイドカーを跳飛ばして逃走したものであると

自動車業者の福音
ガソリン節約器

大連における自動車界の發達は素晴らしいものであるがそれに刺戟されてか市内土佐町三十六米人ピーゼエイ、セイリーシツク氏は目下アメリカ本國にて利用され人氣を博してゐる「パアパー、ヒミデファル」と稱するガソリン節約器をひろく賣り出す事となつた、同器械の效力については廿三日午前八時より大連警察署前にて中井同署技師立會のうへ實地につき試驗を行ふ由である、なほ同器はガソリン一壜につき約二割五分を節約し得るものであると

金光教本部に歸つた

二十二日出帆のばいかる丸にて岡山の金光教本部に歸つた

桔梗町市營小住宅

市内桔梗町の大連市營小住宅建築は着々工事進捗し二十五日上棟式を擧行の豫定であると

日滿連絡下り機

二十二日の下り旅客機は午前九時二十分京城發午後一時三十九分周水子着陸、乘客は航空會社德留清一郎朝鮮人金尙龍の兩氏

うるさい麻雀

麻雀が流行して昨今の大連には料理店、待合を始めホテル、下宿屋などでも盛に行はれ之れが爲め金錢を賭けて純然たる賭博行爲に出る者も少くないので大連署では治警取締上その行爲を掃滅すべく遺憾なきを期してゐるが、最近ナニワホテルに於て深更まで麻雀を行ひ他宿泊客の安眠を妨害してゐるとの噂あり、二十二日原田保安主任は經營者桑島氏を署に招致し嚴重警告を發する處あつた

苦力の墜死

直隸省生れ市内東山町三番地碧山莊苦力陳德順(三一)は二十二日午前十一時三十分埠頭一番バースに繫留中の鞍山丸にて作業中誤つて船底に落ち頭部を打ち即死した

糞尿塵芥の搬出

大連市衞生係では糞尿、塵芥の搬出作業につき市内を十一區に分ち能率をあげることになつた、なほ大連農會へ配給する糞尿、西山會糞池を充たしたので香爐礁へ運ぶことになつた

金光三代太郎氏

金光教祖の三代目金光三代太郎氏は山陽新報主催の觀察團に加はり鮮滿巡遊の途次數日前より來連、市内愛宕町金光教會に滯留中のところ

・・・船塚の藏ざらへ　世帶道具の大見品を廿三日から廿七日まで特別奉仕大賣出をなすと

・・・柳屋の大賣出　市内浪速町柳屋洋品店では廿三日から廿七日まで第二回の大賣出しをなすと

けふのラヂオ

昭和四年十月廿三日(水曜日)

自午前十一時　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分　相場(特産、錢鈔、各地相場)ニユース

自午後三時三十分　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニユース

自午後七時

一、ニユース
二、英語講座　第二十二課　旅行　大連彌生高等女學校　茶谷茂
三、マンドリン合奏　イ、祈りメツアカツポー作　ロ、咲ける天使マチヨツキー作　ハ、ボレロ　伊藤十五郎作　滿鐵音樂會
四、宗教講座　東本願寺　高濱教學課長
五、狂言　笑殺　シテ俳人　土田他吉郎、アト女房　川野吉樹
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

愛慾の窓（136）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

謎（八）

「……然しどうもその友永とかいふ人の殺されたのはかわらないね」

と、黒田は飯がおはると、がぶりと番茶を呑み干て「……何と云つても、謎だね。草野といふ人が不利な状況に在る、さういふより他はないな」

「……さうですわ、草野さんが一番濃厚な嫌疑を受ける立場にゐるのですもの。若し草野さんが犯人でないとしたら、この事件は五里霧中ですわ」と、美知子もお茶を飲んだ。「……だから警察でも、犯人製造に夢中になつたのね」

「……まるで探偵小説だなあ！犯人は一體誰だらうねえ？」

源公が小生意氣な口を挿んだ。

「はゝ、源公がナマを云つてやがる！手前探偵小説なんて知つてるのか？」

黒田は笑つた。

「馬鹿にするねえ！近頃流行の五十銭本、おら仲間の文選工の奴等と組んで毎月取つて讀んでるんだぜ！日本探偵小説全集つていふんだ……」

源公がムキになつて抗議した。

「……ほんとにね、犯人が他に擧がりさへすれば、草野さんも直ぐ青天白日の身になれるんだけどね」

と、美知子は寂しく微笑みながら嘆息をついた。丁度その頃、東京郊外の大岡山で三四年前に行はれた慘劇の眞犯人が現れたといふ記事が新聞紙を賑はしてゐたのだつたが、その慘劇といふのは、一ころ人に知られた女優の一族を鏖殺した事件で、犯人は直ちに捕縛されて、無期徒刑に處せられて刑務所に服役中、獄舍のなかで病死してしまつたのである。然るにその後になつて、その事件の眞犯人が現れたのだ。然も取調べの結果は、後に現れた者の方が確に眞犯人で、自然不幸にも獄中で病死した男は、全然冤罪であつたといふ驚くべき事實が判明したのである。

頗る不利な状況のうちに、濃厚な嫌疑を掛けられてゐる久彦が、冤罪のために有罪の判決を下されることはないと、誰が斷言出來ようか！大岡山事件の如きはその一つの例であるし、その他にも決してかういふ誤つた裁判の實例は少くないであらう……美知子は心ひそかに慄然たるものを感じないではゐられなかつた。たゞ彼女は久彦を信じてゐるきりなのだ。だが、美知子はどうする力もないのである。彼女は心にひたすら久彦に掛けられてゐる嫌疑の雲の晴れる事を待つより他には途がなかつた。

第二回の公判は、第一回に被告が敢然として豫審の供述をひるがへしたりしたために、一層人々の好奇心を煽つたと見え、傍聽席には言葉どほり立錐の餘地もないほど傍聽者の群が詰めかけてゐた。美知子も勿論その群のなかの一人であつた。彼女の顔はその日の寒さと不安の爲に青ざめてゐた。

裁判長が開廷を宣すると、度の強い眼鏡を光らしてゐる檢事が起ち上つて、第一回と同じく峻酷な調子で、きびしくと被告久彦に訊問しはじめた。久彦も被告席に突立ちながら、少しも悪怯れた態度はなく、はきはきと檢事の訊問に應答してゐた。

「……それでは」と、檢事は冷やかにしかし鋭く云つた「被告はあくまでも被害者の妹倭文子との戀愛關係を否認するか？」

「はい、否認します！」と久彦はきつぱり答へた。

「だが、この證據物件は」と、檢事は倭文子の（實は亡き絹子の）寫眞を取出して示した「どうなるのだ？偽つたり隱したりしては、被告をいよいよ不利にするだけだ。倭文子といふ婦人を公判廷へ召喚して對決せしめれば直ぐ判明するのだが、それは兄を失つたばかりの、且つ結婚つ間もない若い婦人に對して氣の毒であるから、敢て差し控へてゐるのである！しかし被告があくまでもこの婦人との戀愛關係を否認するならば、遺憾ながら本官は倭文子といふ婦人を參考人として召喚しなければならぬと考へるが、何う思ふか？」

久彦の顔には、ありありと苦惱の色が現はれた。彼は檢事の言葉には答へずに。悄然となつて頭を垂れてしまつた。

滿日文藝

雜吟　月南選

「看板」

夜逃げした店に看板だけ殘り　旅順　辰雄

繪も一寸出來て人氣の看板屋

使ひの子看板しかと數へられ　安東　思水

開業日立看板の目立つこと

月給日立看板を眷へる宵

秋覽の大看板へ客の足　大連　牧童

「浮沈」

淪落の底から浮ぶ玉の輿　旅順　夏山

修場にボートの破片浮き沈み

落魄の子がブラジルで人となり　旅順　柳月

成金の娘も今はたり褄

榮轉と左遷握手をして別れ　大連　木の葉

浮き沈み馴れて相場師派手に生き

浮き沈み昔を語る應接間　大連　湧山

浮藻たゞ波にその日を輕く乘せ

浮沈の岩踏み出す足の右左

浮ぶ瀬もなくどん底に喘ぐ島

七轉び八起きは賴む子の出世　大連　若葉冠

浮沈みやがて才子鮫に化り

遊ぶのでなく金魚の浮沈み　金州　素緑

難破船陸が見えたり隱れたり

棒切れへ生の未練が追すがり

身の浮沈あきらめてゐる籠の鳥

浮き沈みもう之までの山が見え　大連　一骨

貧乏に馴れて浮世の苦を知らず

沈んでる顔へ一寸つけゝ妻　海龍縣　杢堂

沈むたび濱邊で妻は伸び上り

沈んでる讓妓へ浮た口が寄り

「盲」

あれ程の器量に惜しいあき盲　大連　亜六

盲目の亭主へ無駄な厚化粧

第三種郵便物認可（明治卅八年十二月十五日）

夕刊 滿洲日報

十月廿二日

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

減俸案は取り止む

在勤加俸も同樣世論に鑑み

濱口首相聲明書發表

【東京二十二日發至急報】減俸案については本日の閣議において正式撤回に決定し濱口首相は左の聲明書を發表した

十月十五日の閣議にて決定したる官吏の俸給、在勤加俸等の整理減額の件は世論の趨向に鑑みてこれを取り止むることゝせり。

十月二十二日

內閣總理大臣　濱口雄幸

首相の名に於て

【東京廿二日發電】濱口首相は減俸案撤回に關して閣僚中、最後の一人、安達內相と會見諒解を求めた結果いよ／＼二十二日の閣議で撤回を正式に決定、直ちに首相の名において發表することゝなつたが減俸案と共に決定せる外地在勤俸減額案も結局、撤回さるるものと見られる

與黨には首相から諒解を求むる

段取りとなつて竟か

【東京二十二日發電】濱口首相は二十一日午後、民政黨の富田幹事長を招致し愈々減俸案を撤回しこれを形式上、延期とするの已むなきに至つたことを述べて諒解を求め、これが善後措置について協議した結果廿二日の閣議において減俸案を再議に附し延期に決した上與黨側に對しては櫻澤筆頭總務ならびに富田幹事長に正式報告諒解を求むることに決した、よつて與黨では午後の總務會にこれを兩氏より報告の上、政府の措置を是認することゝなつたが更に濱口首相より近日中に與黨幹部と黨出身閣僚との聯合會席上、重ねて諒解を求めた上、今後の對策を協議する段取りとなつた

減俸案撤回 閣議の模樣

頗る緊張裡に開會

【東京廿二日發電】減俸案撤回を決定すべき二十二日の定例閣議は午前十時開會、濱口首相以下全閣僚出席、緊張裡に開議

濱口首相、政府は來年度豫算財源ならびに金解禁斷行準備節約緊縮の徹底を圖らんと十五日、閣議で俸給、在勤加俸の改訂を決定し聲明したがその結果は政府の豫期に反し司法官の反對を始め全社會に意外の衝動を與へた素より政府の所信は誠心誠意經濟國難を打開するにあつた然るに世論の趨向に鑑みこの際、減俸案の取り止めを行ふことを妥當と見らるゝに至つたとて各閣僚との協議經過を報告し減俸案別項の聲明書發表を決定し

を屑く爾り今後の方針につき種々協議を重ねて正午散會した

蔣介石が購入せる武器抑留せらる

反政府側の策動か

【上海廿一日發電】蔣介石氏が米國より購入せる武器を滿載せる汽船三隻は南京に向け出發前、突如吳淞沖で第一艦隊司令陳季良氏により之を密輸入なりとの理由を以て抑留された、南京側は大狼狽でこれが引渡を迫つてゐるが陳司令はこれに應じない陳司令の行動は反政府側の策動であるといはれてゐる

蔣氏愈よ漢口へ

まづ先發隊を遡航さす

【南京廿一日發電】蔣介石氏は本二十一日午後漢口に向け出發に決し總司令部衛隊八百名、汽船實大號で先發し軍官學校學生混成旅團二千名、陸海空軍總司令部職員全部衛隊で午後三時發、上流に向つた

在勤加俸に今後手を觸れぬ

一般減俸撤回に鑑み

【東京廿二日發電】植民地在勤加俸につき拓務省は文化施設の發達せる地方と然らざる地方とを各別に考慮し適度の減額を行はんと鋭意調査を行つてゐたが政府の一般官吏減俸案撤回に鑑み調査を中止し今後手を觸れざることに決定した

安達內相

【東京廿二日發電】安達內相は政府の急電に接し二十一日午後八時歸京し直に濱口首相を訪問し減俸案撤回に決した經過を約一時間に亘つて聽取した上、今後の措置を協議し更に井上藏相を麻布三河臺の自邸に訪ひ同樣意見の交換を行つた

大權干犯也

と政友會では騷ぐも

結局は有耶無耶

憲法第十條を楯に

【東京廿二日發電】政友會は官吏減俸問題に關し憲法第十條には「天皇は行政各部の官制及文武官の俸給を定め及文武官を任免す」とあり乃ち官吏の俸給を勝手に決定するとは天皇の大權事項に屬し勅裁なくして天下に聲明することは明かに大權干犯であり若し聲明前に內奏してゐるとすれば勅裁を經たるものを撤回するに至つた國務大臣としての輔弼の責任は斷じて免れぬと敦圉いてゐるに對して民政黨では減俸問題は未だ何ら內奏した事實なく、また閣議において聲明書を出したものゝ只これが方針を決定したゞけで未定稿未着手のものに過ぎぬ即ち勅裁を經て公布したといふが如きものにあらざる以上、何も表立つて責任を取るものでない、また大權干犯などの問題は絕對に起らぬと稱し與論を楯に一蹴する方針である、政友會としても恐らく倒閣運動など起す勇氣なかるべく結局、議會の問題として或は不信任案の一理由に加へて爭ふくらゐが關の山でその結果は解散によつて信を國民に問ふばかりであると見くびつてゐる

節約案緩和拒否

豫算編成不可能なりと

【東京廿二日發電】既定經費節約に關する大藏省案につき各省は苛酷に過ぎるものとして緩和策を講ぜんとしてゐるが大藏省では一億四千萬圓は最少限度で節約額をこれより減少するは豫算編成を不可能ならしむるので

一、各省割當節約額は絕對減額せぬ

一、大藏省案による節約困難なるときは他の費目に振替へても右額を捻出せしむること

とし緩和策を拒否のはずである

形勢惡化

國境の露支對峙

【滿洲里廿二日發電】露國航空隊は時々支那軍に機關銃を浴びせつゝ連日偵察飛行をなしつゝあり支那官憲の在北滿露人壓迫に激昂せる露國軍はいよ／＼廿五日支那を猛擊する作戰成り形勢は極度に惡化しつゝあり

西北軍主力南下

愈よ許州郊外に迫る

【漢口廿一日發電】二十一日當地に達した蔣介石氏よりの電報によれば鄭州を占領した西北軍は主力を平漢線に集中し直ちに南下を開始し十九日、黃郟を占領し二十日許州郊外に迫つた許州にある徐源泉、魏益三軍および步兵一團これに對峙し目下、防戰に努め居り散々たる砲聲、許州城內に響き居ると

司法官の行動不當でない

小原次官語る

【東京廿一日發電】東京區、地方兩檢事局首腦部は減俸案撤回の喜びと共に反對運動の責任を感じ辭意を漏らす人もあると傳へられてゐるが、小原司法次官はこれにつき

今回の司法官の行動は陳情に過ぎず官吏として不當の行爲を執つたものではないから何人も責任を問はるべき筋合はない

と云つてゐる

拓相から

各植民地に通牒

【東京二十二日發電】松田拓相は閣議にて正式に俸給および在勤俸減額案撤回に決した旨、直に電報を以て各植民地長官に通牒した

洞ヶ峠の閻錫山

二重政策で灰色的中立 (上)

宋哲元、孫良誠、石敬亭らいはゆる西北叛將討伐の通電は雨後の筍の如く出る。西北と氣脈を通じてゐるらしいと睨まれてゐる連中も遲れじと宋哲元らを不倶戴天の仇敵の如く惡しざまに罵つた討伐通電を出してゐる。これはお定まりの電報戰で不思議とするに足りないが、西北軍と同體なるべき閻錫山派の將領がチョイ／＼討伐通電に名を連ねてゐるのは些か奇異の感がする。太原や天津や北平の黨部の討馮通電には山西派の觸れが出てゐるのであるが閻錫山の治下である北平においては二十日に馮派討伐の民衆大會を開いたり、天津では鹿鍾麟、劉郁芬などを逮捕すると騷いでゐる。南京では閻の代辯者が馮玉祥は山西で閻錫山のために監禁されてゐると聲明してゐる。かういふ表面だけを見ると閻錫山は如何にも中央擁護、西北反對の態度のやうであるが事實は全然その裏に出てゐることはいふまでもない

◇

これらの閻錫山派の擧動は閻の二重政策から出てゐるのである。西北軍と中央とは宣戰狀態に入つてゐるが閻錫山は今までのところ矢張り中央政府の治下にあるのであるからいよ／＼表面的に蔣介石討伐に乘出すまでは兎も角も叛逆者である西北軍を支援するやうな行動は遠慮しなければならない、それはかりでなく閻は今、中央と西北側との調停者の地位に祭り上げられてゐるのである。簡單にいへば今日の閻錫山は反蔣と中立の二重政策を使つてゐるのである。各地の黨部は南京から派遣されたものが過半であるから、これが中央黨部の命令で反西北の宣言や通電を出すとなれば閻派の黨部の委員を兼ねてゐるものは署名を拒む譯には行かない。黨部が討馮民衆運動を主催するのに干渉することも出來ない。しかし閻のみで西北軍反對の表示をしてゐるものは見當らぬのである。馮玉祥に對する政府の逮捕令は取消されてゐないし西北將領が旗あげしてゐるときにも馮が閻のお膝下に頑張つてゐるのであるから政府に對しては義理でも馮を監禁してゐるといはざるを得ない、しかし事實は閻馮は日夕往來して蔣介石たたき潰しの大事を謀議してゐるのである。新聞政策にしても閻錫山は西北軍の反蔣通電を太原から仲繼放送してゐる一面には反蔣介石的ニュースを嚴重檢査差止めてゐるのである（北平特派員）

獻金があれば國庫に收納す

と各閣僚も贊成

【東京廿二日發電】本日の定例閣議後、撤回に伴ふ政治的責任問題につき各閣僚間に雜話的に意見の交換行はれたが減俸は未だその方針を決したのみで俸給令の改正着手に至つてゐない從つて今回、政府部內の申合せを申合せ替へにしたに止まるのである、たゞさきに聲明書を發表せるは之を撤回するに遺憾を感ずるも之も責任問題を起すべきものでないといふことに申合せ更に減俸案を撤回せる以上各大臣は一層、各省に緊縮節約を徹底せしむるを要むと濱口首相より注意あり次いで井上藏相より國債償還にあてゝ異れと國民から獻金して來るもの多きにつき太政官令の獻納金禁止令はあるとも特定の用途を指定して願ひ出でたるもので弊害のないものは之を國庫に收納するは不穩當と思はぬと述べ各閣僚とも異議なく贊成正午散會した

減俸案撤回の結果

八百萬圓の捻出

教育費割當額の減少か

【東京廿二日發電】井上藏相は廿一日午後五時より小川、河田兩次官、藤井主計局長を招致し官吏減俸案撤回による八百萬圓の財源缺陷の善後策を協議し七時半、散會したが、この際、新なる財源を他に求めることをせず義務教育費總額一千萬圓を五百萬圓に減額し更にあと三百萬圓を各省新規要求七千萬圓中より削減することによつてバランスを得んとするものゝ如く二十二日の閣議で井上藏相より各閣僚に諒解を求むると

大風一過の狀態

大連の各役所平常通り

官吏減俸、加俸削減問題は大連官場にも表面は兎もかく內部的にはかなりの波紋を起し民政署の如きは各課員一同が窃に陳情したり市の各小學校長が秘かに談合したり內したが、けふ減俸案撤回確定の日の各役所の空氣はヤレ／＼といふ氣分の裡に平常の如く事務をとつてゐるものゝ如くであつた

滿蒙の野に骸を曝す意氣で仙石總裁

◇—十三年ぶりの滿洲へ赴任

盛んな見送りで離京

【國府津特電二十二日發】政黨に超越し、財閥に超越し、黨閥に超越し、たゞ國家あるを知るのみと稱せられる總裁、山本前滿鐵總裁が安んじて一切の政策を引繼いだ總裁、在野黨から現內閣の好手人事行政と贊成の烙印をうたれた總裁、俸給の增額、能率の增進、生產の增加、物價の低落といふ

四大論法 の新經濟學說に共鳴する總裁、時恰も官吏減俸問題で世間がやかましくなるやノコ／＼濱口首相を訪ふて議會の一幕全局の石の浮沈を見て名手の下した一石にピタリと全局の崩れをふせぎ止めたる總裁、現に一國の總理が師傅の禮をもつてまつ老總裁その仙石老總裁が初めて任地、大連へ——十三年ぶりの滿洲へ——鹿島立つ日の二十一日午後九時二十分、東京驛は政界、財界の名士の見送りでゴツタ返した、幣原外相、江木鐵相、小泉遞相、俵商相、町田農相の閣僚をはじめ鈴木內閣書記官長、川崎法制局長官、中島首相秘書官その他各政務官をはじめとし伊澤多喜男、大津淳一郎、三木武吉氏ら貴衆兩院議員の面々大隈新太郎氏らの實業界の巨頭、吉田驛長がこれら數百の見送りの

人の渦を 搔き分けて病後とも覺えぬ艶つやゝかな老總裁を一等寢臺車に導けば定刻より數分おくれて列車は轟く萬歲聲裡に滑り出る寢臺車に行儀よく納まつた總裁は

京都で一泊するが、西園寺さんに會ふか、どうか行つて見なきや分らん、約束してあるでもなし、會はないとなれば、それ切りぢやての—、さきのことは、さきのことぢや、そのときになつて見なきや分らん、またそのときになつて見なきや分らんことを今からいつても仕方のないことぢや

と一流の論法でニヤリとして口を結ぶ、[illegible]「ら病氣前とてもソウ達者といふ譯でない」と兎にかく何にでもピンと一ト理窟はあらうといふ元氣「御出發前はいろ／＼忙しおしかつたやらで」と減俸騷ぎを持つて行けば「フン、つまらんことぢや」と

ただ一句

連日の疲れを癒す臺に橫たへる總裁をあとにして秘書役鍋島嘉門氏が引取つて語る

總裁はいはゆる滿蒙の野に骸を曝らすの意氣で赴任さるゝのです、主治醫は大丈夫だといふし御覽の通り元氣ですけれど、元氣に委せて體を虐使されると萬一のことがあると困るので、宴會とか旅行とか成るべく餘り老總裁を煩はしたくないと思つてゐる、なにしろ現內閣にとつてはなくてならぬ大切な人でありかつ今度は病後の身を挺して國家に對する

最後の御奉公 の抱負と決心とをもつて出かけられるのだから、その志を遂げさせたいものです、總裁は大げさなことは大嫌ひで公私生活は努めて質素、萬事のやり方は頗る簡素で今度も隨行は私ひとりです

なほ入江東京滿鐵支社長は大阪への用件あり、顧問水谷海軍中將は滿鐵本社への用件あり同行した

クレマンソー翁

奇蹟的に見直す

【パリー廿一日發電】今朝來・奇蹟的に命を取戻したクレマンソー氏は午後は元氣で床につかず椅子によつてゐる昨日は肺部の鬱血から心臟衰弱に陷る危險あつたが目下症狀良好、快方に向ふようである併し醫師の談によれば手術後の經過は二日後にならねば如何とも判明し得ぬと

ポ氏經過良好

【パリー廿一日發電】手術後のポアンカレー氏は瀰しき徵候に襲はれたと傳へられてゐるが醫師の發表によれば經過は順調で三週間くらゐで退院することが出來るであらうと

關東廳辭令 (廿一日附)

陸軍航空兵中佐正六位勳四等　若竹又男

任關東廳航空官 敍高等官四等三級俸下賜 遞信局勤務を命ず

太平洋問題調查會第三回は愈々明二十三日より京都において開催される今回は特に滿洲問題を討論するといふ勿論、該會は重大なる問題研究會なるも本社は千田編輯員を特派し、報道の嚴密を期せんとす茲に社告を以て讀者諸君に報告す

昭和四年十月廿二日

滿洲日報社

人事

關東廳遞信書記 阿部辰已 依願免本官

▲長所文二氏（日本航空常務）二十二日各所縣訪挨拶

▲若竹又男氏（航空兵中佐）二十一日附を以て關東廳航空官に任命さる

▲埼玉縣商工課主催旅行團一行九名 二十二日出帆のばいかる丸にて離連

▲上毛新聞社主催鮮滿視察團一行七名 同上

▲神奈川縣川崎市小學校長團一行四名 同上

▲佐賀市商工會議所 一行十一名 同上

▲山陽新聞社主催鮮滿視察團一行二十三名 同上

▲日本旅行協會視察團一行十四名 同上

▲京都市泉醬油組合一行九名 同上

▲林文龍氏（張學良氏秘書）家族同伴同上上京

▲高久肇氏（滿鐵上海事務所員）太平洋問題調查會議出席の爲め同上

▲イー・エッチ・フリッチ氏（米國鐵道協會書記長）同上

▲エヴアンス氏（滿鐵囑託）同上

▲平尾喜三郎氏（レート化粧品店主）同船にて離連

▲佐々木國藏氏（內外棉花重役）同上

▲原田光次郎氏（前豆信社長）同上

▲藤間勘四郎氏（舞踊師匠）同上

▲金光三代太郎氏（金光教師）同上

▲坪上貞二氏外二名（外務省對支文化事業調查會幹事）二十二日入港の濟通丸にて天津より來連

▲彌生高女修學旅行團一行十五名茶谷教諭に引率され同上歸連

▲ゼイ・レイトン・スチユワード氏（燕京大學々長）同上來連

大觀小觀

暖いと思つたら、何のこだわりもなくあつさり撤回する。月の盈虧のやうに。

◇

大風一過、これなら何の被害もない。

◇

が政界には、大權干犯の、藏相責任のと、相當にやかましいが、濱口內閣の人氣は、未だ去らざるもの如し。

◇

そこで野黨側の政府攻擊の一項目にはならうが、全擧民の不信任とはならぬやうだ。

◇

併し、日本經濟界の病根が、いづくにあるかは一般に、深刻に銘された次第。

◇

何とかせねばならず、それだけでも、井上藏相の輕率は效果あつた。

◇

仙石滿鐵總裁、骸を滿蒙の野に曝す意氣で、病後の老軀を挺して來任。

天氣豫報

廿三日 南の風晴れ一時曇り

日出 六、一〇　日沒 五、〇六

滿前 〇、三五　滿後 〇、五〇

干前 七、二五　干後 六、五五

華やかな
タクシー應用の女釣りが流行
油斷ならぬ宵闇のドライヴ
スピード時代來る

シュナイダー盃爭奪に三百五十哩でブッ飛ばした英國飛行家の物凄いスピードもさる事ながら、速度に對する近代人の神經が鋭く鋪石道を疾驅するタクシーの上に反映して居ることは否まれない、試みに大連街頭に立つて目給へ、新しいところでクライスラーの流行を汲むプリモース、デソートを初めジユラント、新フオード、ビユウイツク、エセツクス等々……が馬車を尻目にかけ人力車を默殺して自動車華やかな時代を畫かいてゐるではないか？

×　×

「市内十六哩」お上のキツい御法度がともすればこの近代人心理を打壞してしまふ、だがこいつは仕方ない、今大連街上を東奔西走する車は合して五百六十餘、昨年に比較して二百臺の增加を示して、カフエーの親父が運轉手を希望し巡査の古手がタクシーの主人公におさまるといふ、まあザツとこんな趨勢を辿つてゐるのである

×　×

旅大道路、金州街道がドライヴァーにとつてこよないドライヴロードであることは一般が既に認めるところであるが、最近この道路においてタクシー應用の女釣りが流行してゐるといふからタクシーもまた油斷が出來ぬ、宵闇更けて赤い酒、青い氣焰についウカウカと若い男性の口車に乘り「車を呼んでくれ、ネ君旅大道路をブツ飛ばそうや」なんてカフエーの娘さん車に乘つたら最後、小平島邊りで下車「車は要らないから歸つてくれ」とポツンと二人が人里離れたところに殘されるそれから………（私は知らない）

×　×

出船入船の賑やかさ……ある外人は埠頭に立つてその壯觀ぶりに一驚を吃し市内に落ちついてから「ナンだい、大した事も無い」と簡單に片附けたといふ、最近の大連タクシー界のゴシツプを紹介すれば、三百六十九號といふ自動車がもし街上で見つかつたら車內を覗く事である、周玉美といふ芳紀正に十九歳のモダーン支那娘がナヨナヨと嬌態をつくりながら運轉してゐるからだ……今一つ、このごろ乳母車のお母さん位な車が只一臺チヨコチヨコ走つてゐるのを見受ける、これは英國のオースチン會社製のオースチン八馬力、ガソリン一罐で百四十哩は大丈夫といふ代物、スピードは大してないが一臺千五百五十圓ビタ一文負けられない、これに美しい女運轉手でも雇つてタクシー業をやつたら三人二十錢位でも樂々と儲かるそうである

×　×

大連タクシー界はレブユー、ざつとこんなものである

又復、他山驛前で巡査射殺さる
逮捕せんと格鬪中
賊は拳銃を奪つて逃走す

【大石橋特電二十一日發】廿一日午後六時半ごろ大石橋警察署管內他山驛前支那雜貨商永興隆方に四人組の拳銃強盜押入り家人を片ツ端から縛しあげ脅迫中、隙を窺つて同店々員が急を他山派出所に報じたので、折柄同所に詰めてゐた澤巡査は單身現場に急行交戰したが力及ばず賊の亂射する彈丸に頭部二ケ所、腹部、胸部および右の手甲に各一ケ所の貫通銃創をうけて即死、賊は同巡査の所持せるモーゼル拳銃一挺を奪ひ逃走した目下犯人嚴探中である、なほこの悲報を傳へ聞いた大石橋居留民は同巡査の殉職を悼み二十二日十一時三分着列車で遺骸の大石橋に到着するのを寂しく出迎えた

帝展二回開催
案出づ

【東京二十二日發電】帝展行詰りの評は既に各方面に唱へられてゐるが去る十九日の會員總會に帝展の二回開催案が提出された、右は最近の出品數過夥なると新人およびアマチユアの傑作が常に審査に當り不遇の地位に置かれてゐる弊を矯めんとするもので、二回案によれば毎秋二回開會し一回は日本畫、工藝、一回は洋畫、彫刻と分け各會々期を三週間にしようといふにある

ギル少年殺しの福永近く死刑に
米大審院、再審を拒否

【ワシントン廿一日發電】ハワイのギル少年殺し犯人福永の再審の申請は本日米大審院で拒否されたこれがため福永は近く死刑を執行さるゝ事となつた

米大統領夫妻
デトロイト着
エジソン工藝學校開設で

【デトロイト二十一日發電】電燈五十年記念のため當地に自動車王フオード氏がエジソン工藝學校を開設するにつき技術者出身のフーヴアー大統領は夫人と共に當地に來着した

神明高女生
北平を見學

【北平廿二日發電】神明高女北支見學團一行は二十一日北平到着宮城、北海、東安市場、天壇等見學扶桑館に一泊、今日は朝來市中の見學をなした、中支の戰雲をよそに北平附近は平和な秋の陽照り輝き一行の元氣いやが上に昂る、明日は萬里の長城を見學の豫定

邦人二名を射殺し
一萬圓を奪ひ逃走
七人組の馬賊、特産商に押入り
ゆふべ范家屯の慘劇

【長春特電二十二日發】廿一日午後六時半ごろ范家屯鐵道北大通り六番地特產商西村商店へ七人組の馬賊團押入り、ブローニング拳銃にて主人西村萬吉(五〇)を脅迫のうへその場に射殺し、更に同家に居合せた店員野間尾吉(二〇)をも射殺し金庫および机の抽斗を開いて現金一萬圓(邦貨)を奪ひ七時ごろ西方に向ひ逃走した、急報により同地警官派出所および守備隊より全員を繰出し追跡中であるが、長春警察署よりも田上司法主任以下警官二十五名サイドカーその他にて應援のため急行した

泣き込んだ鮮人
重大犯人か
朝鮮獨立黨上海假政府の
手先となつて働く

廿二日午前十時ごろ水上署に歸鄕の旅費を惠んでくれと泣きついて來た一鮮人があつたが、右は京城市外、李讚如(三〇)といひ二十二日弘濟丸にて芝罘より來連したもので、今まで上海、南京と南支各地を放浪し朝鮮獨立黨上海假政府の主要人物等と頻繁に往來し彼等の手先となり文書の往復、銃器の密輸等に從事せること判明、高等係にて目下嚴重取調中なるも可成重大な犯罪ある見込である

彌生高女生
けふ無事歸連

彌生高女修學旅行團一行十五名は茶谷教諭に引率され天津、北平方面旅行中であつたが、一同大元氣で二十二日入港の濟浦丸にて歸連埠頭には澄田校長ほか職員父兄の出迎へがあつた

「緊縮ストーヴ」の買出しに
冬迫つて露天市場素晴しく賑ふ

泥棒市場のきのふけふ、秋は日一日と寒さをます冬來るの豫感に脅かされる人々の、消費節約で諸事緊縮時代とあつて大抵は中古格安のストーヴで間に合はせようと暖房具店の前は大へんな賑やかさだその足元につけ込んだニーヤ達の方でも季節ものゝ強みで他のがらくたの様にストーヴばかりは却々おいそれとはまけず、押しの強いお神さん連が泥棒市場の呼吸をのみ込んだつもりで途方もなく値切るとゝ、顏を外向けるか罵倒を浴びせるといふ鼻息、それでも結局は新しいものを買ふよりは半値若しくは三分の一位の値で相當のものが買はれるので、どのストーヴ屋も昨今朝から晩まで押すなくの景氣である

大きさで來い
ドイツで作つた百七十人乘り
悠々大空を翔け廻る

【アルテンライム二十一日發電】ドイツ特大型飛行機ドルニエ式デイオーエツキス號は本日の試驗飛行で乘客乘組員合せて百六十九名と外に五歳の男の子一名を乘せ一時間に亘つて飛行し高度は百乃至三百メートルであつた、同機の總重量は五十二トンで、本日同機は百八十キロを飛翔したが五百キロの航續力を有すと

勞農「國土號」
桑港の歡迎

【サンフランシスコ廿一日發電】訪米の勞農の國土號に對し本日サンフランシスコの歡迎會が開かれたが、會は米露國交未回復のため打解けた氣分にならず、主人側も正式歡迎演說を忌避し白けた空氣の裡に會を終つた、なほロシア機は二十二日當地發シカゴに向ふと

コスト機
無事上海着

【上海二十一日發電】フランス飛行機コスト機は本日午後四時二十五分虹橋飛行場に無事着陸しフランス總領事等の盛な歡迎を受けた

風呂田刑事
巡査部長に昇進

廿一日午前十時五分大連醫院において死去した小崗子署刑事風呂田武三氏は廿一日附をもつて巡査部長に昇進した、なほ葬儀は廿五日ごろ郷里より家族の來連をまつて行ふ筈であると

飛んだ主筆

海外之日本主筆とか學生海外見學會理事とかの名刺を振り廻いてゐる東京府下駒澤町野澤四二岡本正一(三〇)は去る九月二十八日以來大連浪速町五四ナニワホテルに止宿したが女中の態度が氣に喰はぬとか一泊四圓は高過ぎるとか種々難癖をつけ二十一日までの宿料百二十一圓を支拂はず同夜他へ出發せんとしたので、ホテルからの告訴により二十二日午前零時大連署へ詐欺被疑者として連行留置された

總下船の支那
人水夫

二十二日入港の長順丸にて神戸水上署より支那人船員一行十一名が送還されて來たが、大連水上署に於て取調べたところ、右は元大連汽船所屬黒龍丸乘組船員で去る十日浦鹽に於て彼等の水夫長劉培因(三〇)が約四百圓の借金を殘し下船逃亡せるため新に王德岳を水夫長に雇入れたが、王は前水夫長の借金四百圓を水夫等一同に振りあて支拂はさんとしたので彼等は肯ぜず神戸に於て一同總下船せるものと判明、水上署でも一應の取調べ後各自自由行動をとる事に決し解散した

大連署管內派
出所代表會議

大連警察署では二十二日午前十時より振武館構內に於て管內派出所代表會議を開き高山署長の訓示に次いで
一、所轄管內に於て非常警戒を有効ならしむる爲め從來の方法に改善を要すると認むる件あらば其具體的意見
二、各其管內に於て取締上最も困難を生じ居る件あらば其事實
以上二件に對する諮問あり午後一時閉會した

野田巡査全快

殉職した吉田巡査部長と共に去月三十日夜千代田廣場に於て潛伏鮮人中兇賊のため重傷を負ふた大連署巡査野田茂氏は其後大連醫院に入院治療中のところ漸く全快二十二日より出勤、同日午前松枝警部補同道同事件に多大の同情を寄せられた市中各方面へお禮廻りした

加藤夫人忌明

錦昌華工株式會社庶務課長加藤友治氏の夫人忌明御禮として大連市社會課に百圓その他に八百六十圓を寄附した

活辯の大暴れ

大連岩代町三七活動常設館二階居住浪速館辯士相良剛(三一)は廿日午後十二時ごろ同僚の竹井昌二郎と共に信濃町九三ブラジルカフエーに到り二十一日午前二時まで飲み明かしたが、勘定に際し金不足のため貸與かたを申込んだところ拒絕されて立腹し「貴樣等覺えて居れ」と捨臺詞を殘し女給二名を連れ金を取りに出かけ手ぶらでブラジルカフエーに引き返したところ既に就寢してゐるので「金を取りに遣つて置きながら戸を閉めてゐるのは不都合だ」と怒鳴り表硝子戸を破壞し驚いて飛び出した帳場清水兵吾を毆打し屋內に侵入せんとするのに漸く取り押へ大連署へ突き出した

僞せ飛行技師が
酒よ女の大盡あそび
著述家も無錢遊興で訴へらる

大連浪速町五四ナニワホテル止宿高橋政美こと高橋直讃(二〇)は陸軍飛行技師と詐稱しこの一日から八日まで數回に亘り大連実濃町七九待合すみれに登樓し酒よ女よと大盡遊びをなし二百四圓九十六錢の散財をしたが再三の請求に對し支拂を爲さず、また溫泉塞一さつま溫泉止宿二川春夫(三〇)は著作家と稱し同樣一日より八日まで待合すみれに登樓し豪遊を極め二百四十八圓五十九錢の遊興を極めたが之れまた屢々の請求に言を左右にして一文の支拂を爲さず廿二日すみれより何れも無錢遊興者として大連署へ告訴された

平安異香（147）

葉多默太郎作　中一彌畫

髑髏の革袋（二）

侍女の相模がふいと顔をそむけた時に、源入郎は卒然心に觸れたものがあつて我ながらはつとなつた。

此奴だ、此奴だ——と思つたのである。

顔をそむけて立つた立姿が、昨夜稻妻の瞬間に見た被衣の女の姿にそつくりだ。

此奴だ此奴だ。此奴淨海入道の諜者だ。勸修寺師輔の日夜の動靜を探つて淨海入道に内報してゐるのだが、おそらく侍女頭として使つてゐるお臈の方もそれを知らないのだらう、此奴——と思つてゐると、

「誰か」

と、簾の中のお臈の方の聲だつた。

「誰かそこな男をこれへ出しや」

「は」

と、庭に蹲つてゐた從者が八手の向ふの女面の小太郎を引立てゝ來た。

見ると鐵鎖だ。猛獸のやうに鐵鎖に附いた環を左手に嵌めこんでゐる。ひどいやり方だがんじがらめにしない所に、お臈の方の大量を見せようとする處があり、鐵鎖を用ゐる所に、動物扱ひをしようとするのだ。

女面の小太郎は、然しお臈の方以上の自尊心をもつて傲然と空を仰いでゐた。お臈の方の方を見るでなく、源入郎に目を向けるでなく例の無表情な冷たい顔を空に向けてゐる。

小太郎は築地まで遁れてゐたものを、春光の身を案じて再びとつて返した時に、池に潜んでゐたお臈の方の從僕に足をとつて引摺りこまれ、五人十人にかゝられて捕れたのだつた。

「源入郎」

とお臈の方の聲。

源入郎は苦りきつてゐる。

「そこな男に、見知りはあるか。何と、いふのぢや名は?」

「女面の小太郎と申すものでござります」

「おう、さうであつたか、女面の小太郎、いかさま女人のやうな顔をしてゐる、つんとすまして、物を言はぬ、憎い奴ぢや」

柱に凭つて縁に坐つた侍女の相模が、それに續いて、

「これがもし、御身の配下に捕れたものなら、さしづめ禁獄、死罪陽のめを見られるものでないのぢやが、お慈悲深い御方樣のお手にかゝつたのがこの奴の果報ぢや。命乞ひをすれば許してやらうと仰有つたのぢやが、この奴、首領夢之助の傲慢不遜を倣うてか、あの通りつんとすまして物を言はぬ、頭も下げぬ、無禮な奴ぢや。源入郎殿、御身の力でこの奴の口を裂き命乞ひを言はせ、御方樣の前に頭を下げさせてはどうであらう。御方樣はそれで御滿足遊ばす——捕つて仰へることは出來なんだ御身にも、これはいと易いことであらうな、司馬陵さま」

といつて笑ふと、お臈の方も聲を合せて嘲笑ふ。

が、源入郎は、何をつまらない皮肉を言やがる——と、とりあはず、

「とにかく一應御下げ渡しを願ひまする」

いふと、烈しいお臈の方の聲だつた、

「うかつ——うかつなことをいふ源入郎。それほどに欲しくば何故捕らぬ。盜人を抑へるのが役のそちがよう捕らいで、妾の捕つたものをくれいといふ、ようもそのやうな事が言へたものぢや。恥を知るがよい」

「チエツ、面白くもない。腰拔け捕吏に思ひ上り女のいさかひ、止してくれ」

石のやうに默つてゐた女面の小太郎が、突然口を裂いて吐き出すやうに言つた。

と、それが却つて小氣味よかつたかして、お臈の方は簾越しに小太郎を見下して、

「小太郎とやら、さあ妾に許しを乞ふがよい。縛めをといていなしてやらう」

が、小太郎は飽くまでも強情だつた。

「フン、お前ッちに頼むまでもない。こんな鐵鎖、斷たうと思へば何時でも斷てたんだ」

「こざかしい——今こゝで斷つてお見せ」

「ようく見てやがれ」

云ひさま、片膝立ちになつて拔いた右手の太刀、ずばりと斬り下すと紅に染まつた左の手が、鎖を附けたまゝ、手首から斬れて下に轉がつた。

女流浪曲家の日本菊子孃　廿三日より開演

女流浪曲の人氣者京山好奴改め日本菊子孃は大阪國光席浪花節巡業部第一回の選拔を率ゐて來連する事になつた同孃は劍俠傳を以つて女流浪曲隨一と銘打たれた位ゐで、勝氣な性格と男性的な藝術、豐富な聲量は變轉極まりない妙節と相俟つて必ずや好浪家連を唸らす事であらう、又一行は新進の花形連揃ひであるから定めし盛況を呈する事であらう、一行は二十三日を初日に遊樂館で開演する樣である、倘主なる讀物と演者は次の如くである

御國の花（日本菊江）野狐三次（日本菊王丸）小栗判官（高砂須磨子）?の裁判（羽衣和歌子）玉菊燈籠（住の江八百子）不孝の天罰（京山喜奴）親子試合（御國玉菊孃）義士の快擧（八幡照子）伊達黒白論、英き日の國定忠次（日本菊子）

紫竹會を聽く

遲れて「繡辨慶」から聽く、番組には書いてないが矢張り六紫さんの立三味線が相變らず腕の冴えを見せて居るし立唄のお鯉も先づ無難と云つて置こう桃太郎の喉は感心出來ない、少々飲み過ぎの後と云ふ感じの喉だ、流れの千代次の喉も單におとなしい癖の無い唄ひ方を買つて遣らう、何しろ望月師匠の大皮に總體が喰はれて仕舞ふたのは致し方が無い、實際望月師匠の大皮は好く拔けた音で場内に冴え渡るのが氣持ちが好い。

次ぎの「秩父の長者」は此れ又六紫さんの一人舞臺ワキや流れの唄ひ手と餘りに段違ひがひど過ぎるのでイヤな感じが起る。

次ぎの出し物の「今樣望月」でもだが六紫さんの小皮と望月師匠の太鼓許りがハシヤイで居るので他のがみんな喰はれて一向に耳に這入らない、云はゞ六紫さん自身が餘り獨りで花を持ち過ぎて居る傾向が多分に見え透く樣に見える、六紫さんの藝道に就いては既に定評のある事である、一つ抱へ妓の連中達に今少し花を持たせて遣つたら如何なものだらう、左も無くば一層の事「秩父の長者」の如きは六紫さんの獨り唄ひで遣り通して貰ひ度い。

紫竹會と云ふのはアリヤ六紫さんの腕自慢のお披露會さ唄でお座れ三味でご座れ鳴物でご座れ行く處として可ならざるは無しと云ふ處を見て貰ふ爲めの會さ、して見りや金一圓也の入場料は先樣から貰ひ度いもんだとは休憩中に玄關での囁きであつたのもマンざら皮肉とのみ聽き逃しも出來ないと思つた「秩父の長者」で「わが家いでよたんらるら」の邊りはその後の文句の「秩父の山はえ」の節廻しよりも寧ろ困難な場所だから此の邊は全部六紫さんの受持で遣つて貰ひ度かつた、お鯉や八千代は丸で引立て役の格ぢや聊か可哀想と思つた。

望月師匠の鳴り物も矢張り大皮が一番のお得意らしく受け取れた「望月」での太鼓は餘り香ばしく無かつた後の常盤の庭と俄獅子は聽き逃したのが殘念であつた（樂の字）

映畫界東西

日活の井上金太郎監督は十二日正式に日活を退社し、十三日松竹下加茂撮影所に入社したが、目下「白野辨十郎」撮影中の月形龍之助の次回作品を監督する豫定であると

◇

トーキー主演の脚本選定中であつたリリアン、ギッシュはモルナーの舞臺當り劇「白鳥」を第一回の作品に決定し十月十五日撮影を開始した

◇

獵人猿役者ブルモンタナにも春が來て、メリーブールソンマテユーといふ芳紀二十三の美人と結婚する事になつた

◇

片岡千惠藏は正岡蓉、東山三吉の兩氏と共に未だ試みられた事のない街頭雜誌「幕」を創刊、巷間に進出することになつた

◇

東亞の米澤監督で着手した「泣いて吳るな」に小唄を歌ふ場面があるが、同社では此の小唄をレコードに吹き込み、全國のカフエーに數千枚を頒布して大宣傳を開始した。

◇

全世界のファンの眼を他所目に敢然と結婚してアット驚かしたフオツクス社のジャネット、ゲーナー孃は愛しの夫君リイドル、ベック氏と九月十一日出帆でハワイに新婚旅行と洒落込んだ。

喋話

年末が近づいて來て正月興行の準備にもさうさう取かゝる時分ではあるが▲來年の正月には連鎖商店映畫館、協和會館、大日活青年會館それに現在の常設館を加へて十本か十一本になりさうである▲見に行く方にして見れば多ければ多い程張合があるが▲興行者は相力コブを入れずばなるまい▲其記?商會の守永氏と提携して居た藤田氏が守永氏と別れて今度は獨立で大いに活躍するとの事で▲其の皮切りのジヤングルは近日「大學行進曲」と一しよに協和會館で上映される

映画案内

十八日より大公開
マキノキネマ特作品
並木鏡太郎第一回監督
撮影……石野誠三
夜討曾我
澤田敬之助
河津清三郎　主演

帝國キネマ特作品
原作脚色……松尾邦弘
監督……矢內政治
南蠻鑄物師
實川延松・片岡童十郎
都さくら・鈴木信子　主演

原作……川浪良太
脚色……瀬川與志
監督……三上良二
銀座王
マキノキネマ特作品
東郷久義・飯田英二
星英府・新見映郎
砂田駒子・多見一枝　共演

演藝館

二十一日公開
慶修月に曇る三條磧！
正劍風に躍る大乘院！
幕末の熱血兒
月形半平太
林長二郎主演
高尾光子、若水絹子
若月孔雀、浦波須磨子

映畫レヴュー
柳咲子舞踊集
浦島俄獅子、櫻狩浪花小唄

藤森?案の特作品
野村芳亭監督
三善人
岩田祐吉、押本映治
小林十九二、筑波雪子

帝國館

廿一日、廿二日兩日限り日延べ、ひのべ

新館上棟式は皆樣の御聲援に依り盛大に擧行され工事も進み愈々拾一月上旬開館に決定致しました。其の記念と御恩のため特に兩日を日のべ致しまして階下席を開放し皆樣を御優待致す事にしました。本券を切り拔き御持參下さい混雜しますからお早くお越し下さい。

謝恩　二十錢券　奉仕

浪速館

好評大好評の澤田清主演
八劍飛龍　全十二卷

滿洲日報

蔣介石氏の失脚は最早時日の問題となる
遲くも本月末迄には意外な局面の展開を見るか

[illegible]

一、蔣氏は萬一失脚の場合を考慮し西南地方の地盤確保のため先に廣東方面に出動せる第三、第八兩師以外に最近に至り最も信頼するに足る湖北方面の軍隊に對し引上を命じ西南地方集中を密令せること

二、更に武漢方面に對時、[illegible]等の直系軍隊を集中し、浦線にも兵力を割かれ居る爲南京には僅かに熊式輝の一個師と軍官學校の生徒少數、上海方面には機關銃隊一個中隊と歩兵一大隊在るのみで防備非常に手薄となり、暴動等の勃發をみるもその鎭壓困難なること

三、先日來傳へられつゝある上海方面に於ける蔣氏の軍費調達は意外に困難なるものゝ如く、一方先般の南京火藥庫の爆發、浦口軍需品倉庫の燒失等により負へる傷手により彌々狀勢不利を來しつゝあること

閻錫山氏は反蔣運動支持か
最近の態度が物語る

【北平廿一日發電】蔣氏より巧に三百五十萬元の軍費を引出して反蔣運動に加擔の爲め上海を脫出せる馮氏直系の鹿鍾麟、劉驥兩氏の其後の行動に就いては、或は天津を經て北平に入つたと稱せられ或は保定通過太原に向つたとも稱せられてゐたが、其後確實なる方面よりの消息によれば鹿、劉兩氏とも未だ天津に潛伏中にて同地には閻氏直系の傅作義、商震氏等あり脫出後の兩氏を容易に上陸せしめたる點より見て、更に又閻錫山氏がその發表を禁じ差押へつゝあつた馮系將領の討蔣通電を、本月十三日以降に至り解禁せしこと等に依り閻氏の蔣氏に對する態度は漸々明白となり、反蔣運動を支持するに至つたものとして非常に注目されてゐる

戰爭には參加しない
蔣馮間の調停を閻に依賴
奉天側の態度決定

【北平二十一日發電】支那側確入電に依れば張學良氏は昨日王樹翰の齎した閻錫山氏意見に基き最高軍事會議を開き

一、東北は國境危急のため西北西南地方の戰爭に參加し得ぬ

二、誠意を以つて中央を擁護す

三、閻錫山に蔣馮間の調停を求む

との決議を行ひ直ちに閻氏に對して調停依賴の電報を發した

閻氏を賴り和戰兩樣の準備
武漢に兵を進むるも

【北平廿二日發電】閻錫山氏の機關紙所報によれば中央政府は西北軍に對し和戰兩樣の策をとるに決し一面、蔣介石氏が十ケ師の兵を率ゐて湖北、河南兩省より討伐軍を進めると共に他面、閻氏の和柔斡旋を容れ苟くも和平の望みあらば直に停戰して解決方を閻氏に一任せんとし專ら閻氏の斡旋を待つものゝ如く見られると、併し一般情勢は閻氏の和平發議が果して圓滿なる停戰和平に止まるや否やその間、重大目標を有すべしと觀測されてゐる

韓復榘軍
新鄉に移動

【北平廿一日發電】開封にある韓復榘軍は今回の戰爭に參加せざる目的で自發的に黃河北方の新鄉に移動を開始したが、其の態度は注目されてゐる

軍縮會議の外務省隨員
近く正式發表

【東京廿一日發電】五ケ國軍縮會議外務省隨員は廿一日左の如く決定近く正式發表さるゝ筈

情報部長　齋藤博
歐米第二課長　山形清
外務事務官　松隈昌隆

倫敦海軍々縮會議帝國全權隨員被仰付

右三氏の外英國大使館參事官堀義貴、同一等書記官中山詳一、同若杉要、二等書記官武藤義雄、三等書記官石澤豐、同新納克己の六氏及佛國大使館より一等書記官栗山茂、米國大使館より一等書記官加藤外松、國際聯盟帝國事務局長佐藤尙武、伊太利大使館一等書記官吉澤淸次郎の諸氏が出席する筈である

軍縮會議の米國全權
首席は國務長官

【華府二十一日發電】信ずべき筋よりの確報によればロンドン會議米國全權委員首席は國務長官スチムソン氏、其他の全權は上院議員リード氏及びロビンソン氏、駐英大使ギブソン氏が任命さるゝであらうと

米國全權
ボーラー氏は拒絕せんか

【ワシントン廿一日發電】米國務長官スチムソン氏は上院外交委員長ボーラー氏に對しロンドン軍縮會議委員たらんことを勸說した併しボ氏は彼れがこの會議に參列するため追つて會議の結果を檢討する上にその判斷の獨立を束縛されるかも知れぬことを慮て、これを拒絕したと發表した

英首相

【モントリオール廿一日發電】英首相マクドナルド氏一行はアメリカより歸國の途次、本日、モントリオールに到着した、氏は當地滯在中にマツク、ギル大學の名譽學位を受けることゝなつてゐる

佛伊豫備交涉
既に開始さる

【パリ二十一日發電】フランス政府は潛水艦問題に關しその態度を近く英國政府に通牒すべしとこの間、佛、伊兩國は既に豫備交涉を開始した

澳內閣
總辭職し新內閣は勞働黨が

【オースタリ、カンベラ二十一日發電】產業仲裁法修正の件で破れたブリユース內閣は總辭職し勞働黨首領スカリン氏が新內閣を組織することゝなつた

八千代問題は調印した
加藤鮮銀總裁談

【京城特電二十一日發】東上中であつた加藤鮮銀總裁は廿一日朝七時歸城したが、肩替り問題その他につき左の如く語る

今度東上の主要目的たる八千代の債務を川崎に肩替りする件はスツカリ調印をすました、八千代生命には川崎から重役もはいるだらう、將來は日華生命に合併されるかも知れない、今度の鮮銀支店長會議は形式的お祭り騷ぎでなく鮮銀將來の經營方針を指示し、實質的効果を擧げたいと思つてゐる

ク氏頗る重態

【パリー廿二日發電】クレマンソウ氏の容態は今夕に至るも尙苦痛去らず呼吸困難となり極めて重態である

顧維鈞氏を奉天政府が起用
對露交涉に當らしむ

【奉天特電二十一日發】支那側情報によれば奉天當局は東鐵問題に關し顧維鈞氏と意見の交換をなしつゝあつたが、今回奉天側の外交に同氏を擔任せしめることになり奉露交涉の奉天側代表として專らこれに當らしめる由である

奉天代表王樹翰

奉天側代表として赴南中の王樹翰氏は十九日歸奉した

奉天側代表
太平洋會議へ

京都において開かれる太平洋問題調査會に出席する東三省側の代表中華キリスト教青年會總主事閻寶航氏一行八名はいよいよ廿三日午後三時半發の安奉線急行にて京都に向ふことゝなつた

義務教育費問題
實行に向つて邁進
明年度豫算見積を變更し

【東京廿二日發電】二十二日の定例閣議は減俸案撤回に決議した後義務教育費國庫負擔增額問題につき協議したが小橋文相は一千萬圓增額を實行せねばならぬと主張し他の閣僚も政府および與黨の國民に對する公約もあり減俸問題と無關係と說明してゐることでもあり是非實行すべしといふに意見一致し大藏省において明年度豫算見積り變更を行ひ可及的速かに義務教育費增額問題の實行を解決することに決定した

辯解はせぬ
問題は豫算編成
井上藏相談

【東京廿二日發電】本日の閣議後井上藏相は語る

何も辯解はせぬ、あつさり止めただけで今更、あの計畫でどうのこうのといはふとは思はぬ閣議の席でも一言も議論なく聲明書の字句につき意見あつたのみ

豫算閣議遲れる
八百萬圓の穴埋めと
教育費增額一千萬圓決行で

【東京廿二日發電】減俸案撤回により明年度豫算財源八百萬圓の不足を來したうへ義務教育費增額一千萬圓をも實行するに決したので大藏省はこれが財源發見につき苦境に陷つたが結局、各省の整理節約を更に行ひ既定經費の整理節約をなす外なく主計局は直ちにこれが考究に移たが、このため豫算閣議は豫定より遲延して來月十日頃である、減俸案中止により財源が差し迫つた明年度豫算編成に當り既定經費節約案を全般的にやり直すは時日がないので既定經費節約の大きい事項のみについて重ねて考慮し新規要求にもより以上の削減をせねばならぬと述べて各閣僚の諒解を求めたところ何れもこれを諒として吳れた義務教育費問題につきては別に質問もなかつたが既定經費節約と新規事項削減を行つて見て、どれだけの財源が浮んで來るかを見た上でなければならぬ

蔣と馮との對峙も
結局は金が問題
金の切れ目が火蓋の切れ目

支那の內亂といへば餘り珍しくもない。だが今度のは蔣介石氏と馮玉祥氏と二大軍閥が對峙してゐるのである。その勝敗如何は直ちに支那の政局に一大變化を惹起する。この變化は無論日本を始め關係各國に大なる影響を及ぼす。從つて、珍しくはないが[illegible]視するわけには行かない。

所で、蔣馮の對峙とはいふものゝ、實は宋哲元、石敬亭、孫良誠ら馮玉祥系の將領が反蔣の旗擧げをなし、交戰を始めてゐるので、馮玉祥氏その人は表面には立つてゐないのである。だから、前記の將領連が今月十日附で第二次の反蔣通電を發した際、馮玉祥氏は「たとひ政府の措置に不當の點があつても、遽に武力に訴へるのはよくない、國事は靜かに國民の公決に俟つべきものだ」といふ意味の返電も出させたくらゐである。

併し馮玉祥氏は表面に立たなくても、裏面には充分立ち得る。否現に立つてゐるものと解する方が正しからう。蔣と馮とはもと〱犬猿の間柄であつて、閻錫山氏の居中調停がなかつたら、とつくに一合戰をやつて勝敗を決してゐる筈なのである。

馮系將領連が反蔣の旗擧げをするに至つた動機は何であるか。これにも表裏二面がある。表面の方は第二次の反蔣通電に明瞭に示されてゐる。これによれば（一）蔣介石氏は政府を私し、獨裁專制を行つてゐる（二）腹心の徒と財閥を要路に置き、財政を私してゐる（三）軍隊の將卒に十數ケ月間も給料を支拂はず、民は饑饉に苦みゐるにも拘らず、蔣介石氏とその左右は豪奢を極め、三年間に四億二千萬元の公債を募集しながら、その使途を明らかにせず、剩つさへ機密費として蔣介石氏は毎月百萬元を消費してゐる（四）革命後功勞者の絕滅を圖り、己は帝王の如く振舞つてゐるなどといふのである。これらが孰れも事實であるか否か、擧兵の理由だといふものは何とでもコヂつけ得るものであるから、深く穿鑿するにも及ぶまい寧ろ考へて置かなければならぬのは裏面の動機にある。何となれば、この動機如何によつて双方の對峙が一時的のものかどうかがほゞ推測され得るからである。

では、その裏面の動機は何處にあるかといふに、手ツ取り早くいへば、金にある。前記反蔣通電の（三）の冒頭にある「將卒に十數ケ月間も給料を支拂はず」といふのが事の起りなのである。自ら生產的に働いてゐない軍人は衣食の資を與へられなくては暮して行けない。從つて貰へればこそ從ふもの、命令に服し、戰線に出て砲彈の的にもなる。從つて貰へなければお仕舞である。縁は切れるのである。

尤も蔣介石氏とても中央政府の首席として、兵馬の最高權をも兼ね有してゐる以上、すべての軍隊に給料を支拂はないのではあるまい。財政難から無論充分のことは出來てゐないに違ひないが、自己の直系や、關係の深い、心服してゐる軍隊には厚くし、然らざるものゝ殊に自分が最も不安を感じてゐる馮玉祥系のものなどには自然薄くなる、たまには拂つてやらないこともあるのであらう。これは兼ねて馮玉祥氏が蔣介石氏に對し部下軍隊の裁兵費として二千餘萬元を要求し蔣氏がこれを承認してゐるにも拘らず、實際これに應じて給した額は僅か七十萬元に過ぎず、馮氏は止むなく、その不足分を自分で工面し遣り繰せねばならぬ立場にあることを察しても想像し得るところであらう。

蔣介石氏とても反旗を飜へす者が方々に現れ、それらが一團となつて襲うて來た日にはやはり切れないから、融通の出來るほど持つてゐるなら、此際多少とも金を出して反旗をおろさせるぐらゐのことはやるであらう。併し實際ないのなら、ない袖は振れない。反旗は武力でたゝき押へてしまへといふことになる。

蔣介石氏がこの際金を工面し得れば、問題は案外簡單に解決するであらうが、今日まで蔣介石氏のために久しく御用をつとめた浙江その他の財閥も、最近反蔣運動が盛んになつて蔣介石氏の地位がぐらつき出すと觀てゐるから、自然財布のひもを締めにかゝつてゐる――金が出ない、戰爭になる。勝つたものが幸ひ全國を風靡するほどの勢力を占めれば、財閥は又そろ〱財布のひもを緩める。而して當分國內の平和が續くといふ順序であらう。

まで延期の已むなきに至つた

減俸案撤回と樞府側の觀測

【東京廿二日發電】濱口首相の減俸案撤回聲明につき樞府方面では政府は十五日の閣議で明瞭に決定して置きながら問題となるや未定稿として置きしてゐたが總て嘘であるといふとが分つたこの上は立憲政治に鑑みその責任を明かにする要がある取り消したから宜いといふ譯には行かぬ若それでよければ今後政府の閣議決定事項につき國民が反對すれば政府が責任を以て遂行するものであるかどうかを疑ふこととなるといふにある

減俸案撤回伏奏
一兩日中に參內し

【東京廿二日發電】濱口首相は一兩日中に參內、一般政情につき御下問に奉答し減俸案撤回の經過を伏奏する筈である

司法官の態度には
怠業氣分など認めぬ
處分など考へぬと渡邊法相談

【東京廿二日發電】本日の定例閣議にて渡邊法相は

減俸問題發生以來、司法官に反對起り怠業など起りたるやう傳へられるも司法官の態度には怠業等のことはなく總て合法的にその趣旨を上司まで提出せるに止まりその間何ら不穩ど認むべきものはない依つて司法官の反對運動に對する處分は自分としてはしない積りである

と述べ各閣僚もこれを諒とした

他日問題たらん
前田利定子談

【東京廿二日發電】貴族院研究會前田利定子談

撤回聲明に「世論の趨嚮に鑑み」とあるが政府は觀測を過つたことの點は他日問題となるであらう

政府に責任が在ると思へぬ
大平滿鐵副總裁語る

官吏減俸撤回問題に就き大平滿鐵副總裁は語る

現下の經濟界を救ふため卽ち政府の大方針である緊縮政策に擧國一致して各個人生活の節約を徹底せしむるには實にいゝ方法であつたと思ふ、而して政府が減俸によつて浮んだ金を國庫[illegible]辨に充當する意思であつたかは知らないが單に行詰つた今日の經濟界を打破するため消費節約の實を國民一般に徹底せしめる方針であつたとすれば、日常生活に要する必需商品の下落を誘致することゝなるから減俸そのものは何等影響なかつたらうと思はれる、卽ち政治政策としてはよかつたであらうが社會政策上或は思想善導上果してどうだつたらうか、然し減俸案を撤回したからとて政治上政府に責任があるとは思はれないぢやないか

研究會は政府の責任を問はぬ
廿一日幹部會で協議

【東京二十一日發電】貴族院研究會は二十一日幹部會を開き政府の減俸案撤回問題を協議したが撤回に關する政府の責任は敢て問はざる如くである、然し會內には井上藏相の輕率が今回の失態を招來せるものである事を指摘し金解禁斷行の重大責任を負はしむるを心細しとする意見も相當行はれてゐるから、今後の研究會の大勢は必ずしも樂觀を許されぬものがあらうと見られてゐる

政友の意見交換
廿一日の定例幹部會

【東京二十一日發電】政友會定例幹部會は二十一日午後一時から本部に開會鈴木顧問以下總務幹事等出席、減俸問題に關し意見の交換を行ひ島田總務より政府の態度を見屆けた上黨の態度を聲明せねばならぬが、官吏の減俸は之れを內奏してゐると思はれる節あり、仙石氏の談では正式上奏しないから差し閊へないとの事であるが、さすれば問題は極めて愼重の注意を要し宮中方面の態度を見た上嚴重な態度で之れを監視せねばならぬと述べ政府の取消聲明後緊急幹部會を開き黨の態度を聲明する事を申し合せ更に津雲代議士は

一、十九日夜中島首相秘書官が泥醉の上官邸に來り新聞記者室にて拳銃の空砲を發射し大目玉を食つたに對し同夜松田拓相以下各新聞通信社を歷訪して揉み消しをなした件

一、安達內相が警視廳機密費にて自家用自動車を購入した件

一、式年遷宮祭に民政黨が有罪に決せる石塚代議士を代表者として參列せしめたる件

等の報告あり、何れも官權濫用調查委員會に附する事とし三時散會した

總辭職に及ばぬ
◇…樞府方面の見解

【東京廿一日發電】政府の減俸案撤回決意につき樞府方面では左の如く語つてゐる

政府は減俸案は政策遂行の一手段であつたに過ぎず、之れを撤回するも何等政策遂行の行き詰りにあらざるが故に責任問題を生ずべしとは信じないと云つてゐるが、斯樣な無責任な事は許されぬ、減俸案が政府の重要政策なる事は濱口首相の聲明に徵しても明白であり、今になつて手段に過ぎぬと云ふは卑怯である、濱口首相は必ずや責任を明かにするであらう、然し責任は政府にありとするも撤回した以上總辭職を以つて其の責任を採る程の事ではない、卽ち當面の責任者井上藏相と部下の行動に依る渡邊法相の辭任はあるべき事と思ふ

米と麥粉の自給自足が肝腎
減俸は面白くない
大川平三郎氏京城で語る

【京城特電二十一日發】朝鮮鐵道株主總會出席のため滯城中の大川平三郎氏は金解禁問題につき語る

金解禁の焦點は輸出入の均衡にあるが、減俸などして無理に消費を減退せしめる方法は面白くない、鐵と肥料は既に自給自足の域に達してゐるから今後は米の增産を計り、米と麥粉の二つが自給自足出來れば輸出入の均衡もとれ爲替も安定し解禁は樂に出來るのだ、藏相にも力說しておいたが緊縮と產業奬勵を並び行はなければならぬ、自分としては解禁を急ぐ必要を認めない

國民外交協會が
國貨公司の
設立に努め出征軍慰勞

【奉天特電二十二日發】奉天國民外交協會では廿一日、會員を招集し左の如く決議した

一、出征軍を慰勞するため寄附金三萬元以上を募集し馬五百頭、シヤツ二千枚、罐詰一萬函を購入し十一月一日まで滿洲里に輸送すること

二、國貨公司設立のため東北四省で一株百元、五十元、二十元、十元、五元の五種の株式により資本を募集中であるが更に商務會をして日本および外國商人が東北省において如何なる商品販路を擴張してゐるか、その方法につき調査せしめ百貨製造工場および各地に國貨公司設立に努めること

參謀總長の勇退と
陸軍部內の異動
後任は菱刈大將か

【東京二十二日發電】鈴木參謀總長は來る十二月の異動期に勇退の模樣であるが、その後任は教育總監武藤大將となり教育總監の後任には金谷範三、井上幾太郎、鈴木孝雄、菱刈隆四大將が噂に上つてゐるが金谷大將はこれを欲せず井上、鈴木兩大將は特科出身につき菱刈大將の就任を見るべしとされてゐる、而して關東軍司令官の後任には松井第十六師團長、十六師團長の後任には坂部砲兵監が擬せられてゐる

天津から上海への
陸路交通は杜絕
坂上氏ら一行引返す

去る四日、青島へ向つた外務省對支文化事業調查會坂上[illegible]氏ほか二名[illegible]

滿洲日報

支那の現實 どん栗の内戰抗爭に

理想はなかなかに實現せず、却つて空想に陥るなきを保し得ぬのは、人間社會の實情である。蔣介石が南京政權の首領として、南北を統一し、新舊軍閥を駕御して行ければ、それに越したことなく、支那の實情が、近代的國家に更生し得ぬにしても、とにかく國家といふものに纏め得るであらうが、問屋はオイそれと卸さず、さすがの蔣介石も、昨今では、その運命を時日の問題とされるやうになつたのは、支那のために殘念であるのみでなく、折角、國民政府と、條約の改訂にと思つてゐる日本としては、隣邦であるだけに、一入の遺憾を感ずる。

◇

よし蔣介石が沒落しても、國民政府は、依然として棟梁を替へ、中央政府としての仕事をやつて行けるやうなら、すこしも問題はないが、個人と國家の機關とが、分離し得ぬやうな支那の實情にありては、馮や閻や、また奉天軍閥の人々が、よし地方的であつても、政權を把握し、その首領として頑張ることに利害の關心を持つことは當然とすべく、新舊軍閥の封建的個人勢力時代から、機關を以て統制するといふやうな新時代には未だ入らざることを示してゐるのである。この支那の實情に對し、日本人などにも、希望と觀測とを混淆するもの多く、蔣介石の東南軍閥を買ひかぶるものが多いのである。蔣には個人として、相當に傑出するところあらんも、機關組織の力が、それをギヤスチのフアイして行くだけに支那の實情が進んでゐぬから、人氣が蔣を去るや南京政權も、一朝にして沒落するやうなことなしと限らぬ。

◇

支那の首都が、今日、もとの北京であつたならば、恐らく蔣介石は、すでに沒落して居つたであらうと思はれる。袁世凱をはじめ、支那政局の中心にあつて、久しくその地位を保維することは困難である。國民黨の人々は、ここに考へ及んだのか、それとも偶然か、とにかく首都を南京に移した。上海はあつても、安福派の策士のやうな連中は、容易に天津を離るることが出來ず、それに上海は、貿易港として尨大なるだけに、未だ策士の巢窟とならず、この分なら蔣介石の南京政權も、相當の壽命を保はしめられた。併し、支那の運命といふものは、領土の大、人口の衆なるだけに、南京を中心として統制し得るや覺束なく、最近にては北京を國都になどの回顧思想も再生し來つた。この氣運に向つて、蔣介石は果して、南京政權を支持し得やうか。

◇

この元旦に開いた編遣會議、理窟はともかく、各新舊軍閥の軍隊は私兵であり、衣食住の機關であり、方便でもあるのだから、裁兵も空言に終り、中央の命令など、名あつて實の伴はず、地方の地盤を固持して苛斂誅求するに、何の不思議もないのである。明哲ならずとも保身に長け、自己軍閥の輪內だけは絶對不可侵、何らの治外權力をも認めぬ。張學良など、蔣介石に對し、大體において妥協的態度に出で居りたりしといへど、一トたび奉天軍閥の根蔕を危くするものあらんか、猛然として排他的の姿勢に出づる。その場合、そこに道理もなく、道義もない。馮玉祥と閻錫山と、外遊を餘儀なくせられんとしたが、時はすべてのものを支配し、その後、局面は一變した、閻は馮を支持しつつ中央擁護を標榜し、さすがの蔣も、閻の眞意を知りつつも、それを抑へるだけの實力なく、形勢は日一日と蔣に不利、大廈の傾く、浙江財閥の金力を以てしてもといふことになつた。

◇

支那の軍閥は要領がよく、大勢に順應すべく、いろいろの旗を準備してゐる、その軍閥保維が、結局は明哲の行動ともいふことが出來るのであらう。とにかく大軍閥といへば、何萬、何十萬の團體生活である。これら多數者の生命を保持して行かねばならぬのであるから、頭目を表看板に舁ぎ上げ、以て團體生活の表識とせねばならぬ。馮系といへ、蔣系といふも、歸するところは軍閥生存の便法であり、場合によつては馮系たり、また蔣系に寢返り、裏切ること、にがにがしきが如きも、彼らとしては必要に迫られたる當然のことであらねばならぬ。この當然事を察せず、蔣介石を買ひかぶつたり、または南京政權が、南北を統一し支那をして近代的國家に更生建設すべしと做すが如く觀測するものあらば、それこそ胡蘆によつて樣を畫くものといはねばならぬ。果して然らば、支那の時局、今後、いかに展開するか、蔣介石の運命何となるか、その邊のこと、豫め斷定を難しとすると同時に、南京の國民政府が、結局は統制すべしとも限らず、恐くは支那の實情に照して觀測すべく、日本の維新なども引例して形づくるは早計に失すといはねばならず、ムツソリニも出でず、レニンも現はれず、ましてワシントンのやうな人間も飛び出さず、どん栗同士の新舊大小の軍閥が、ここもと內戰抗爭に、劫火を燃すことと觀測するより外あるまい。それが支那の現實であり、五千年以來の實情なのではあるまいか。

唐軍の態度 愈よ疑問視さる
反蔣各軍頻りに動き 近く徐州方面で開戰

【北平發】河南省開封にありて唐生智氏と共にその去就を最も注視されてゐた韓復榘軍は十五日より東南に向つて移動を開始したがこれは孫良誠氏と諒解成り南下し來る孫軍に對し路を開けるものと觀られ、更に其後の唐生智氏の行動は馮系との連絡の疑ひ濃厚となりつつある、一方河南の魏益三劉春榮兩軍は何成濬氏の指揮下に入つたとはいへ元來奉天派の軍隊であり白崇禧の第四集團軍とも關係あり爲め其の向背は著るしく疑問視されるに至つたが、右に對し反蔣派の宋哲元軍は目下武漢方面に向つて進擊しつつあり孫良誠軍も徐州に向つて動きつつあるので近く兩方面に於て相當の激戰が豫想されてゐる

南京政府の國境出動軍慰問

【奉天發】露支紛爭發生以來中央政府は數回に亘り軍費と軍隊慰勞金とを奉天に送達して來たが今回又復遼防軍慰勞專使として軍政部次長陳儀氏が來り張學良氏と會見をなし軍隊慰勞金十二萬元を攜帶し廿日隨員と共に北上の途に着いた

張學良氏から各省に訓電
西北問題は嚴正中立 邊防の警備を嚴にせよ

【奉天發】張學良氏は吉林、黑龍江、熱河各省政府主席及び哈爾賓張景惠氏第一軍長王樹常氏第二軍長胡毓坤氏その他東北各軍政機關宛十九日左記訓電を發した

十九日國民政府首席蔣介石氏より馮玉祥氏親征に關し軍政部長譚延闓氏に國民政府代理主首席を委任し且つ十八日より津浦線の乘客取扱を禁止せる旨の通電に接したが、東北省は西北問題に關しては暫時嚴正中立を以て形勢を傍觀することにした又露支問題に關しては露國が誠意を以て交渉に應ぜむる限り飽迄初志を貫徹する方針である邊防の警備を嚴にして西北問題の隙に乘ぜられない樣に注意を乞ふ

學良氏は絶對中立 林文龍氏かたる

二十二日出帆のばいかる丸にて張學良氏秘書林文龍氏が家族同伴、日本內地に向つたが氏は流暢な日本語にて語る

二、三ケ月、東京に滯在しそれから家族は東京に殘して私とひとり歐米に約一ケ年の豫定で巡遊します、蔣、馮關係が如何に紛糾しやうとも學良氏は飽て鮮明せる如く絶對中立を嚴守しますが、要は和平確立の大目的のためです

陸氏近く歸寧

【ハルビン發】グランドホテル滯在中であつた南京政府鐵道部代表陸夢熊氏一行は十九日午後ポクラ方面視察のため出發したが、大體の調査はこれで終るので政府に總てを報告し今後の指示を仰ぎ一應歸寧する意嚮である

破竹の勢ひで馮軍の進出
先鋒隊が敵陣を奪取して 鐵甲車隊が續擊する

【天津發】西北軍が十日の國慶日を期して行動を開始し極めて迅速に二日經たぬ內に洛陽を奪取してゐるが、元來第五路軍の唐生智軍の實力は約一個師位で到底西北軍の敵では無いのみならず西北軍は非常に訓練された統制ある軍隊で常に左手に拳銃を握り右手に白刄を揮つて先鋒隊を努め戰鬪力強く先鋒が敵陣を奪取すると直ぐ鐵甲車隊が續行するので何んな堅壘でも擊破せないものはなく況んや其軍隊は過去數ケ月間旱災饑饉の地方に餘儀なくされた連中で給與は不足し日に艱難を感じて居る餓狼の如き連中である故其中原進出の威勢は非常な勢ひで到底防止する事は出來ないと見られてゐる

段氏の擁立を天津で策謀
蔣氏の失脚を豫想し 安福派の暗中飛躍

【天津發】目下天津方面に於ては蔣介石氏の失脚は目睫の間に迫れるものとして蔣氏失脚後の中國の政情に就き各種の豫想が行はれてゐるが、眼識で時局の收拾に當る人は先づ無しと觀られて居り、揚子江以北の地盤は今回の反蔣運動の黒幕たる馮氏、並に中立と稱し明らかに消極的反蔣態度を執れる閻錫山氏等の手に歸して軍事的解決を見ると共に、政治的方面は段祺瑞氏之が解決に當るべしとして安福派の王揖唐、姚震氏等の多數の策士は盛に段氏擁立の暗中飛躍を續けてゐると

第三次通電 內容は六ケ條

【奉天發】先に反蔣通電を發した宋哲元氏以下の各將領は十六日附を以て第三次反蔣通電を發したがその內容は六ケ條より成り南京政府の改造蔣介石氏の下野等が主たるものであると

東鐵の公文書 露支兩文採用

【ハルビン發】東鐵管理局に於ては公文書一切を露支兩文に改めるため各課主任研究の結果明年度一月一日から實施することに決定したと

吉田野田兩巡査遭難義捐金寄附

○弔慰金 ▲大洋五十圓張敬堯▲金十五圓大連大正尋常小學校職員一同▲金十圓張宇根▲金二十錢日の出町滿鐵母の仕事會有志▲金三圓みなと屋菓子舖▲金五圓山野新吉▲金二圓五十錢宛前田邦子、前田東洋治▲金二圓並松節二▲金一圓村上稔
日計一百七圓二十錢(內大洋五十圓)
累計一千五百二十圓四十五錢(內大洋五十圓)

○見舞金 ▲金五圓大連驛
日計金五圓
累計金一百二十四圓
總累計金五千二百九十一圓三十七(內大洋五十五圓)

○兩警官義捐金
金十三圓五十錢朝日小學校職員一同▲金十圓泰東日報社▲金四圓五十三錢朝日小學校(五年一組、四年一組、四年三組、一年四組)兒童有志
日計金二十八圓三錢
累計金三千六百七十四圓九十五錢(內大洋五圓)

○弔慰金
▲金七十一圓六十四錢
日計金七十一圓六十四錢
累計金一千五百九十二圓九錢(內大洋五十圓)
總累計金五千三百九十一圓四錢(內大洋五十五圓)

我が海軍全權委員の初會合

ロンドン海軍會議に派遣さるべき帝國全權事務所は首相官邸に設置されたので十八日午後二時から全權委員の初顔合を催し事務的準備の打合を行つた、寫眞は前列右から吉田外務次官、山川端夫、財部海相、濱口首相、若槻全權、左近司海軍中將、後列から堀田歐米局長、堀海軍々務局長、鈴木書記官長、川崎法制局長官

南征雜錄(14)

難波勝治

モビル(承前)

二日間のモビル滯在中一番愉快に感じたのは、同市の郊外に日本人が三家族住居し、その何れもが相當の事業成績を擧げて居る事である、而して右の三家族はクライトンの澤田幸作君と其共同者井村佐平君、及びセメス在住の淸野主君とである、クライトンはモビル市を距る西方八哩、海拔二百呎以上の高地だが、セメスはそれから更に七哩餘を離れて居る、四月五日午前九時、私は大野船長、小林事務長等四名の船員と共に上陸し商船會社の代理店、郵便局などを歷訪した後、船內賣込業者の店員に案內されて澤田君經營の植木園を參觀する事となつた、午前十一時過ぎから主人に導かれて園內のグリーン、ハウスや、今を盛りと咲き匂ふツツジなど一覽したが、最も多く仕立てつつあるのは常綠の針葉樹、輸出先きは重にニユーヨーク、ボストン地方にまで及んで居るそうであるが、澤田君は大阪府の人で、明治三十八年渡米、加州を振出しにテキサス州で二年間米作に從事したが、成績が思はしくないのでルイジアナに轉じ、目下ゼネバに於ける邦人米作者として有名な新井君の許に身を寄せ、約百萬本のオレンヂ栽培を試みたがこれ又美事に失敗した、それは一朝寒氣襲來して樹木全部が枯死した爲めで、再び土地を代へてクライトンに現在の植木業を開始したのであつた、總面積六十英町、數名の白人を使役して少からぬ利益を收めて居るが、入植當時一英町七十五弗で買入れた土地は、今や二百五十弗乃至三百弗、若し豫定の道路改良が實現されて電車が通ふやうになれば優に五百弗位には騰貴するだらうといふ、家族は夫人の外に二男一女を有し、瀟洒たる家屋內に請ぜられて晝餐の饗を受けたが、食後共同者の井村君も來り合せて快談した、同君の出身地は石川縣、日米社長の我孫子久太郎君より一年後れて渡米したが、爾來風霜四十有四年、前に述べたニユウオリンズの北方ゼネバに居住する新井君や、米國仕込みの興行師として知られた櫛引弓人翁等と時代を同じうする大先達である、家族は夫人との間に五子を有し、當地に轉住してからでも既に二十年に及ぶそうである、村とはいひでうクライトンは人家落々たる僻地で、小學校まで約四哩、通學兒童は毎朝專用自動車に送迎されるのである、この經費は一切郡の支出に係るが、二哩以內の距離は總て徒歩通學の規則だといふ、自動車といへば農園使用の白人勞働者も皆手持の自動車がよひ、而もそれは主人公のより立派だと澤田君は笑つて話した、都市を離れた田舍住ひは聊か不便だが、太平洋岸のやうに排斥氣分もなければ土地も自由に買ひ入れ得る、飼養のホルスタイン種一頭、毎日十ガロンの牛乳は三分一を飼養者に與へ殘りを兩家族で牛分宛飮用するのだが、幼兒の養育にはサワア、ミルクが好成績であるなど、米國の田園生活は何處までものびのびして居る、併し澤田君の談によれば在米の日本人は兎角成功を急ぎ猶伊諾國人のやうに堅忍持久の觀念に缺けて居るそうだが、之は私も到る處で耳にした國人の反省點である、時間の都合でセメスの淸野主君を訪問する事は出來なかつたが、聞けば京都大學教授たる淸野謙次博士の令兄に當り、約七八十英町の土地を所有して同じく植木農業を經營して居るそうである

慢性胃腸病に苦しむ人よ
是非ともアイフを服用せられよ

平素胃腸の虚弱なる人は秋口は最も注意を要す、夏季の暑さのために知らず〳〵に氷ビールサイダー等の飲み過ぎ又は夜分の寝冷や不養生のために胃腸を甚しく損傷せしめ重症に陥り身體がげつそり衰弱する事がある。殊に慢性胃腸病の人は長い間胃腸の故障を捨て置きたるため其の機能をすつかり損傷せしめ内部には疵やたゞれを生じ

● いつも胃弱にて食慾進まず胸先つかへ胸やけし消化不良にて嘔つき胃痛み
● 下痢又は軟便にて便には粘液と鼻汁の如きものを混じ裏急後重を起し
● 胃擴張にて腹はり痛み放屁多く出でゴロ〳〵ブツ〳〵鳴り心持悪しく
● 内壁に疵を生ぜるため滋養物を食するも身に付かず身體衰弱し神經過敏となり
● 榮養吸收不良にて元氣衰へ力なく顔色悪しく身體虚弱となり疲勞を覺え
● 體質虚弱にて殊に胃腸障害のため肺尖を犯し軽度の發熱を來し夜眠られず
● 腸加答兒にて一寸の飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み
● 重症にて大便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核腸潰瘍等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ

此胃腸病はアイフで治癒る

肺尖加答兒
胃部痛み胃擴張
胃癌の發生
小腸加答兒
大腸潰瘍痛み
腸結核頑悪なる下痢

アイフは各藥店に販賣す

アイフは胃腸病に對し最も親切に調劑せる良藥にして主藥は加答兒の原因たる腸胃内壁の爛れて居る部分に附着して炎症を鎮め粘膜を强壮にし粘液の分泌を減じ大腸に於ては硫化水素と化合して硫化蒼鉛となり胃腸の弛緩を引しめ蠕動を制し下痢を止め痛みを鎮靜する特効がある。故に胃腸病者は此のアイフを内服すれば胃腸を健全にし食慾を進め血色を良し榮養の吸收を佳良にし體重を著しく増加し服用後目に見えて健康を回復し隨分の重症でも必ず大効果を得べし

藥價　普通アイフ四日分七十五錢、八日分一圓五十錢、十七日分三圓、四十五日分七圓
重症用特製アイフ十一日分五圓、廿三日分十圓、卅六日分十五圓、八十日分三十圓
遠方へ御注文の方は藥價を郵便爲替又は振替大阪三四五五番へ拂込あれ着金次第送藥す

大阪東區清水谷西之町三六五番地
發賣本舗　順和公司
振替大阪三四五五番　電話東五〇〇・五〇二・五〇三

大連市山縣通一丁目振替大連三七六五
大連支店　順和公司

コドモページ

―童話― 樂園の破壞者（下）

近藤義長

「パッツ……」と云ふ銃の響きと共に「しまつた！」とその人は叫びました。パット羽が散りましたねらひは少しはずれたのですが、羽をかすめられた鳩は飛ぶことも、どうすることも出來ないのです。小さくはゞたきをすると其處にうづくまつてしまひました。

此の時遊びから歸つて來た多くの鳩はこの樣を見ると何とも云へない驚きと、恐ろしさにたゞガヤ〜とそのあたりを飛び廻るのみでした、とどうでせう。今空氣銃の音と共に驚いて逃げた一羽の鳩は「危いから〜」と皆のとめるのも聞かずに又歸つて來てその負傷してゐる鳩の傍にうづくまつてしまひました。

傍に集つて來た人は口々に云ひました。

「ありや兄弟鳩だ、きつと兄弟の負傷したのを看護に來たのだ」

「本當に可愛い鳥だ」と。然し今度こそとねらひをさだめてゐるその人には何にも聞えなかつたのです。

「パッツー」

彈は又それてしまひました。けれど今度は二羽共ぴたりと身體を付けて銃の音にも身動きもしません。更に彈をつめてねらひを付けたその時、どうしたのでせうか、その人は急に銃を下に置いてしまひました。そしてぢつとその二羽の鳩を見つめながら云ふのでした

「あゝ可愛さうな事をした。罪もない鳩をなぐさみのために打ち殺すといふことは全くよくないことだつた」

さう云つて、その人は足許の鳩を拾ひ上げると運ぶ足も重さうに歸つて行きました。

その邊はち切れた羽で一杯でした。

斯うして此の騷ぎも、鳩達にとつての恐ろしさも一日で濟みました。それはその持つて生れて來た愛と云ふ心の爲めです。その愛の前には何者も頭を上げることが出來ません。

屋上の樂園は又もとに返りました。そして鳩達は再び愉快に幸福にその日〜を送ることが出來るやうになりました。（おはり）

冬の理科　體溫と發熱の話（一）

夏でも冬でも體溫は常に一定です

星ケ浦や夏家河子で海水浴をしてゐたのもつい此の間のやうに思つてゐる中にもうストーブのそばがしたはしい時節になりました。これからは日一日と寒くなりますがそれと同時に風をひいたり扁桃腺を痛めたりする機會が多くなります。皆さんは風や扁桃腺のために熱を出したことがあるでせう。熱は必ずしも風や扁桃腺のためばかりでなくいろ〜の原因で出ることがあります。そして

熱の出る場合はきつと身體のどこかに病氣のある證據なのです。だから熱が出たならば一時も早くお醫者さんに見て貰はなければなりません。熱のでたのをうつちやつて置いて取りかへしのつかないやうになつた場合がいくらもあります。そこで今日は理科學習の一つとして發熱のお話をいたしませう。水の中にすんでゐるお魚や蛙などは冷血動物と言つてきまつた體溫がありませんが、

犬だとか猫だとか馬だとか人間などのやうな溫血動物は皆一定の體溫があります。ですから燒けつくやうな眞夏の時候でも氷にとざされる冬の眞中でも體溫には少しも變りはありません。これらの溫血動物がどうして周圍の溫度に關係なく一定の體溫を保つてゐるかといふと、それは身體に熱の調節機關があるからです。即ち冬の寒い時には身體の表面からドン〜熱を奪はれてゆくからからだの中で盛んに熱を起し失つた熱を補つて

體溫の下らぬやうにします、それから反對に暑い時は皮膚の表面から盛に汗を出して熱を發散させます。このやうにして一定に保たれてゐる人間の體溫はどの位あるでせう。そこで先づ一本の體溫器を取つて腋の下にはさんで見ます。體溫器が平形ならば十分乃至十五分間、プリズム形なら三四分經つてから取り出して見ると水銀が前に見たよりもずつと昇つてゐます。その高さは大人ならば三十六度五分から三十六度八分位、

子供はそれよりいく分高いのが普通です、つまり之が常溫で、之より高くても低くてもよくないのです。

體溫は朝と夕方とでは少し違ひます。それは朝から夕方までに身體を動かしたり食事をしたりするために熱が出るからで、朝よりも夕方の方が五分ばかり高くなるのです。若し體溫が三十七度以下であつても朝夕の差が一度近くもあればどこかに病氣のある證據です。

ニドメノ大チヤンノタンケン（125）

ハルミチ作　ジラウ畫

オヂサンハ　シキリニ　コヤニ　ハイツタリ　デタリシテ　ソラヲ　ナガメテヰマシタガ　ヤガテ　ソラハ　ミルミルウチニ　マツクロニナツテ　ゴロゴロト　カミナリガ　ナリマシタ。

「ソウラ　カミナリガ　ナリダシタゾ」オヂサンハ　コオドリシナガラ　コヤニ　カケコムト　マヘニ　コシラヘテオイタ　オホキナ　タコヲトリダシマシタ。

オヂサンハ　タコヲモツテ　センスイテイノツナイデアル　カイガンニ　ハシリマシタ。大チヤンモ　ブルモ　ダラスモ　オヂサンノ　アトニツイテ　ハシリマシタ。

うで玉子

大廣場小學校二年　柴田正一

うで玉子は　のんきだな
コツンとひどく　ぶつけても
こぼれてしまはんでへいきだよ
うで玉子は　きれいだな
きみと白みが　べつべつに
ポコンときれいにはなれます
うで玉子は　おいしいな
運動會や　遠足に
みんながたくさんもつて來る

大連奬學會主催の兒童音樂會

菊花薫る明治節當日　滿鐵協和會館で

大連奬學會社會部では來る十一月三日（明治節當日）午後一時より滿鐵協和會館に於て第七回兒童音樂會を開催することゝなつたが當日は一般の入場隨意（但整理の意味でプログラム代として一人二十錢を申受ることになつてゐる）と、當日のプログラムは大體次の如く決定した

【第一部】

合唱 イ、我國旗、ロ、虫なく野邊 沙河口校 高一女
齊唱 イ、娘々祭、ロ、計りごと 嶺前校 五年女
齊唱 イ、おもちやのマーチ、ロ、春霞 沙河口公 四年男
遊戲 イ、月夜の兎、ロ、龍宮踊 常盤校一年女
齊唱 イ、ろばのすゞ、ロ、お月さま 南山麓校 四年女
獨唱 イ、お嫁入り、ロ、白い小鳥 伏見臺公 五年女
遊戲 イ、キユーピーさん、ロ、兎のダンス 春日校 一年女
齊唱 イ、拉鶴踊、ロ、すゞめ踊り 土佐町公 初三四女
遊戲 イ、四十雀、ロ、夢のりす 聖德校 一年女
獨唱 山づたひ、齊唱、萬里長城 西崗子公 高二男
二部合唱 氣まぐれ時計、齊唱、薔薇の花 朝日校 六年女
齊唱 イ、夢買ひ、ロ、めだかと蛙 大廣場校 一年女
合唱 殖生の宿 早苗高一

【第二部】

齊唱 イ、暁星、ロ、ばつた 日本橋校 六年女
遊戲 イ、兒の讀本、ロ、動物園で 沙河口校 二年女
二部合唱 白菊、齊唱、秋虫 伏見臺公 高二女
獨唱 イ、咲いた櫻、ロ、夕の鐘 常盤 六年女
齊唱 イ、てる〜坊主、ロ、雀の子 大正校 一年男
遊戲 イ、金魚のお嫁入り、ロ、チユーリツプ 朝日 一年女
齊唱 イ、沙漠の彼方、ロ、合鞍 沙河口公 高二男
遊戲 イ、木舟泥舟、ロ、かうもり 伏見臺校 一年女
齊唱 イ、チユーリツプ兵隊、ロ、土舟木舟 松林校 二年女
遊戲 イ、雨蛙、ロ、キユーピーダンス 南山麓 一年女
二部合唱 樂しきみ園、齊唱、小鈴の音 大廣場校 六年女
二部合唱 イ、海の朝、ロ、天女の舞 大正校 五六男女

國際ジャンボリー寫眞だより（その五）

大連少年團主事　阿左見生

評判のスコッチ音樂隊

男でありながら女のスカートをつけパイパーを抱えたスコッチの音樂隊は大評判でした。何百人といふ樂手がピーピーと一種異樣な音をだしながら行進する樣は實に何とも言へぬ勇ましさでした

兒童の作品

體育を重んぜよ

松林小學校六年　伊藤鎭

現在我が國を立派な國にするためには國民がいくら學問があつてもいくら愛國心が强くとも身體がよわければ立派な國民とはいはれないと校長先生がおつしやつた事がある。そうだ、我が八千萬の國民が皆體育に力をつくし、そして益々學問にはげんだらどんな立派な强い國になるだらうか。おそらく世界各國におとらない國になるだらう。あゝ校長先生のおつしやつたあの一言を國民がまもつてくれたら、きつとりつぱな國になるだらう。僕も八千萬の國民の一人として、あの一言を長く〜守り、我が日本帝國が益々立派な國になるやうに心がけやう。

酒は國を亡す

松林小學校六年　月成靖

日本人にはどういふものか御酒の好きな人が多い。此頃は何でも節約々々といふが、日本人が酒をガブ〜のんでゐる中は日本を豐な國とすることは到底出來ないと思ふ。又其の酒が體の爲になるのならとにかく、お酒は體に大變に害になる。其れを飮むと言ふのは日本人がだん〜國をほろぼして行くと同じである。これを考へればほんとうに飮めないはずである。又日本人が其れを實行出來ないのは意志が弱いからだ。此れから日本をさゝへる青年達は意志の弱い大人のまねをせず日本を禁酒國にして日本を幸福な國としなければならぬ。

新刊教育書紹介

▲螢雪（十月號）十錢大連語學校螢雪會

本島臺灣間を陸軍機無事に翔破

廿一日朝太刀洗出發午後屏東着 二機相前後して

【佐世保廿一日發電】佐世保鎭守府着電に依れば本日午前六時太刀洗飛行場出發屏東に向つた陸軍機二機は、午後三時半無事屏東に到着せりと

【立川二十一日發電】所澤航空隊の所澤臺灣屏東間大飛行に參加した加藤機は午後二時四十分花澤機は二時五十分無事第二コース太刀洗屏東間を翔破して屏東飛行場に到着したと所澤航空隊に報告があつた

言葉のあやか誤解のもと

優勝カップ問題で 岡部平太氏語る

【奉天特電二十一日發】日獨支陸上競技は既報の如く二十日を以て無事終了したが、同競技において人見孃に授與さるべき林總領事の優勝カツプが高見孃に授與されたのは岡部監督の獨斷で、無論人見孃はこれを

辭退しては

ゐないといふので係員の說明不行屆きから飛んだ不祥事が突發し、スポーツ界は勿論各方面を騷がしてゐたが、之につき岡部氏は左の如く語つた

人見孃の來奉は聞いてゐたが正式の申込は受けなかつたので、もし競技に參加するやうなことがあれば參加の出來るやうに支那側委員と協定の上エキセプト人見としておき、且つ今回の女子競技は最初から内地選手を入れないことにしておいたので、ある、故に賞品授與にあたつて勿論人見孃を除くことにしてあつたのであるが、賞品授與にあたり人見孃の

名譽を尊重して「人見

五A對零で慶大軍勝つ

對明大一回戰

【東京二十一日發電】慶明野球第一回戰は二十一日午後二時半から神宮球場に於て淺沼、池田兩審判の下に明大先攻にて開戰、左の如く五A對〇にて慶應軍の勝利に歸した

バツテリー
明大 鬼塚、井ノ川
慶大 宮武、川瀨

スコアー

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慶應	1	0	0	0	0	1	0	3	A	5A

學校軍事教練査閲始まる

廿一日工大を皮切に

本年度の學校軍事訓練の査閲は廿一日關東軍より參謀長三宅少將、關東廳より藤田學務課長臨席の上工大を皮切りに開始されたが、今廿二日は高木中佐臨席にて鞍山中學、廿三日三宅少將臨席にて滿洲醫大と夫々施行の筈で其他の査閲日割並に査閲官は左の通り

△廿四日滿洲教育專門學校三宅少將、長春商業學校三浦中佐△廿六日旅順一中高野中佐、工業專門學校板垣大佐△廿八日大連一中高野中佐△廿九日大連二中同上△十一月一日奉天中學板垣大佐△二日撫順中學同上、青島中學高野中佐、安東中學山口中佐△六日大連商業板垣大佐

青年訓練所の査閲日割

關東軍司令部では左記日割を以て本年度青年訓練所の査閲を行ふことゝなつた

△廿五日長春平川少佐△廿七日沙河口同△廿八日旅順同△卅日育成同△卅一日常盤同△一日大廣場森本少佐、△二日遼陽遠藤少佐△五日鞍山同△七日撫順内田少佐△八日奉天同

◇…見事な發育ぶり、二十一日の赤ン坊審査會

不時着水の海軍機救助さる

福井縣和田村沖合を漂流中 搭乘者三名とも無事

【福井二十二日發電】二十一日午後七時二十分ごろ福井縣大飯郡田村海岸一運の沖合に水上飛行機が漂流してゐるのを附近の漁民が發見、直ちに救助に向ひ搭乘者三名とも應急手當の結果無事なるを得た、右飛行機は海軍小演習參加中の特別航空隊第百三十七號水上機で根據地鎭海を出發舞鶴に飛來したが、暴風と暗夜のため進路を過り附近に故障を生じ不時着水したもので搭乘者は立見中尉ほか二名である

秋野孝道師

總持寺後任貫主

【東京二十一日發】曹洞宗本山總持寺貫主杉本師遷化に伴ひ後任貫主選擧は十一月二十日に行はるゝが、昨二十日夜同寺顧問會は杉本前貫主の遺書に依り秋野孝道師を滿場一致で推薦する事に決定

電燈五十年の祝賀で朝鮮賑ふ

京城では花電車を運轉

【京城特電二十一日發】偉大なエヂソンを禮讃する電燈が誕生して今年で五十年、西暦一八七九年十月廿一日當時メンロ、パークの奇人と呼ばれたトーマス、アルバ、エヂソンは悲慘な程の苦心と失敗を重ねた末漸く一つの炭素纖維球を發明して之を公衆の面前で實驗したのである、これが一般照明用として現在

全世界を通じて最も廣く採用されてゐる彼の白熱電球の最初の實用的なものであつた、今年は恰も五十周年に當るのでこの偉大な大發明のあつた記念すべき日を祝福するため國際的にライツ、ゴールデン、ジユビリー即ち電燈五十年祝賀會を開催する計畫が米國から提案せられ、英國に於ける萬國照明委員會の中央本部から歐洲各國は勿論廣く世界各國にその賛同を求め、我國に於てもこの祝典に參加し電氣關係の各協會、學會等が協力して華々しくこれが

記念會を擧げ、朝鮮でも電氣協會で當日は祝賀會を催して記念すべき五十年祭を祝福するほか京城では花電車、各學校では電氣に關する講演等が行はれ人類史上に燦然たる功績を遺した恩人エヂソンを禮讃した

風呂田刑事殺しトラック判明す

金州金驛タクシーの車

既報＝去る廿日午後三時ごろ南關嶺より歸署の途にあつた風呂田刑事の操縱するオートバイに接觸顛覆せしめ遂に死に至らしめたトラツクについては小崗子署で市内及び金州各署に手配して捜査中のところ、金州警務課において該トラツクは高嵩林と稱する運轉手が操縱する金驛タクシーのトラツクであることと判明したので、同警務課では直ちに高嵩林を引致して取調べたところ高は最初極力これを否認して居つたが、廿一日夜遂に同トラツクであつたことを白狀したので同課では引續き取調べ中である、同トラツクは大連より材木を滿載して全速力にて歸金の途中カーヴにおいて風呂田刑事の操縱するサイドカーを跳飛ばして逃走したものであると

全滿卓球大會

來る廿七日擧行

體育堂主催の全滿アマチユアーピンポン大會はいよ〳〵廿七日午前八時三十分より市内敷島町基督教青年會館にて擧行するに決定したが、參加申込期日は廿六日迄である、なほ參加規定は[illegible]だから申込み希望者は一應體育堂に問合はされたいと

虎の面目躍如

病床に苦鬪するクレマンソー氏

【パリー二十一日發電】昨夜急に心臓發作を起したクレマンソー氏はローブリー博士の驅付け方がもう少し遲かつたら命を落したかも知れぬ程であつたが、博士の手當を受けてから氏は博士に「まだ〳〵今度もやられはせぬよ」と低聲で不滿の面目を發揮し、終ひには無理に起ると言出して昔軍隊で使つた鼠色手袋をはめケーピと云ふ軍帽を冠り呼吸に苦み乍らも椅子に掛けて虎(氏の綽名)の最後の苦鬪を續けてゐる

埠頭の輸入倉庫

今月末には完成する

滿鐵が甲埠頭に造りあげた尨大な輸入倉庫は殆ど竣工し豫定より一ヶ月早く本月末完成の見込で目下高岡組では五百人の從業員を督勵し晝夜兼行最後の仕上を急いでゐる、長さ百九十六メートル幅三十八メートル、建坪七千四百四十八平方メートルおよび四階までの總延した面積二萬六千三百十二平方メートルあり、完成の曉は一年中の輸入雜貨は全部コヽに收容出來るといふのだから素敵なものだ【寫眞は完成近き輸入倉庫】

ゴルフ競技

湯崗子溫泉のリンク開き

湯崗子溫泉會社では先般來外人客吸收の一方策として約三萬坪のゴルフリンク(六コース)の新設工事中であつたが、最近いよ〳〵竣成したので來る廿七日これが開場式をかねて大連、奉天、鞍山、撫順、安東、長春等各地の選手を招待して競技會を開き優勝カツプの爭奪戰を行ふ筈であると

佐藤代議士は罰金三百圓

金澤市議疑獄

【名古屋二十一日發電】石川縣選出代議士佐藤實氏外二名に關する能登産業銀行を金澤市金庫たらしめ様と金澤市會議員に贈賄したる瀆職疑獄事件は、二十一日名古屋控訴院にて判決が行はれ佐藤代議士は罰金三百圓に處せられた

羅州丸來る

航路標識巡廻船

航路標識巡廻船羅州丸は燈臺交替家族食料品その他を積載、二十一日午後四時四十分大連に回航して來た

星ケ浦に辻強盜

二十一日午後八時半ごろ星ケ浦海濱浴場入口門前附近を星ケ浦公園内居住の支那人路何清(二九)通行中、三人組の支那人辻強盜(内一名は支那刀所持)現はれ路を脅迫して同人の所持金小洋五十三圓二十八錢を強奪し附近山中に逃走した、屆出により沙河口署では直に非常線を張り犯人捜査に着手したが捕縛に至らなかつた

變つた夫婦

一年半も無言の生活 遂に細君から離婚の訴へ

【シカゴ郵信】當地ラ・サル街の某會社の支配人エフ・ベツカー君は妻から離婚と手當請求の訴訟を受け變な場面をさらけ出された、妻君の申立てによるとベツカー君ともむつつりやの氣むづかしやらしい、一年半前の五月妻君が他の者と口をきいたか何かに氣を廻し以來家に歸つてもさつさと自分の部屋に行つて明くる朝仕事に出る迄は

一歩も外に出ずベツトだつて別にして自分で御飯の仕度をするといふ有樣、十八ヶ月の永い間口一つきいた事もないといふ徹底策、彼女もいろ〳〵御機嫌をとり口だけでもきかさうとつとめたがいつかな頑としてきかばこそいつもこれをはねつけた、そしてこの間妻君には一日一弗しか與へずそれで衣食を賄へといふのであつた、なほ彼女の陳述によるとベツカーの財産は十萬弗程で月收五百弗以上だと、何にしてもかうした情ない態度は

自分を家から出さうといふ心根からで妾はもう堪へられませんどうか離婚を願ひますと、裁判長もこれには同情して彼女の離婚を許し早速ベツカーの財産差押へを命じ離婚手當を強制的に與へることにした

待されたが癪で年增の醜態

へべれけに醉拂ひきのふ檢察局で

二十二日午後三時ごろ嚴めしい大連檢察局に怒鳴り込んで優男の高井檢察官に武者振りついた四十がらみの女將があつた、この女は市内春日町二五飲食店福壽亭女將一宮クマと云ひ春日町三〇賀商田村タケヨが夫死亡後同町平和タクシー帳場森某と情事ありと吹聽して名譽毀損で告訴された同町四九津山源吉に關し證人として主任池内檢察官より呼び出されたもので午前八時に出頭したが、同檢察官が公判立ち會ひの爲めに正午まで待たされ

晝食後

再び出頭したが、同檢察官が大連署星司法主任と共に小崗子署風呂田巡査部長の奇禍に會つた金州街道へ檢證に出張した爲め又も待つて呉れと待ちぼけを喰はされた腹立ち紛れに酒をあふつて三度出頭し泥醉のうへ檢察局に躍り込み「人を何時まで待たすんだ、朝八時に來いと云ふから八時に來れば正午に來い、正午に來ればまた待つてゐろと云ふ、何時まで待てば好いんだ。女だと思つて馬鹿にするな」と啖呵を切り形相變へて高井檢察官に武者振り付いたので、公判廷に立つては鬼をもひしぐ檢察官も流石に顏色を失し

逃げ腰

になるのを居合せた二宮巡査が必死になつて制止したので漸く納まつたが、今度は廊下の長椅子に寢そべり返つてグー〳〵高鼾、間もなく歸つて來た池内檢察官、この狀態を見て「こりやいけん」と苦い顏してなだめすかして漸く歸してやつた

秋季全滿弓術大會

時日 十月廿七日(日曜) 自午前九時至午後十時半受附
場所 中央公園武德會弓術道場
方法 尺二的六射、七五三的四射 遠的四射

主催 大日本武德會大連支所
後援 滿洲日報社

けふのラヂオ

昭和四年十月廿三日(水曜日)

自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニユース
自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、英語講座 第二十二課 旅行 大連彌生高等女學校 茶谷茂
三、マンドリン合奏 イ、祈り メツアカツポー作 ロ、咲ける天使 マチヨツキー作 ハ、ボレロ 伊藤十五郎作 滿鐵音樂會演奏部員
四、宗教講座 東本願寺 高濱教學課長
五、狂言 箕被 シテ俳人 土田他吉郎、アト女房 川野吉樹
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

愛慾の窓（136）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

謎（八）

「……然しどうもその友永とかいふ人の殺されたのはかわらないね」

と、黒田は飯がおはると、がぶりと番茶・呑み干て「……何と云つても、謎だね。草野といふ人が不利な狀況に在る、さういふより他はないな」

「……さうですわ、草野さんが一番濃厚な嫌疑を受ける立場にゐるんですもの。若し草野さんが犯人でないとしたら、この事件は五里霧中ですわ」と、美知子もお茶を飲んだ。「……だから警察でも、犯人製造に夢中になつたのね」

「……まるで探偵小說だなあ！犯人は一體誰だらうねえ？」

源公が小生意氣な口を挿んだ。

「はい、源公がナマを云つてやがる！手前探偵小說なんて知つてるのか？」

黒田は笑つた。

「馬鹿にするねえ！近頃流行の五十錢本、おら仲間の文選工の奴等と組んで毎月取つて讀んでるんだぜ！日本探偵小說全集つていふんだ……」

源公がムキになつて抗議した。

「……ほんとにね、犯人が他に擧がりさへすれば、草野さんも直青天白日の體になれるんだけどね」

と、美知子は寂しく微笑みながら嘆息をついた。丁度その頃、東京郊外の大岡山で三四年前に行はれた慘劇の眞犯人が現れたといふ記事が新聞紙を賑はしてゐたのだつたが、その慘劇といふのは、一ころ人に知られた女優の一族を鏖殺した事件で、犯人は直ちに捕縛されて、無期徒刑に處せられて刑務所に服役中、獄舍のなかで病死してしまつたのである。然るにその後になつて、その事件の眞犯人が現れたのだ。然も取調べの結果は、後に現れた者の方が確に眞犯人で、自然不幸にも獄中で病死した男は、全然冤罪であつたといふ驚くべき事實が判明したのである。

頗る不利な狀況のうちに、濃厚な嫌疑を掛けられてゐる久彦が、冤罪のために有罪の判決を下されることはないと、誰が斷言出來ようか！大岡山事件の如きはその一つの例であるし、その他にも決してかういふ誤つた裁判の實例は少くないであらう……美知子は心ひそかに慄然たるものを感じないではゐられなかつた。たゞ彼女は久彦を信じてゐるきりなのだ。だが、美知子はどうする力もないのである。彼女は心にひたすら久彦に掛けられてゐる嫌疑の雲の晴れる事を待つより他には途がなかつた。

第二回の公判は、第一回に被告が敢然として豫審の供述をひるがへしたりしたために、一層人々の好奇心を煽つたと見え、傍聽席には言葉どほり立錐の餘地もないほど傍聽者の群が詰めかけてゐた。

美知子も勿論その群のなかの一人であつた。彼女の顏はその日の寒さと不安の爲に青ざめてゐた。

裁判長が開廷を宣すると、度の強い眼鏡を光らしてゐる檢事が起ち上つて、第一回と同じく峻酷な調子で、きびしくと被告久彦に訊問しはじめた。久彦も被告席に突立ちながら、少しも悪怯れた態度はなく、はきはきと檢事の訊問に應答してゐた。

「……それでは」と、檢事は冷やかにしかし鋭く云つた「被告はあくまでも被害者の妹倭文子との戀愛關係を否認するか？」

「はい、否認します！」と久彦はきつぱり答へた。

「だが、この證據物件は」と、檢事は倭文子の（實は亡き綱子の）寫眞を取出して示した「どうなるのだ？僞つたり隱したりしては、被告をいよいよ不利にするだけだ。倭文子といふ婦人を公判廷へ召喚して對決せしめれば直ぐ判明するのだが、それは兄を失つたばかりの、且つ結婚間もない若い婦人に對して氣の毒であるから、敢て差し控へてゐるのである！しかし被告があくまでもこの婦人との戀愛關係を否認するならば、遺憾ながら本官は倭文子といふ婦人を參考人として召喚しなければならぬと考へるが、何う思ふか？」

久彦の顏には、ありありと苦惱の色が現はれた。彼は檢事の言葉には答へずに。悄然となつて頭を垂れてしまつた。

滿日文藝

雜吟　月南整理

「看板」

夜逃げした店に看板だけ殘り　旅順　辰雄

繪も一寸出來て人氣の看板屋　安東　思水

使ひの子看板しかと數へられ

開業日立看板の目立つこと

月給日立看板を替へる宵

大連　牧童

賣の大看板へ客の足

「浮沈」

旅順　夏山

淪落の底から浮ぶ玉の輿

陰場にボートの破片浮き沈み

旅順　柳月

落魄の子がブラジルで人となり

成金の娘も今は左り褄

大連　木の葉

榮轉と左遷握手をして別れ

浮き沈み馴れて相場師派手に生き

浮き沈み昔を語る應接間

大連　滿山

浮藻たゞ波にその日を輕く乘せ

浮沈の瀬踏み出す足の右左

浮ぶ瀬もなくどん底に喘ぐ息

七轉び八起きは頼む子の出世

浮沈みやがて孑孑蚊に化り

大連　若葉冠

遊ぶのでなく金魚の浮沈み

難破船陸が見えたり隱れたり

棒切れへ生の未練が追すがり

金州　素綠

身の浮沈あきらめてゐる籠の鳥

大連　一骨

浮き沈みもう乏までの山が見え

貧乏に馴れて浮世の苦を知らず

海龍縣　杢堂

沈んでる顏へ一寸つけく妻

沈むたび濱邊で妻は伸び上り

沈んでる鰥妓へ浮た口が寄り

「盲」

大連　垂六

あん座の器量に惜しい盲

盲目の亭主へ無駄な厚化粧